

大学演習林年報

第 38 号

< 2 0 2 3 >

目 次

大学演習林年報第 3 8 号の発刊にあたって	会長 久保田 耕平
1. 演習林の最近の話題	1
2. 令和 4 年度研究業績	1 3
3. 演習林所属教員専門分野・キーワード一覧	5 5
4. 令和 5 年度春季理事会	
(1) 理事会日程、議題等	7 1
(2) 令和 4 年度決算及び令和 5 年度予算	7 2
(3) 議事要旨	7 3
5. 令和 5 年度秋季総会	
(1) 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会日程	7 6
(2) 総会日程、議題等	7 7
(3) 議事録	7 8
6. 公開森林実習の報告	8 3
7. 全国大学演習林協議会規約	9 1
8. 森林管理技術賞授与規程	9 4
9. 公開森林実習運営委員会内規	9 6
10. 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則	9 7
11. 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ	9 8
12. 会員名簿	9 9

令和 6 年 3 月

全国大学演習林協議会



大学演習林年報

第38号

< 2023 >

目次

大学演習林年報第38号の発刊にあたって	会長 久保田 耕平
1. 演習林の最近の話題	1
2. 令和4年度研究業績	1 3
3. 演習林所属教員専門分野・キーワード一覧	5 5
4. 令和5年度春季理事会	
(1) 理事会日程、議題等	7 1
(2) 令和4年度決算及び令和5年度予算	7 2
(3) 議事要旨	7 3
5. 令和5年度秋季総会	
(1) 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会日程	7 6
(2) 総会日程、議題等	7 7
(3) 議事録	7 8
6. 公開森林実習の報告	8 3
7. 全国大学演習林協議会規約	9 1
8. 森林管理技術賞授与規程	9 4
9. 公開森林実習運営委員会内規	9 6
10. 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則	9 7
11. 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ	9 8
12. 会員名簿	9 9

令和6年3月

全国大学演習林協議会

大学演習林年報 38 号の発刊にあたって

日頃より、全国演習林協議会（以下、全演協）の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。2023 年度は新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類に移行したこともあり、対面講義、野外の実習、調査などの活動がかなり再開できた年となりました。

全演協の活動としては、春の理事会を東京大学弥生キャンパスにてハイブリッド方式で実施し、秋の理事会・各種委員会・総会を、農園ホテルを会場として同じくハイブリット方式で実施することができました。久しぶりに開催された懇親会では皆さんとゆっくり話すことができ、有意義な時を過ごすことができました。また、翌日のエクスカーションでは、東京大学秩父演習林の教育研究フィールドや自然を堪能するだけでなく、歴史ある秩父の名所をめぐることができました。秋の理事会・総会、懇親会、エクスカーションについては、とくに東京大学秩父演習林の教職員の皆様に準備から運営まで、多大なるご協力を頂きました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

総会では、文部科学省高等教育局専門教育課の奥井さまに、高等教育を取り巻く状況、令和 5 年度教育関係共同利用拠点の認定などについてご説明をいただき、ネーミングライツ、寄付金受け入れ、木材製品販売などで収入を挙げることなどについても、提案を含めた説明があり、質疑応答を通じてより深く理解することができました。

今年度の森林管理技術賞については、特別功労賞 3 名、技術貢献賞 4 名、学術貢献賞 1 名、若手奨励賞 4 名の表彰が行われました。今年度はハイブリットでの参加が 1 名のみで、後は全員がオンサイトで参加していただきました。表彰された技術職員の皆さんの業績はいずれも素晴らしく、技術職員一人一人の意識がより高まっていることが感じられました。

教育関係共同利用拠点については、これまで、北海道大学、岩手大学、新潟大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、京都大学、宮崎大学、鹿児島大学の 9 大学が認定されていますが、これらの中で信州大学、宮崎大学、鹿児島大学が再認定を受け、宮崎大学、鹿児島大学ではタイトルも変更したことが報告されました。

公開森林実習については、令和 4 年度は、29 件、協定内人数 63 名、協定外人数 64 名で合計 127 名の実績があったという報告がありました。令和 5 年度については、9 月までの時点で、協定内人数 35 名、協定外人数 49 名で合計 84 名が参加していることが報告されました。また、今年度から宇都宮大が協定に新たに加わるための手続きを進めることが報告され、農学部長会議でもこのように大学をまたいだ教育活動を実践していることをもっ

と PR をしてほしいという希望が出されました。

共同研究については、6 課題の実施状況が報告されました。全演協のネットワークをうまく生かした共同研究が盛り上がり、すでにその成果が出始めていることが確認されました。今後のさらなる発展を期待したいと考えています。

総会では、報告事項・承合事項についても活発な意見交換が行われました。最後に、次期会長として北海道大学の揚妻先生が総会で推薦・承認され、揚妻先生からご挨拶を頂きました。来年度については、春季理事会は 2024 年 5 月 17 日（北大苫小牧研究林・ハイブリッド）、秋季委員会、理事会、総会は、2024 年 9 月 26 日に苫小牧市文化会館で行い、9 月 27 日に苫小牧研究林でのエクスカージョンを行うとアナウンスがありました。

各大学のトピックス・研究業績については、年報 38 号の中で紹介しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。なお、昨年度から年報の発行形式が変更となり、主要な部分についてはウェブ公開することとなりました。こちらもぜひ、ご活用いただければと思います。

最後になりましたが、文部科学省高等教育局専門教育課の奥井さまほか関係各位、演習林が所属する各大学、農学部・大学院農学系の教職員の皆さま、地元関係者の皆さまに、大学演習林の活動に対して、引き続き、ご支援・ご指導をお願い申し上げます。

以上をもちまして、「大学演習林年報 38 号」の発刊に当たってのご挨拶といたします。

2024 年 1 月 全国大学演習林協議会 久保田耕平

<演習林の最近の話題>

宇都宮大学農学部附属演習林	3
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	4
京都大学フィールド科学教育研究センター	5
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	6
愛媛大学農学部附属演習林	7
九州大学農学部附属演習林	8
鹿児島大学農学部附属演習林	9
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター 与那フィールド	11

宇都宮大学

宇都宮大学農学部附属演習林と栃木県環境森林部で協定書締結

宇都宮大学農学部附属演習林

令和 5 年 3 月、栃木県において林業大学校設置（令和 6 年度開校）に伴いその実習場所の一部として宇都宮大学農学部附属演習林（船生演習林）を利用することとなり、協定書を締結した。

実習内容は、当面は、植付（地拵え含む）、下刈り、枝打ち、間伐の実習地となる予定であるが、今後は、伐採、高性能林業機械を使用した造材等の実習利用も検討していきたい。

公開森林実習について

宇都宮大学農学部附属演習林では、令和 6 年度から全演協における公開森林実習開設に向けて学内協議を進めている。

学内の意見を取り入れ、日光地域をフィールド利用した日光杉並木の保全や戦場ヶ原での森林と環境について学ぶ他、船生演習林にて里山における食と住に重点を置いた実習を検討中である。

特に里山における食については、地域の食材や本学農場で産出された食材を利用した実習を検討している。

社会連携部を設置

令和 5 年度より、演習林組織に社会連携部を設置し、外部との連携を強化することとした。これに伴い経営部を「教育・経営部」へと変更し学内の演習林利用も促進していくこととなった。

信州大学農学部附属演習林における 2023 年のトピック

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

教育関係共同利用拠点

「信州を舞台とした自然の成り立ちから山の生業までを学ぶ教育関係共同利用拠点」の更新申請を行い、認定された。認定期間は令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日である。

公開森林実習

令和 5 年度は全ての公開森林実習を対面で実施した。協定校からは京都大学、静岡大学、筑波大学から複数の受講生を得た。また、協定外校からは静岡理工科大学、東京農工大学、上越教育大学、岐阜大学、愛媛大学等から受講生を得た。実習では受講生の体調と野外での安全管理に気を配り、山岳環境保全学演習では西駒ステーションの登山時に登山用ヘルメットを着用した。

手良沢山ステーション

手良沢山演習林管理棟の改修を 9 月より行っている。管理棟の一部は宿泊施設に改修し、外部利用のさらなる推進を図る。令和 5 年度はカラマツを中心に約 900m³の素材生産を行い、12、50 万円程度の収入を得た(11 月末現在)。カラマツは 63～64 年生の人工林 6ha を対象にし、あわせて森林作業道路の開設も行った。これらの作業は業者の請負で行った。

西駒ステーション

西駒ステーションでは度重なる豪雨によって登山道の荒廃が進んでいる。また、年々旺盛となるササの繁茂によって登山道が埋もれつつある。登山道の維持・管理は毎年行っているが、荒廃した登山道の整備と被害状況のリアルタイムな把握が追い付かない状況にある。このような背景のもと、総務省の地域デジタル基盤活用推進事業の実証事業として、西駒演習林において信州大学と伊那市、KDDI、川崎重工、NEC ネットエスアイ他によって「次世代長距離通信技術を使った山岳エリアにおける課題解決サービス創出」が始められた。この事業の成果によって、山岳エリアのドローン物流サービスの実現が加速化することや、登山口周辺の安全管理および環境負荷が軽減されることが期待されている。



改修中の手良沢山ステーション管理棟の玄関（左）と内装（右）

北白川試験地で京大ウィークスイベント ー大学キャンパスで虫みっけーを実施

京都大学フィールド科学教育研究センター

北白川試験地は、京都のキャンパス内に位置し、都会の中にある貴重な自然の一片です。地域の人々も散歩に訪れ、日々その自然を楽しんでいます。8月5日(土)には、北白川試験地で京大ウィークスが開催され、施設が一般公開されました。「大学キャンパスで虫みっけ」というテーマのもと、子供たちと一緒に楽しい虫採りが行われました。セミの抜け殻探しでは4種類のセミの抜け殻を見つけ、技術職員の仕掛けたバナナトラップで子供たちはワクワクしながら虫採りに挑戦し、カブトムシやクワガタムシなどを捕まえ、その多様性に驚きと喜びが広がりました。試験地の自然の中での貴重な体験は、子供たちの好奇心を刺激し、自然への理解を深める素晴らしい機会となりました。

このような試験地の価値を高めるために、また、近年ますます増加する学内外からの利用に対応し、試験地の整備を進め、利用者の利便性を向上させる努力をしています。すなわち、他の試験地との連携体制を整えることにも注力し、リソース共有や情報交換を通じて効率的な運用を図っています。利用者の声にも耳を傾け、施設や設備の改善を行う取り組みも行われており、これによってより多くの人々が北白川試験地を利用し、その価値を享受できる環境が整備されつつあります。



写真1：バナナトラップの回収



写真2：セミの抜け殻を選別

鳥取大学教育研究林の近況

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

2023年5月までは新型コロナへの対応として、宿泊者数を制限する、食堂の机の上にアクリル板を設置する、体温測定など基本的な感染対策を徹底するといった対策を行ったうえで実習を実施していた。同月8日に新型コロナが5類感染症に移行された後、集団生活に伴う一般的な感染症対策（手洗いの励行など）は必要なものの、これまでの制限が廃止された。これにより、コロナ禍前とほぼ同様の形態で演習林施設を利用することができるようになった。

また、昨年度から演習林施設のネットワーク環境（eduroam）について整備を行っていたが、2023年3月から国立情報学研究所のeduroam JP 認証連携IDサービスを用いたビジター用無線LANを運用することになり、学外者向けのネットワーク環境も整備された。これにより、学内、学外者を問わず演習林施設において支障なくネットワークを使用することができるようになり、教育、研究の環境が向上した。

さらに、演習林施設の屋根の改修、和室の畳替え、演習林内の林道改修（水路補修）などを行い、演習林の施設整備を推進した。



写真1 樹幹解析用の円板採取



写真2 室内実習（樹幹解析）

希少植物

愛媛大学農学部附属演習林

当演習林にはシコクカッコソウ、クマガイソウなどの希少植物が自生しています。シコクカッコソウは愛媛県 RDB で絶滅危惧ⅠB類 (RL:Ⅱ類)、クマガイソウは愛媛県の絶滅危惧Ⅱ類 (環境省絶滅危惧Ⅱ類) に選定されており、両種ともに「愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例」により、許可なく採取等をおこなうことが禁止されています。

このクマガイソウについては、数年前の観察時には 100 株程度と推定される大きな群落が見られていました。しかし、令和 5 年 4 月の目撃情報では 10 株、令和 5 年 5 月の観察時にはさらに数を減らし 1 株だけになっていました。

葉の一部または全部が食べられるような被害はなく、イノシシの様な掘り返しも見られず、また、株自体が根こそぎなくなっている様子から、野生動物による被害ではなく、クマガイソウは盗掘にあったのだらうと推察されます。

このことは愛媛県に相談し、残った 1 株は防獣ネットで囲いをするとともに、注意喚起看板を設置して対策しています。今後、この 1 株から数を増やしていくことを願いつつ観察していきたいと思います。



過去のクマガイソウの群落の様子

韓国・慶尚国立大学校の学術林を訪問して

九州大学農学部附属演習林
演習林長 古賀信也

令和 5 (2023) 年 2 月 2 日から 4 日にかけて大槻恭一研究部長とともに韓国・晋州市にある慶尚国立大学校森林環境資源学科を訪問しました。終戦により九州大学の「南朝鮮演習林 (16,888ha)」の一部は、晋州共立農林学校に貸与されましたが、後に晋州農家大学、慶尚国立大学校となり、現在も学術林として管理・運営されています。「南朝鮮演習林」は、大正元 (1912) 年 12 月に九州帝国大学に最初に設置された演習林であり、九州大学関係者にとってまさに演習林発祥の地ともいえる場所です。このような関係にあることから、平成 20 (2012) 年 12 月に開催された九州大学演習林の創立百周年記念事業の記念講演会や記念式典等に慶尚国立大学校の学術林長の先生にもお越しいただき、大いに交流を深めました。今後継続的に学術交流を進めて行きましようかと誓い合ったところでしたが、世界的な新型コロナ禍の影響等もあり、延び延びになり、やっと今年実現したところでした。

訪問では、森林環境資源学科の学科長をはじめ教員や学生との交流を深めるとともに山清郡にある学術林の事務所も訪問することができました。学術林長および教職員から概要説明を受けましたが、驚くべきことに九州帝国大学時代に造林した林分や個体の一部がまだ残っており、学術林の教職員によって時々成長量調査が行われているとのことでした。私の手元にある当時の朝鮮演習林概要 (1933 年発行) によれば、スギ、ヒノキ、チョウセンマツ、リギダマツなどの植林が記録されていますが、まさか残っているとは思いませんでした。今回の訪問では、植栽地まで往復丸一日かかるということで視察は諦めましたが、近い将来、両大学の教職員で合同調査を行うという話で盛り上がりました。さらに驚くべきことに、九州帝国大学時代に岳陽作業所として利用していた建物と作業小屋が残されていることも判明しました。現在、個人が所有し「お茶博物館」として市民に公開しているようです (写真)。当時の日本的な造りがそのまま残されていて、非常によく手入れがなされてきたことが伺えました。この建物についても後日調査を行う計画です。

九州帝国大学 南鮮演習林



写真 岳陽作業所の写真と今回撮影した建物の写真

写真 (左) : 1933 年 10 月発行の九州帝国大学農学部附属南鮮演習林概要に掲載されている作業所、写真 (右) : 現在、一般市民が所有し、「お茶博物館」として運営されている旧岳陽作業所 (2022 年 2 月撮影)

高隈演習林の教育関係共同利用拠点第三期が認可されました

鹿児島大学農学部附属演習林

高隈演習林（以下、本演習林）の教育関係共同利用拠点第三期（令和5年度～令和10年度：5年間）が文部科学省から認定を受けました。森林面積3,068ヘクタールという広大なフィールドを有する本演習林は、平成26年度から第一期が始まりました。本演習林は国内外や文理系からの利用を促進することによって、高等教育機関の林業技術の実践的実習や環境教育等の場として多様な利用ができる拠点の実現に取り組んで参りました。それに伴い、利用者の拡大と受入れ体制の拡充に取り組み、多くの利用者数から利用していただけるようになりました。

平成31年（令和元年）度からの第二期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を強く受けつつも、それまでの受入分野であった①林業教育分野、②環境教育分野、③防災教育分野、④動植物教育分野に、⑤地域コミュニティ分野を追加し、農山村での生活体験などを加えるなど、利用者からの様々な要望に応えながら展開させてきました。日帰りの利用はもちろんですが、宿泊型の拠点として利用が多い本演習林は、感染症拡大防止対策として、施設内における消毒の設置や段ボールパーテーションの設置等の設備対策を行いました。それだけでなく、ソフト対策として検温やPCR検査の導入による健康状態チェックやプログラムの調整等をいち早く実施することによって、利用者の不安を取り除きながら拠点の活用を維持する体制づくりをすすめ、非常時でも全国から訪問できるような受入れに積極的に取り組みました。

そして、第三期は「多世代・多様なひとと磨き合う学びと出会いの森拠点」として、第二期の受入れ分野であった5つの分野を継続・発展させ、各分野で様々な人達が交流しながら学びを深める場づくりを目指していきたくと考えています。具体的には、本演習林が実施してきた社会人リカレント教育や幼児教育・初等教育、地域との連携などの取組を教育関係共同利用のプログラムと連携させていきます。

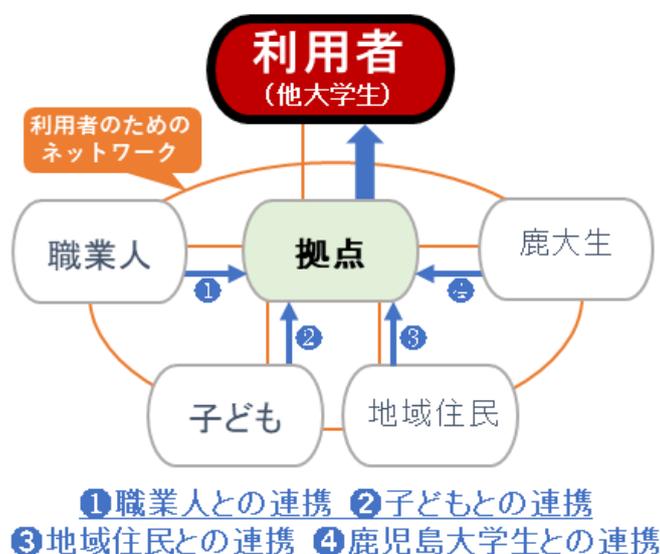


図1 第三期教育関係共同利用拠点（本演習林）における利用者のためのネットワーク

このような連携の取組みは大学生や社会人だけでなく、現役を引退し第二の人生に向けて新しいことを学び直す高齢の方から初めて森を訪れる小学生や園児までの幅広い世代間交流を促進し、

多様な利用を継続しつつも教育効果を高める拠点として一層の充実を図ることを目指しています。また、専門性の高いプログラムにおいては、林業のプロだけでなく林学の初学者といった様々な立場の方々との交流を促進していき、学生が既存の価値観に縛られず新しいネットワークを自ら紡いでいくことを期待しています。このように、プログラムの連携によって多世代・多様な人との交流の場を形成し、複合的で相乗効果のある質の高い教育プログラム提供を実践することを掲げ、第三期の初年度となる令和6年度以降は、学生、社会人、地域、小学生など多くの方を対象とした実習プログラムを企画し、本演習林が蓄えてきた豊かな森林資源とネットワークを活かした教育的交流の場を育んでいく予定です。



写真1 職業人との連携



写真2 子どもおよび地域との連携



写真3 鹿児島大学生との連携

森林フィールド講座の開催

琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター 与那フィールド

与那フィールドは、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーションの教育関係共同利用拠点事業に連携大学演習林として参加しています。その事業の中で、毎年連携大学演習林を交えて持ち回り開催している「森林フィールド講座」という実習を、令和5年9月19日（火）～22日（金）の3泊4日で実施しました。森林フィールド講座は、大学や学部を問わずに参加学生を全国的に公募する実習です。与那フィールドでの実施は、平成27年以来、8年ぶりとなりました。

与那フィールドは公開森林実習「亜熱帯林体験実習」も開講しており、今回の森林フィールド講座では公開森林実習の単位互換協定に含まれない大学、学部の学生を募集しました。しかしながら、定員の15名を大幅に上回る募集があり、志望動機を参考にしながら大学、学部によりがなよう参加者を選抜することになりました。

プログラムは亜熱帯林体験実習に準じる形で進めましたが、森林科学を専門的に学んでいない学生を対象とするため、内容や解説は専門的になりすぎないように配慮しました。主なプログラムは以下のとおりです。

- ・やんばる地域の様々な森林および研究サイトの見学
与那フィールド管理棟周辺（昼／夜）、里山研究園の見本林、微気象観測タワーサイト、世界自然遺産登録地、慶佐次川のマングローブ林
- ・自然学習施設の見学
ヤンバルクイナ生態展示学習施設、環境省やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」
- ・やんばる地域の自然の観察
鏡地海岸、辺戸岬



図1. 「森林フィールド講座」ポスター



写真1. 亜熱帯林の溪流環境の見学

<令和4年度研究業績>

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション	15
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	18
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	19
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	20
宇都宮大学農学部附属演習林	20
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	20
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	21
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	23
筑波大学山岳科学センター	24
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	26
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	29
日本大学生物資源科学部演習林	29
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	29
名古屋大学大学院生命農学研究科附属 フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド	30
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	33
三重大学大学院生物資源学研究科附属 紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林	33
京都大学フィールド科学教育研究センター	34
京都府立大学生命環境学部附属演習林	40
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	42
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	43
愛媛大学農学部附属演習林	43
高知大学農林海洋科学部附属 暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド	44
九州大学農学部附属演習林	44
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター田野フィールド	51
鹿児島大学農学部附属演習林	51
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	52

演習林を利用した研究業績及び演習林教職員の研究業績
2022年度(2022年4月～2023年3月)

北海道大学

北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション

- AZUMA Wakana A., KAWAI Kiyosada, TANABE Tomoko, NAKAHATA Ryo, HIURA Tsutom: Intraspecific variation in growth-related traits—from leaf to whole-tree—in three provenances of *Cryptomeria japonica* canopy trees grown in a common garden, *Ecological Research*, 38(1): 83-97, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12349>, (2022): 和歌山研究林
- CHEN Xinyu, AVTAR Ram, UMARHADI Deha Agus, LOUW Albertus Stephanus, SHRIVASTAVA Sourabh, YUNUS Ali P., KHEDHER Khaled Mohamed, TAKEMI Tetsuya, SHIBATA Hideaki: Post-typhoon forest damage estimation using multiple vegetation indices and machine learning models, *Weather and Climate Extremes*, 38: 100494, <https://doi.org/10.1016/j.wace.2022.100494>, (2022): 北海道東部地域
- ECHIGOYA Syun, SATO Katsuhiko, KISHIDA Osamu, NAKAGAKI Toshiyuki, NISHIDAMI Yukinori: Switching of behavioral modes and their modulation by a geometrical cue in the ciliate *Stentor coeruleus*, *Frontiers in Cell and Developmental Biology*, 10: 1021469, <https://doi.org/10.3389/fcell.2022.1021469>, (2022): 苫小牧研究林
- FURUKAWA Flavio, MORIMOTO Junko, YOSHIMURA Nobuhiko, KOI Takashi, SHIBATA Hideaki, KANEKO Masami: UAV Video-Based Approach to Identify Damaged Trees in Windthrow Areas, *Remote Sensing*, 14(13): 3170, <https://doi.org/10.3390/rs14133170>, (2022): 苫小牧市・千歳市の森林
- FURUSAWA Jumpei, KOBAYASHI Makoto, UTSUMI Shunsuke: A large-scale field experiment of artificially caused landslides with replications revealed the response of the ground-dwelling beetle community to landslides, *Ecology and Evolution*, 13(3): e9939, <https://doi.org/10.1002/ece3.9939>, (2023): 天塩研究林, 中川研究林
- FUTAMURA Ryo, FURUSAWA Chiharu, OKAMIYA Hisanori: Winter gifts for river ecosystems: A massive supply of earthworms in early winter, *Ecology and Evolution*, 12(12): e9620, <https://doi.org/10.1002/ece3.9620>, (2022): 苫小牧研究林
- HAGA Chihiro, HOTTA Wataru, INOUE Takahiro, MATSUI Takanori, AIBA Masahiro, OWARI Toshiaki, SUZUKI Satoshi N., SHIBATA Hideaki, MORIMOTO Junko: Modeling Tree Recovery in Wind-Disturbed Forests with Dense Understory Species under Climate Change, *Ecological Modelling*, 472: 110072, <https://doi.org/10.1016/j.ecolmodel.2022.110072>, (2022): 厚岸町・別寒辺牛川流域
- HAGA Chihiro, MAEDA Marimi, HOTTA Wataru, MATSUI Takanori, NAKAOKA Masahiro, MORIMOTO Junko, SHIBATA Hideaki, HASHIMOTO Shizuka, SAITO Osamu, OKAYASU Sana, KIM HyeJin, PETERSON Garry: Modeling desirable futures at local scale by combining the nature futures framework and multi-objective optimization, *Sustainability Science*, <https://doi.org/10.1007/s11625-023-01301-8>, (2023): 厚岸町・別寒辺牛川流域
- HASEGAWA Ryota, AYER Christopher G., UMATANI Yoshiyuki, MIURA Kazuki, UKUMURA Miyo, KATAHIRA Hirotaka, KOIZUMI Itsuro: Potential negative effects and heterogeneous distribution of a parasitic copepod *Salmincola edwardsii* (Copepoda: Lernaepodidae) on Southern Asian Dolly Varden *Salvelinus curilus* in Hokkaido, Japan, *Parasitology International*, 87: 102529, <https://doi.org/10.1016/j.parint.2021.102529>, (2022): 北海道
- HINO Takafumi, AGETSUMA Naoki, HIURA Tsutom: Anthropogenic disturbances alter responses of understory plants to deer density; A 9-year deer density control experiment, *Forest Ecology and Management*, 537: 120928, <https://doi.org/10.1016/j.foreco.2023.120928>, (2022): 苫小牧研究林
- HIURA Tsutom: Functional biogeography in Japanese cedar, *Ecological Research*, 38(1): 42-48, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12321>, (2022): 和歌山研究林
- HOJO Ai, AVTAR Ram, NAKAJI Tatsuro, TADONO Takeo, TAKAGI Kentaro: Modeling forest above-ground biomass using freely available satellite and multisource datasets, *Ecological Informatics*, 74: 101973, <https://doi.org/10.1016/j.ecoinf.2023.101973>, (2023): 天塩研究林
- JUCKER Tommaso, FISCHER Fabian Jörg, CHAVE Jérôme, COOMES David A., TAKAGI Kentaro et al.: Tallo: A global tree allometry and crown architecture database, *Global Change Biology*, 28(17): 5254-5268, <https://doi.org/10.1111/gcb.16302>, (2022): 天塩研究林 他
- KAWAGUCHI AKITSU Tomoko, NISHIDA NASAHARA Kenlo, IJIMA Osamu, HIROSE Yasuo, IDE Reiko, TAKAGI Kentaro, KUME Atsushi: The variability and seasonality in the ratio of photosynthetically active radiation to solar radiation; A simple empirical model of the ratio, *International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation*, 108: 102724, <https://doi.org/10.1016/j.jag.2022.102724>, (2022): 天塩研究林 他

- KOBAYASHI Makoto, TEMPLER Pamela H., KATAYAMA Ayumi, SEKI Osamu, TAKAGI Kentaro: Early snowmelt by an extreme warming event affects understory more than overstory trees in Japanese temperate forests, *ECOSPHERE*, 13(7): e4182, <https://doi.org/10.1002/ecs2.4182>, (2022): 中川研究林
- KOHYAMA Tetsuo I., SHEIL Douglas, SUN I-Fang, NIIYAMA Kaoru, SUZUKI Eizi, HIURA Tsutom, et al.: Contribution of tree community structure to forest productivity across a thermal gradient in eastern Asia, *Nature Communications*, 14: 1113, <https://doi.org/10.1038/s41467-023-36671-1>, (2023): 雨龍研究林, 苦小牧研究林
- MARUMO Erica, UEDA Miki U., SEKI Osamu, TAKAGI Kentaro, KOBAYASHI Makoto: Influence of Earlier Snowmelt on the Seedling Growth of Six Subboreal Tree Species in the Spring, *Forests*, 14(3): 600, <https://doi.org/10.3390/f14030600>, (2023): 天塩研究林
- MATSUO Tomonari, HIURA Tsutom, ONODA Yusuke: Vertical and horizontal light heterogeneity along gradients of secondary succession in cool- and warm-temperate forests, *Journal of Vegetation Science*, 33(3): e13135, <https://doi.org/10.1111/jvs.13135>, (2022): 苦小牧研究林
- MIKI Takeshi, NAKAMURA Masahiro, KUROKAWA Hiroko, MATUI Kazuaki: Preface; “Idea Paper” for sharing diverse research ideas, *Ecological Research*, 37(4): 450-454, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12338>, (2022)
- NAKAMURA Masahiro, TERADA Chisato, ITO Kinya, AGETSUMA Naoki, NAKAJI Tatsuro, FUKUZAWA Karibu, HIURA Tsutom, et al.: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, 37(3): 432-445, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12293>, (2022): 日本各地
- OHTA Tamihisa, HIURA Tsutom: The effects of functional differences in cultivar of *Cryptomeria japonica* on nutrient dynamics and soil invertebrates in a common garden, *Ecological Research*, 38(1): 98-110, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12353>, (2022): 和歌山研究林
- OHTSUBO Masanori, UMATANI Yoshiyuki, OKUDA Atushi, SAITOH Takashi: Driving forces behind the fluctuating growth of the number of successful nests in an inland population of white-tailed eagles in Hokkaido, Japan, *Population Ecology*, 65(1): 64-79, <https://doi.org/10.1002/1438-390X.12137>, (2022): 中川研究林, 天塩研究林 他
- ONO Satomi, CORDEIRO Ingrid, KISHIDA Osamu, Ochi Haruki, TANAKA Mikiko: Air-breathing behavior underlies the cell death in limbs of *Rana pirica* tadpoles, *Zoological Letters*, 9: 2, <https://doi.org/10.1186/s40851-022-00199-x>, (2023): 苦小牧研究林 他
- ONUMA Yukihiro, TAKEUCHI Nozomu, UETAKE Jun, NIWANO Masashi, TANAKA Sota, NAGATSUKA Naoko, AOKI Teruo: Modeling seasonal growth of phototrophs on bare ice on the Qaanaaq Ice Cap, northwestern Greenland, *Journal of Glaciology*, 69(275): 487-499, <https://doi.org/10.1017/jog.2022.76>, (2022): グリーンランド北西部
- SASAGAWA Taiga, KAWAGUCHI AKITSU Tomoko, IDE Reiko, TAKAGI Kentaro, TAKANASHI Satoru, NAKAJI Tatsuro, NISHIDA NASAHARA Kenlo: Accuracy Assessment of Photochemical Reflectance Index (PRI) and Chlorophyll Carotenoid Index (CCI) Derived from GCOM-C/SGLI with In Situ Data, *Remote Sensing*, 14 (21): 5352, <https://doi.org/10.3390/rs14215352>, (2022): 天塩研究林 他
- TAKAGI Kentaro, AGUILOS Maricar, LIANG Naishen, TAKAHASHI Yoshiyuki, SAIGUSA Nobuko, KOIKE Takayoshi, SASA Kaichiro: Long-term monitoring on the dynamics of ecosystem CO₂ balance recovering from a clear-cut harvesting in a cool-temperate forest, *Eurasian Journal of Forest Research*, 22: 49-51, <https://doi.org/10.14943/EJFR.22.49>, (2022): 天塩研究林
- URAKAWA Rieko, OHTA Tamihisa, SHIN Ki-Cheol, SASE Hiroyuki, SHIBATA Hideaki, CHIKAMASA Takaya, NAKANO Takanori: Effects of geological conditions and atmospheric deposition on soil biogeochemical properties in Japanese forested ecosystems revealed by Sr isotope analysis, *Biogeochemistry*, 162: 57-77, <https://doi.org/10.1007/s10533-022-00991-z>, (2022): 全国各地の森林
- YANAGAWA Sanae, FUKUZAWA Karibu, TAKAGI Kentaro, SHIBATA Hideaki, SATOH Fuyuki: Presence of understory dwarf bamboo determines ecosystem fine root production in a cool-temperate forest in northern Japan, *Journal of Forest Research*, 28(3): 177-185, <https://doi.org/10.1080/13416979.2023.2169981>, (2023): 天塩研究林
- YOKOBE Tomohiro, TOKUCHI Naoko, HYODO Fujio, TATENNO Ryunosuke, HIURA Tsutom: Response of microorganisms to a 5-year large-scale nitrogen loading in immature volcanic ash soil in an oak-dominated forest, *Applied Soil Ecology*, 177: 104537, <https://doi.org/10.1016/j.apsoil.2022.104537>, (2022): 苦小牧研究林
- YOSHIDA Toshiya, YAMAZAKI Haruka, MIYAMOTO Toshizumi: Scarification with surface soil replacement can promote understory reinitiation as well as the growth of a secondary birch stand, *Journal of Forest Research*, 28(1): 51-56, <https://doi.org/10.1080/13416979.2022.2091261>, (2022): 雨龍研究林
- 井手 淳一郎, 荒田 洋平, 野黒 大雅, 横山 陸, 遠藤 いず貴, 五味 高志: 崩壊地の植被率の違いが炭

- 素と窒素の河川流出に及ぼす影響に関する予備的検討, 北方森林研究, 71: 67-70, https://doi.org/10.24494/jfsh.71.0_67, (2023): 名寄教育研究棟
- 遠藤 いず貴, 大橋 瑞江, 井手 淳一郎: アカエゾマツ成木からの根滲出物採取方法に関する条件検討, 北方森林研究, 71: 71-73, https://doi.org/10.24494/jfsh.71.0_71, (2023): 名寄教育研究棟
- 奥田 篤志: 特集－北海道大学研究林; 北海道大学苫小牧研究林の組織力を生かした大規模野外研究, 北方林業, 73(2): 19-20, (2022): 苫小牧研究林
- 奥田 篤志, 荒木 小梅: 苫小牧研究林における植生調査の進捗状況について, 北方森林保全技術, 40: 6-8, <http://hdl.handle.net/2115/87566>, (2022): 苫小牧研究林
- 奥山 智浩, 高木 健太郎, 小林 真: 特集－北海道大学研究林; 天塩研究林における高性能林業機械の導入と運用, 北方林業, 73(2): 5-9, (2022): 天塩研究林
- 坂井 励, 中路 達郎: 特集－北海道大学研究林; 雨龍研究林におけるリモートセンシング技術の活用研究; ドローン空撮による材積推定と衛星検証データの整備, 北方林業, 73(2): 15-18, (2022): 雨龍研究林
- 鈴木 紅葉, 小林 勇太, 高木 健太郎, 早柏 慎太郎, 草野 雄二, 松林 良太, 森 章: 知床国立公園の森林再生地における林冠構造の評価; 適応的管理の視点から (Assessing forest-canopy structure in restoration areas of Shiretoko National Park, Hokkaido, Japan from an adaptivemanagement perspective), 保全生態学研究, 27(2): 283-296, <https://doi.org/10.18960/hozen.2118>, (2022): 知床国立公園
- 高宮 拓也: 教育・文化的機能を通じた市民にとっての森林価値の向上, 北方森林保全技術, 40: 1-5, <http://hdl.handle.net/2115/87569>, (2022): 和歌山研究林
- 寺田 千里, 中村 誠宏, 朱 詩瑶, 井口 光, 高木 惇司, 松井 一彰, 柴田 英昭: 和歌山研究林における森林土壌微生物群集の機能を測定するエコプレート実験の測定条件の検討 (Referenced conditions for EcoPlate experiments to measure the multifunctionality of forest soil microbial communities in Wakayama Experimental Forest), 森林立地, 64(2): 83-90, https://doi.org/10.18922/jjfe.64.2_83, (2022): 和歌山研究林
- 中村 誠宏, 伊藤 欣也, 小川 晃史, 高宮 卓也: 特集－北海道大学研究林; 和歌山研究林が取り組み始めたSDGs活動, 北方林業, 73(2): 21-26, (2022): 和歌山研究林
- 浪花 彰彦: 中川研究林におけるヒグマリスクの評価とヒグマ捕獲調査の取り組み, 北方森林保全技術, 40: 10-15, <http://hdl.handle.net/2115/87568>, (2022): 中川研究林
- 林 健太郎, 柴田 英昭, 仁科 一哉, 種田 あずさ, 杉 原創, 早川 敦: 持続可能な窒素利用に向けた土壌肥科学の挑戦, 日本土壌肥科学雑誌, 93(3): 152-157, https://doi.org/10.20710/dojo.93.3_152, (2022): 日本全域
- 福澤 加里部, 谷口 武士, 鷹西 俊和, 伊藤 悠也, 馬谷 佳幸, 金子 潔, 石田 亘生, 間宮 渉, 浪花 彰彦, 北條 元, 野村 睦: 特集－北海道大学研究林; 中川研究林におけるササ刈り取り実験－バイオマスおよび物質循環・水循環におけるクマイザサの寄与, 北方林業, 73(2): 10-14, (2022): 中川研究林
- 増井 昇, 北岡 哲, 渡邊 陽子, 渡部 敏裕, 藤戸 永志, 佐々木 圭子, 佐藤 冬樹, アガトクレオス エフゲニオス, 小池 孝良: 開放系オゾン付加施設で生育させたハコヤナギ属 2 樹種の病虫害と成長の季節変化; 2021年の事例, 北方森林保全技術, 40: 17-24, <http://hdl.handle.net/2115/87565>, (2022): 札幌研究林
- 吉田 俊也, 柴田 英昭: 特集－北海道大学研究林; 北海道大学研究林の概要, 北方林業, 73(2): 1-4, (2022): 北海道大学各研究林
- 萩原 幹花: Plant-plant communication via volatile organic compounds in beech (ブナにおける揮発性有機化合物を介した植物間コミュニケーション), 京都大学 農学研究科 森林科学専攻, 博士論文, (2023)
- 河上 智也: 森林管理に伴う土壌攪乱後のミミズ群集の定着と窒素動態における役割 (Colonization of earthworm community and their role in nitrogen dynamics after soil disturbance during forest management), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏環境学コース, 博士論文, (2022)
- 井口 光: Mycorrhizal types of dominant species affect the dynamics of established seedlings in forest communities (優占種の菌根タイプが森林群集に定着する実生の動態に及ぼす影響), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 遠藤 大斗: 北海道朱鞠内湖流入河川における絶滅危惧種イトウ *Parahucho perryi* の生息環境の特性, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 小林 悠佳: Functional traits associated with interspecific abundance changes of alpine forb species (高山帯の広葉草本で見られた優占度の種特異的な変化に関係する機能形質), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 嶋本 直紀: ヤナギ上の節足動物環境 DNA; 種特異的検出とメタバーコーディング, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)

- 新藤 茜: 異なる密度で育ったエゾサンショウウオ幼生が他個体との遭遇時にとる行動の違い, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 高木 惇司: シカの腐肉が森林土壌微生物の有機物分解機能に与える効果; 森林タイプに対する応答と腐肉食性昆虫の影響, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 仲谷 朗: Silvicultural method based on the occurrence of false heartwood in individual Japanese white birches (シラカンバ立木個体における偽心の発生条件からみた育林方法), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 古澤 惇平: How deterministic and stochastic processes shape community assembly of ground-dwelling beetles after a landslide; an experimental landslide approach in a forest (山腹崩壊後の徘徊性甲虫の群集集合において決定論的過程と確率論的過程はどのように寄与するのか; 大規模山腹崩壊実験を用いた検証), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2023)
- 奥田 裕紀: 曲げ加工が木材の変形性能に及ぼす効果, 北海道大学 農学部 森林科学科, 卒業論文, (2023)
- 渋川 凜太郎: 菌床キノコ栽培における樹木葉の利用, 北海道大学 農学部 森林科学科, 卒業論文, (2023)
- 戸倉 佳音: ニホンウナギの分布北限域における生息状況とその生態学的特性, 東京大学 農学部 水圏生物科学専修, 卒業論文, (2023)

岩手大学

農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

- 関野 登, 細越 確太, 松沢 卓生: ウルシ若齢木からの内樹皮採取および内樹皮に含まれる樹液量の推定, 岩手大学農学部演習林報告, 53: 1-16 (2022)
- 國崎 貴嗣: 中庸な強度の巻き枯らし間伐がスギ若齢人工林の胸高直径成長に及ぼす影響, 岩手大学農学部演習林報告, 53: 17-32 (2022): 滝沢演習林
- 國崎 貴嗣: 中庸な強度の巻き枯らし間伐が過密なスギ-落葉広葉樹複層混交林内の林木の生残・成長に及ぼす影響, 岩手大学演習林報告, 53: 33-47 (2022): 御明神演習林
- 國崎 貴嗣: 粗放的に管理された岩手県内針葉樹人工林における強度間伐後の低木層の発達過程, 岩手大学演習林報告, 53: 49-62 (2022)
- 千代島 蒔人, 大竹 崇寛, 渡邊 篤, 出口 善隆: 岩手県雫石町の積雪期において積雪深および林相がイノシシの掘り返しを伴う採食場所選択に与える影響, 哺乳類科学, 62: 225-231 (2022): 御明神演習林
- 千代島 蒔人, 大竹 崇寛, 渡邊 篤, 出口 善隆: 岩手県雫石町における自動撮影カメラを用いたイノシシの日周活動性の推定, 哺乳類科学, 63: 87-94 (2023): 御明神演習林
- 出口 善隆, 大和 千春, 大竹 崇寛, 千田 広幸, 佐々木 修, 佐々木 修一, 桃田 優子, 田尻 和之, 高橋 雅人, 平田 統一: 多数の水場が存在する林間放牧地における放牧牛の行動圏の経時変化, 東北畜産学会報, 72: 14-20 (2023): 御明神演習林
- 戸口 侑紀, 上田 実希, 黒河内 寛之, 中村 琢磨, 平尾 聡秀, 芝野 萌菜実, 齊藤 陽子: ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑実態—葉の形質と葉緑体 DNA 解析, 第 134 回森林学会大会学術講演集, 173 (2023): 御明神演習林
- 戸口 侑紀: 秩父山地の入山地区におけるヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑—葉の形質比較と遺伝マーカーによる比較—, 日本女子大学理学部卒業論文 (2023): 御明神演習林
- 佐々木 陽一: 相対幹距を用いた有用広葉樹人工林の混み過ぎ基準, 岩手大学農学部卒業論文 (2023): 滝沢演習林
- 橋本 卓拓: スギ過密人工林における平均枝下高の違いが下層植生形成に及ぼす影響, 岩手大学農学部卒業論文 (2023): 滝沢演習林
- 御堂地 康太: 重機を用いた天然更新補助作業が表層土壌の無機態窒素量に与える影響—かき起こしと表土戻しにおける 1 年目の評価—, 岩手大学農学部卒業論文 (2023): 滝沢演習林
- 國崎 貴嗣, 白旗 学, 松木 佐和子: 過密なスギ壮齢人工林における間伐効果—樹冠長と胸高直径成長量に基づく解析—, 日本森林学会誌, 104: 223-228 (2022): 滝沢演習林
- 大久保 歩武: 施肥量の違いが当年生、2 年生ウルシコンテナ苗成長に及ぼす影響, 令和 4 年度岩手大学農学部森林科学科卒業論文 (2023)
- 高瀬 悠: 地表処理が異なるコナラ母樹保残施業後約 20 年経過した広葉樹林における 5 年間の林分動態, 令和 4 年度岩手大学農学部森林科学科卒業論文 (2023)

白旗 学, 大竹 由起: ウルシコンテナ苗当年成長におよぼす施肥量の影響, 第 134 回日本森林学会大会
学術講演集: 152 (2023)

東北大学

大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

- Tsuzuki, Y., Sato, M.P., Matsuo, A., Suyama, Y., Ohara, M., Genetic consequences of habitat fragmentation in a perennial plant *Trillium camschatcense* are subjected to its slow-paced life history. *Population Ecology* 64: 5–18 (2022)
- Wagatsuma, S., Imanishi, J., Suyama, Y., Matsuo, A., Sato, M.P., Mitsuyuki, C., Tsunamoto, Y., Tominaga, T., Shimono, Y., Revegetation in Japan overlooks geographical genetic structure of native *Artemisia indica* var. *maximowiczii* populations. *Restoration Ecology* 30: e13567 (2022)
- Hirota, S.K., Yahara, T., Fuse, K., Sato, H., Tagane, S., Fujii, S., Minamitani, T., Suyama, Y., Molecular phylogeny and taxonomy of *Hydrangea serrata* complex (Hydrangeaceae) in western Japan including a new subspecies of *H. acuminata* from Yakushima. *PhytoKeys* 188: 49–71 (2022)
- Sakaguchi, S., Oishi, M., Takahashi, D., Matsuo, A., Hirota, S.K., Suyama, Y., Setoguchi, H., *Ribes fujisanense* (Grossulariaceae): a new species of obligate epiphytic gooseberry discovered in central Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 73: 49–56 (2022)
- Suyama, Y., Hirota, S.K., Matsuo, A., Tsunamoto, Y., Mitsuyuki, C., Shimura, A., Okano, K., Complementary combination of multiplex high-throughput DNA sequencing for molecular phylogeny. *Ecological Research* 37: 171–181 (2022)
- Nakahama, N., Okano, R., Nishimoto, Y., Matsuo, A., Ito, N., Suyama, Y., Possible dispersal of coastal and subterranean carabid beetle *Thalassoduvallius masidai* (Coleoptera) by ocean currents. *Biological Journal of the Linnean Society* 135: 265–276 (2022)
- Cardoni, S., Piredda, R., Denk, T., Grimm, G.W., Papageorgiou, A.C., Schulze, E-D., Scoppola, A., Shanjani, P.S., Suyama, Y., Tomaru, N., Worth, J.R.P., Simeone, M.C., 5S-IGS rDNA in wind-pollinated trees (*Fagus L.*) encapsulates 55 million years of reticulate evolution and hybrid origins of modern species. *The Plant Journal* 109: 909–926 (2022)
- Nakahama, N., Hanaoka, T., Itoh, T., Kishimoto, T., Ohwaki, A., Matsuo, A., Kitahara, M., Usami, S., Suyama, Y., Suka, T., Identification of source populations for reintroduction in extinct populations based on genome-wide SNPs and mtDNA sequence: a case study of the endangered subalpine grassland butterfly *Aporia hippia* (Lepidoptera; Pieridae) in Japan. *Journal of Insect Conservation* 26: 121–130 (2022)
- Uemura, R., Asakawa, A., Fujii, S., Matsuo, A., Suyama, Y., Maki, M., Can *Rumex madaio* (Polygonaceae) be threatened by natural hybridization with an invasive species in Japan? *Nordic Journal of Botany* 2022: e03543 (2022)
- Toji, T., Hirota, S.K., Ishimoto, N., Suyama, Y., Itino, T., Intraspecific independent evolution of floral spur length in response to local flower visitor size in Japanese *Aquilegia* in different mountain regions. *Ecology and Evolution* 12: e8668 (2022)
- Nota, K., Klaminder, J., Milesi, P., Bindler, R., Nobile, A., Steijn, T., Bertilsson, S., Svensson, B., Hirota, S.K., Matsuo, A., Gunnarsson, U., Seppä, H., Valiranta, M., Wohlfarth, B., Suyama, Y., Parducci, L., Norway spruce postglacial recolonization of Fennoscandia. *Nature Communications* 13: 1333 (2022)
- Takahashi, D., Isagi, Y., Li, P., Qiu, Y-X., Setoguchi, H., Suyama, Y., Matsuo, A., Tsunamoto, Y., Sakaguchi, S., Stable persistence of relict populations involved evolutionary shifts of reproductive characters in the genus *Tanakaea* (Saxifragaceae). *Journal of Systematics and Evolution* 60: 1405–1416 (2022)
- Suetsugu, K., Okada, H., Hirota, S., Suyama, Y., Evolutionary history of mycorrhizal associations between Japanese *Oxygyne* (Thismiaceae) species and Glomeraceae fungi. *New Phytologist* 235: 836–841 (2022)
- Higashi, Y., Hirota, S.K., Suyama, Y., Yahara, T., Geographical and seasonal variation of plant taxa detected in faces of *Cervus nippon yakushimae* based on plant DNA analysis, in Yakushima Island. *Ecological Research* 37: 582–597 (2022)
- Kurata, S., Vasques, D.T., Hirota, S.K., Kurashima, O., Suyama, Y., Nishida, S., Ito, M., From East Asia to Beringia: reconstructed range dynamics of *Geranium erianthum* (Geraniaceae) during the last glacial period in the northern Pacific region. *Plant Systematics and Evolution* 308: 28 (2022)
- Ishii, N.I., Hirota, S.K., Matsuo, A., Sato, M.P. Sasaki, T., Suyama, Y., Species-genetic diversity correlations depend on ecological similarity between multiple moorland plant species. *Oikos* 2022: e09023 (2022)
- Sasaki, T., Ishii, N.I., Makishima, D., Sutou, R., Goto, A., Kawai, Y., Taniguchi, H., Okano, K., Matsuo, A., Lochner, A., Cesarz, S., Suyama, Y., Hikosaka, K., Eisenhauer, N., Plant and microbial community composition jointly determine moorland multifunctionality. *Journal of Ecology* 110: 2507–2521 (2022)
- Ngoc, N.V., Son, H.T., Binh, H.T.h, Tagane, S., Suyama, Y., Yahara, T., A new species of *Lithocarpus* (Fagaceae) from Ca Dam Mountain of Quang Ngai Province, Vietnam. *Systematic Botany* 47: 729–737 (2022)
- Ngoc, N.V., Binh, H.T., Son, H.T., Suyama, Y., Yahara, T., A new species of *Quercus* genus (Fagaceae) from Son Tra Peninsula, Central Vietnam. *PhytoKeys* 206: 61–73 (2022)

- Makishima, D., Ishii, N., Sutoh, Rui, Goto, A., Kawai, Y., Taniguchi, H., Uchida, K., Shimazaki, M., Nakashizuka, T., Suyama, Y., Hikosaka, K., Sasaki, T., Predicting diversity changes in subalpine moorland ecosystems based on geometry of species distributions and realistic area loss. *Journal of Vegetation Science* 33: e13150 (2022)
- Kusuma, Y.W.C., Matsuo, A., Suyama, Y., Wanke, S., Isagi, Y., Conservation genetics of three *Rafflesia* species in Java Island, Indonesia using SNP markers obtained from MIG-seq. *Conservation Genetics* 23: 1039–1052 (2022)
- Saito, T., Sasaki, T., Tsunamoto, Y., Uchida, S., Satake, K., Suyama, Y., Chiba, S., Even short-distance dispersal over a barrier can affect genetic differentiation in *Gyraulus*, an island freshwater snail. *Freshwater Biology* 67: 1971–1983 (2022)
- Ishii, N.I., Hirota, S.K., Tsunamoto, Y., Matsuo, A., Abe, H., Suyama, Y., Extremely low level of genetic diversity in *Gentiana yakushimensis*, an endangered species in Yakushima Island, Japan. *Plant Species Biology* 37: 315–326 (2022)
- Teramura, A., Koeda, K., Matsuo, A., Sato, M.P., Senou, H., Ho, H-C., Suyama, Y., Kikuchi, K., Hirase, S., Assessing the effectiveness of DNA barcoding for exploring hidden genetic diversity in deep-sea fishes. *Marine Ecology Progress Series* 701: 83–98 (2022)
- Suetsugu, K., Hirota, S.K., Nakato, N., Suyama, Y., Serizawa, S., Morphological, ecological, and molecular phylogenetic approaches reveal species boundaries and evolutionary history of *Goodyera crassifolia* (Orchidaceae, Orchidoideae) and its closely related taxa. *PhytoKeys* 212: 111–134 (2022)
- Watanabe, K., Yaneshita, M., Denda, T., Yokota, M., Hirota, S.K., Suyama, Y., Tsumura, Y., Genetic structure of the *Liriope muscari* polyploid complex and the possibility of its genetic disturbance in Japan. *Plants* 11: 3015 (2022)
- Komagata, Y., Fukasawa, Y., Matsuura, K., Low temperature enhances the ability of the termite-egg-mimicking fungus *Athelia termitophila* to compete against wood-decaying fungi. *Fungal Ecology* 60: 101178 (2022)
- Takahashi, K., Fukasawa, Y., Association between corticolous myxomycetes and tree vitality in *Cryptomeria japonica*. *Mycoscience* 63: 45–52 (2022)
- Fukasawa, Y., Kaga, K., Surface area of wood influences the effects of fungal interspecific interaction on wood decomposition—A case study based on *Pinus densiflora* and selected white rot fungi. *Journal of Fungi* 8: 517 (2022)
- Fukasawa, Y., Kitabatake, H., Which is the best substrate to regenerate? a comparative pot experiment for tree seedling growth on decayed wood and in soil. *Forests* 13: f13071036 (2022)

山形大学

農学部附属やまがたフィールド科学センター

- Shiori N, Masateru N, Takahiro S, Kazuya W, Investigation of eDNA Quantitative Analysis Method for Understanding Fish Dynamics in Mountain Streams, The eDNA Society International Meeting 2023, P-61, (2023) : 山形大学演習林 早田川
- 永洞 史織, 西山 正晃, 佐藤 高広, 棟方 宏昇, 渡邊 一哉 : eDNA 分析手法を用いた渓流域における魚類生息量の推定, 応用生態工学会第 27 回京都大会, (2023) : 山形大学演習林 早田川
- 棟方 宏昇, 畑間 陽太, 渡邊 一哉 : 河川分断区間における河川残留型サクラマスの生息場選択特性, 応用生態工学会第 27 回京都大会, (2023) : 山形大学演習林 早田川

宇都宮大学

農学部附属演習林

- 松英 恵吾: 宇都宮大学船生演習林におけるヒノキ成長量試験地定期測定資料 (IX) , 宇都宮大学農学部演習林報告, 59: 47-60 (2023): 船生演習林
- 飯塚 和也, 松田 大和, 大島 潤一, 清水 奈名子: 栃木県北部の宅地敷地および森林における土壌の放射性セシウムの調査事例, 宇都宮大学農学部演習林報告, 59: 61-64 (2023): 船生演習林
- 斎藤 忠信, 斎藤 紀雄, 大森 伸也, 大島 潤一, 飯塚 和也: 船生演習林におけるヘキサチューブによる植栽木の初期成長への影響, 宇都宮大学農学部演習林報告, 59: 65-70 (2023): 船生演習林

新潟大学

佐渡自然共生科学センター演習林

- Naohiro I. Ishii, Shun K. Hirota, Yoshihiro Tsunamoto, Ayumi Matsuo, Harue Abe, Yoshihisa Suyama: Extremely low level of genetic diversity in *Gentiana yakushimensis*, an endangered species in Yakushima Island, Japan, *Plant Species Biology*, 37(5): 315-326 (2022)
- 阿部 晴恵: ヤブツバキとユキツバキの交雑帯における形質と遺伝的構造の比較, 奥びわ湖山門水源の森, 山門水源の森を次の世に引き継ぐ会, 74-76, ペリかん社 (2022)

- 古郡 憲洋, 本間 航介: 水田ビオトープにおける水際の形状の違いが水生昆虫群集に与える影響, 日本生態学会第 70 回全国大会, P2-270 (2023): 佐渡演習林
- 原 彩峰, 古郡 憲洋, 本間 航介: 水田ビオトープ内に設置された土側溝が水質と水生昆虫に与える影響, 日本生態学会第 70 回全国大会, P1-387 (2023): 佐渡演習林
- Nadezhda M. Tchebakova, Viacheslav I. Zyryanov, Olga A. Zyryanova, Elena I. Parfenova, Takuya Kajimoto, Yojiro Matsuura: A comparative study of climatology, energy and mass exchange in two forests on contrasting habitats in central Siberia: Permafrost *Larix gmelinii* vs. permafrost-free *Pinus sylvestris*, *Forests*, 14(2): 346 (2023)
- 齋藤 智之, 御田 成顕, 梶本 卓也, 橘 和明, 浅井 守雄, 紙谷 智彦: 魚沼市大白川地区のブナ間伐施業による伐採木のカスケード利用, 第 134 回日本森林学会大会, P-381 (2023)

東京大学

大学院農学生命科学研究科附属演習林

- Takahashi M, Goto S, Fukuda Y, Watanabe A: Utility of chloroplast DNA haplotype data for ecological restoration using *Fagus crenata* seedlings in case of incomplete seed source information availability, *Ecological Research*, 111: 1440-1703 (2022) : 田無演習林
- Haraguchi R, Hirao T, Yamada T: Detection and quantification of *Serpula himantioides* in the wood of *Chamaecyparis pisifera* butt rot trees by real-time PCR, *Forests*, 13(9) : 1429 (2022) : 秩父演習林
- Fukasawa Y, Matsukura K, Stephan JG, Kobayashi M, Suzuki SN, Kominami Y, Takagi M, Tanaka N, Takemoto S, Kinuura H, Okano K, Song Z, Jomura M, Kadowaki K, Yamashita S, Ushio M: Patterns of community composition and diversity in latent fungi of living *Quercus serrata* trunks across a range of oak wilt prevalence and climate variables in Japan, *Fungal Ecology*, 59: e101095 (2022) : 北海道演習林
- Nainar A, Mahali M, Kamlun KU, Besar NA, Majuakim L, Justine VT, Cleophas F, Bidin K, Kuraji K: Higher water yield but no evidence of higher flashiness in tropical montane cloud forest (TMCF) headwater streams, *Hydrology*, 9(10): 162 (2022)
- Khetnon P, Busarakam K, Sukhaket W, Niwaspragrit C, Kamolsukyeunyong W, Kamata N, Sanguansub S: Mechanisms of trichomes and terpene compounds in indigenous and commercial Thai rice varieties against brown planthopper, *Insects*, 13: 427 (2022) : 千葉演習林
- Mizuguchi Y, Fujioka E, Heim O, Fukui D, Hiryu S: Discriminating predation attempt outcomes during natural foraging using the post-buzz pause in the Japanese large-footed bat, *Myotis macrodactylus*, *Journal of Experimental Biology*, 225: jeb243402 (2022) : 北海道演習林
- Kusumoto D, Hisamoto Y, Murakawa I, Masuya H: Characteristics of *Lithocarpus edulis* tree death caused by Japanese oak wilt, *Journal of Forest Research*, 27(4): 315-322 (2022) : 千葉演習林
- Ishizuka W, Kitamura K, Hara T, Goto S: Characterization of the complete chloroplast genome of *Abies sachalinensis* and its intraspecific variation hotspots, *Journal of Forest Research*, 27(6): 476-482 (2022) : 北海道演習林
- Asano Y, Suzuki SN, Kawasaki M: Peak discharges per unit area increase with catchment area in a high-relief mountains with permeable sedimentary bedrock, *Journal of Hydrology*, 610 doi.org/10.1016/j.jhydrol.2022.127876 (2022) : 生態水文学研究所
- Tanigawa K, Makino Y, Miura N, Umeki K, Hirao T: Scale-dependent habitat selection of sympatric mesocarnivore species in a cool temperate forest in eastern Japan, *Mammalian Biology*, 102: 1901-1910 (2022) : 秩父演習林
- Li JL, Li CF, Tsuruta M, Matsushita N, Goto S, Shen ZG, Tsugama D, Zhang SJ, Lian CL: Physiological and transcriptional responses of the ectomycorrhizal fungus *Cenococcum geophilum* to salt stress, *Mycorrhiza*, 32(3-4): 327-340 (2022) : 田無演習林
- Ang JMA, Kusumoto D, Mitsugi M, Suzuki M: Regeneration of tree species after 11 years of canopy gap creation and deer exclusion in a warm temperate broad-leaved forest over-browsed by sika deer, *PeerJ*, 10 : e14210 (2022) : 千葉演習林
- Hatono M, Kiguchi M, Yoshimura K, Kanae S, Kuraji K, Oki T: A 0.01-degree gridded precipitation dataset for Japan, 1926-2020, *Scientific Data*, 9: 422 (2022) : 生態水文学研究所
- Miura N, Saito H, Hada T: Drone Remote Sensing For the Controlled Capture of Sika Deer (*Cervus Nippon*): Case Study in Village of Yamanakako, *The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences*, XLIII-B3-2022: 927-932 (2022) : 富士癒しの森研究所
- Chen S, Ishizuka W, Unno Y, Kusunoki K, Goto S: Pollen dispersal patterns and male reproductive success based on pedigree reconstruction in a hybrid larch (*Larix gmelinii* var. *japonica* × *L. kaempferi*) open-pollinated seed orchard, *Tree Genetics and Genomes*, 18: 33 (2022) : 田無演習林
- Shinohara Y, Iida S, Oda T, Katayama A, Tsuruta K, Sato T, Tanaka N, Su MP, Laplace S, Kijidani Y, Kume T:

- Are calibrations of sap flow measurements based on thermal dissipation needed for each sample in Japanese cedar and cypress trees? *Trees*, 36: 1219-1229 (2022) : 北海道演習林
- Kuraji K, Saito H: Long-Term Changes in Relationship between Water Level and Precipitation in Lake Yamanaka, *Water*, 14(14) : 2232(2022) : 富士癒しの森研究所
- Nainar A, Walsh RPD, Bidin K, Tanaka N, Annammala KV, Letchumanan U, Ewers RM, Reynolds G: Baseflow persistence and magnitude in oil Palm, logged and primary tropical rainforest catchments in Malaysian Borneo: implications for water management under climate change, *Water*, 14(22): 3791(2022) : 北海道演習林
- Tanaka N, Lai YJ, Im SJ, Mahali MB, Tuankruea V, Kuraji K, Cleophas F, Tantasirin C, Gomyo M, Tseng CW, Shiraki K, Hotta N, Asano Y, Inoue H, Nainar A: Climate Elasticity of Annual Runoff: Observation in Fifteen Forested Catchments on a Latitudinal Gradient in East Asia, *Atmosphere*, 14(4) : 629(2023) : 北海道演習林
- Haga C, Hotta W, Inoue T, Matsui T, Aiba M, Owari T, Suzuki S, Shibata H, Morimoto J: Modeling tree recovery in wind-disturbed forests with dense understory species under climate change, *Ecological Modelling*, 472: 110072(2023) : 北海道演習林
- Suzuki SN, Kachi N, Suzuki JI: Variation in abundance of trees originating from sapling banks facilitates the coexistence of two *Abies* species in a wave-regenerated forest, *Ecological Research*, 38: 167-176 (2023) : 北海道演習林
- Farahnak M, Sato T, Otani Y, Kuraji K, Suzaki T: The Differences in Water Repellency in Root Mat (Biomat) and Soil Horizons of Thinned and Non-thinned *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. Plantations, *Forests*, 14(2) : 210 (2023) : 生態水文学研究所
- Jing L, Morimoto J, Hotta W, Suzuki SN, Owari T, Toyoshima M, Nakamura F: The 30-year impact of post-windthrow management on the forest regeneration process in northern Japan, *Landscape and Ecological Engineering*, 19 : 227-242 (2023) : 北海道演習林
- Nojiri T, Werneburg I, Tu VT, Fukui D, Takechi M, Iseki S, Furutera T, Koyabu D: Timing of organogenesis underscores evolution of neonatal life histories and powered flight in bats, *Proceedings of the Royal Society B: Biological Science*, 290: 20221928 (2023) : 北海道演習林
- Pei H, Owari T, Tsuyuki S, Zhong Y: Application of a novel multiscale global graph convolutional neural network to improve the accuracy of forest type classification using aerial photographs, *Remote Sensing*, 15(4): 1001 (2023) : 北海道演習林
- 斉藤 明子, 村川 功雄, 尾崎 煙雄: 千葉県におけるアマミトガリナナフシの再発見, *月間むし*, 614: 39-41 (2022) : 千葉演習林
- 鎌田 直人: 総論: 昆虫の密度変動機構と大発生分類, *昆虫と自然*, 57(8): 2-4 (2022) : 千葉演習林
- 鎌田 直人: プナアオシャチホコの周期的大発生, *昆虫と自然*, 57(8): 5-8 (2022) : 千葉演習林
- 尾張 敏章: 天然林択伐施業の DX, *山林*, 1656: 36-42 (2022) : 北海道演習林
- 後藤 晋: 北海道における有用針葉樹トドマツの環境適応に関する研究とその遺伝研究基盤の構築, *森林遺伝育種*, 11(2): 50-53 (2022) : 北海道演習林
- 後藤 晋: 研究の原点, *森林遺伝育種*, 11(3): 162-163 (2022) : 田無演習林
- 齋藤 暖生: 多様化する森林アクティビティの最前線(7) ー森の中での音楽会・文化祭の試みー, *森林レクリエーション*, 424: 4-8 (2022) : 富士癒しの森研究所
- 澤田 晴雄, 佐藤 貴紀, 岸本 光樹: モニ 1000 愛知赤津サイトにおけるヒノキの種子および球果の落下特性, *中部森林研究*, 70: 3-6 (2022) : 生態水文学研究所
- 陳 恰然, 田中 隆文, 小谷 亜由美, 田中 延亮: 長期流出特性の解明を目的とした山地小流域試験地への SWAT モデルの適用, *中部森林研究*, 70: 29-32 (2022) : 生態水文学研究所
- 尾張 敏章, 大石 諭, 軽込 勉, 鈴木 祐紀, 鶴見 康幸, 米道 学, 塚越 剛史, 阿達 康眞, 村川 功雄, 藤平 晃司, 三次 充和, 楠本 大, 久本 洋子, 當山 啓介: 東京大学千葉演習林における天然林資源の現状, *東京大学農学部演習林報告*, 147: 1-14 (2022) : 千葉演習林
- 當山 啓介, 久本 洋子, 三次 充和, 広嶋 卓也: シカ生息下における暖温帯高齢人工林の間伐後 4 年間の下層植生変化からみた針広混交林化の可能性検証, *日本緑化学会誌*, 48(2): 345-356 (2022) : 千葉演習林
- 齋藤 暖生: 森の癒しとポジティブメンタルヘルス, *へるすあつぷ* 21, 453: 22 (2022) : 富士癒しの森研究所
- 當山 啓介, 大石 諭, 藤平 晃司, 里見 重成, 中島 徹, 龍原 哲: 東京大学千葉演習林のスギ・ヒノキ高齢人工林成長試験地における約 100 年間の成長資料, *演習林 (東大)*, 67: 1-17 (2023) : 千葉演習林

- 米道 学, 鈴木 祐紀, 塚越 剛史, 阿達 康眞, 軽込 勉, 久本 洋子, 楠本 大: 高齢天然ヒメコマツを
 台木にした高芽接ぎの活着, 演習林 (東大), 67: 19-26 (2023): 千葉演習林
- 岸本 光樹, 里見 重成, 高橋 功一, 丹羽 悠二, 浅野 友子: 生態水文学研究所内の宮試験流域日流出
 量観測結果報告 (自 2017 年 1 月至 2021 年 12 月), 演習林 (東大), 67: 27-36 (2023): 生態水文学
 研究所
- 三次 充和, 久本 洋子, 天野 誠, 藤平 晃司, 軽込 勉, 尾崎 煙雄, 御巫 由紀, 鎌田 直人: 東京大
 学千葉演習林における 1km メッシュスケールの維管束植物分布図, 演習林 (東大), 67: 37-46
 (2023): 千葉演習林
- 吉田 弓子, 川崎 雅俊, 高德 佳絵, 高野 充広, 浅野 友子: 秩父演習林における渓流水と降水の水質
 分析結果報告 (自 2021 年 4 月至 2022 年 3 月), 演習林 (東大), 67: 47-58 (2023): 秩父演習林
- 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林森林管理委員会管理担当: 「東京大学環境報告書 2022」
 に掲載された演習林樹木の CO₂ 吸収量の算出方法, 演習林 (東大), 67: 59-69 (2023): 全演習林
- 東京大学演習林: 東京大学演習林水文観測・水質分析報告 (自 2020 年 1 月至 2020 年 12 月), 演習林
 (東大), 67: 73-82 (2023): 全演習林
- 東京大学演習林: 東京大学演習林気象報告 (自 2021 年 1 月至 2021 年 12 月), 演習林 (東大), 67: 83-103
 (2023): 全演習林
- 齋藤 暖生: 新たな森と人の関係を紡ぎ出す大学演習林の挑戦, 森林科学, 97: 17-21 (2023): 富士癒し
 の森研究所
- 水内 佑輔: 日本近代砂防の祖・諸戸北郎博士の設計による溪間工事建造物群, 森林科学, 97: 28-31
 (2023): 生態水文学研究所
- 龍原 哲, 當山 啓介, 鈴木 誠: Effectiveness of the Canopy Closure Curve to Inform Management of
 Two-Storeyed Stands, 森林計画学会誌, 29: 1-9 (2023): 千葉演習林
- 井口 和信: 東京大学北海道演習林における虫害の観察記録—1980 年からの 43 年間—, 森林防疫, 72(2):
 82-88 (2023): 北海道演習林
- 高橋 功一, 鈴木 智之, 後藤 晋: 小面積皆伐と地表かき起こしによるストロブマツ人工林から針広
 混交林への転換: 15 年間にわたるストロブマツと天然林構成種の更新動態, 日本森林学会誌,
 105 (3): 65-75 (2023): 北海道演習林
- 後藤 晋: 全国スケールでのダケカンバ産地試験林の設定—地球温暖化が森林生態系に及ぼす影響評価
 を目指して—, 北海道の林木育種, 65(1): 15-18 (2023): 千葉演習林
- 木村 徳志, 鈴木 智之, 福岡 哲, 松井 理生, 後藤 晋, 尾張 敏章: 東京大学北海道演習林における
 エゾマツコンテナ苗植栽後 10 年の成長と生存, 北海道の林木育種, 65(2): 15-20 (2023): 北海道演
 習林
- 及川 希, 木村 徳志, 羽塚 冬馬, 鈴木 智之: iPhone LiDAR を林業に活用する試み—地拵え地の区画
 測量から植栽予定区域の面積を算出する事例、北方森林研究, 71: 31-34 (2023): 北海道演習林

東京農工大学

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

- Nakamura, M., Terada, C., Ito, K., Matsui, K., Niwa, S., Ishihara, M., Kenta, T., Yoshikawa, T., Kadoya, T.,
 Hiura, T., Muraoka, H., Ishida, K., Agetsuma, N., Nakamura, R., Sakio, H., Takagi, M., Mori, A. S., Kimura,
 M. K., Kurokawa, H., Enoki, T., Seino, T., Takashima, A., Kobayashi, H., Matsumoto, K., Takahashi, K.,
 Tateno, R., Yoshida, T., Nakaji, T., Maki, M., Kobayashi, K., Fukuzawa, K., Hoshizaki, K., Kazuhide, O.,
 Kobayashi, K., Hasegawa, M., Satoshi, S. N., Sakimoto, M., Kitagawa, Y., Sakai, A., Kondo, H., Ichie, T.,
 Kageyama, K., Hieno, A., Kato, S., Otani, T., Utsumi, Y., Kume, T., Homma, K., Kishimoto, K., Masaka, K.,
 Watanabe, K., Toda, M., Nagamatsu, D., Miyazaki, Y., Yamashita, T., Tokuchi, N.: Evaluating the soil
 microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across
 Japan. *Ecological Research* 37(3): 432–445 (2022): FM 草木
- Chen-Wei Chiu, Takashi Gomi, Marino Hiraoka, Katsushige Shiraki, Yuichi Onda, Bui Xuan Dung: Evaluating
 changes in catchment-scale evapotranspiration after 50% strip-thinning in a headwater catchment.
Hydrological Processes 36:e14611 (2022): FM 唐沢山
- 高木 真由, 向井 真那, 吉田 智弘, 佐々木 真優, 水上 知佳, 北山 兼弘: 森林生態系への火山灰加入
 のリン施肥効果: 火山灰加入量の異なるコナラ林の比較検証. *森林立地* 64(2): 65–76 (2022)
- 前田 理貴: 温帯針葉樹人工林においてつる植物は樹幹上の無脊椎動物群集に影響を与えるか. *東京農
 工大学大学院農学府農学専攻 修士論文*: 26 pp. (2022): FM 唐沢山
- 佐藤 惟生: スギ・ヒノキ人工林の転換を伴うユーカリ木質バイオマス燃料利用の時間変化を考慮した
 ライフサイクル温室効果ガス収支. *東京農工大学大学院農学府農学専攻 修士論文*: 137 pp. (2022):

FM唐沢山

- 新川 颯輝: 生息場所の異質性がファイトテルマータ内の群集構造と機能に及ぼす影響. 東京農工大学農学部 卒業論文: 37 pp. (2022): FM 草木、FM 唐沢山
- 齋藤 敦: スギ林の階層における節足動物食物網の栄養構造: 炭素と窒素の安定同位体分析. 東京農工大学農学部 卒業論文: 41 pp. (2022): FM 草木、FM 唐沢山
- 宇佐美 広祐: 都市の緑空間の局所的な環境がイロハモミジの紅葉に及ぼす影響. 東京農工大学大学院農学府農学専攻 修士論文: 82 pp. (2022): 府中苗畑
- 加藤 優空: 樹皮の形状および化学的特性によるイオン吸脱着への影響. 東京農工大学大学院農学府農学専攻 修士論文: 113 pp. (2022): FM 草木
- 中村 晟聡: ユーカリ育苗の養分条件が成長と光合成に及ぼす影響. 東京農工大学大学院農学府農学専攻 修士論文: 43 pp. (2022): 府中苗畑
- 新井 勝利: アカマツ細根およびその分枝元根の形状に与える土壌理化学性の影響. 東京農工大学農学部 卒業論文: 33 pp. (2022): FM 大谷山
- 川嶋 夏月: 都市緑地における6樹種の気孔とクチクラの関係. 東京農工大学農学部 卒業論文: 43 pp. (2022): 府中苗畑
- 瀬戸 裕里加: 悪臭低減を目的とした生垣の葉におけるアンモニアガスの吸着特性. 東京農工大学農学部 卒業論文: 28 pp. (2022): 府中苗畑
- 高澤 亜美: 都市緑地における光質に着目した光環境の評価. 東京農工大学農学部 卒業論文: 58 pp. (2022): 府中苗畑
- 永嶋 春輝: ユーカリ 属のコンテナによる健苗育成法の検討. 東京農工大学農学部 卒業論文: 52 pp. (2022): FM 唐沢山、府中苗畑
- 李 浩天: アカマツ根および落葉のポリフェノール含有量と外生菌根菌感染率の関係. 京農工大学農学部 卒業論文: 42 pp. (2022): FM 大谷山
- 小林 真理菜: 50%列状間伐を実施した流域における蒸発散量の時系列変化. 東京農工大学農学部 卒業論文: 70 pp. (2022): FM 唐沢山
- 高村 詩央里: 栃木県唐沢山人工林における UAVLiDAR データを活用した林内日射量の推定. 筑波大学生命環境学群地球学類地球環境学主専攻 卒業論文: 72 pp. (2022): FM 唐沢山

筑波大学

山岳科学センター

- 川上 香: 静岡県井川地域の山村における戦後の耕作地の変化と作物栽培. 総研大文化科学研究: (2023):井川演習林
- Yoshihiko Tsumura: Genetic structure and local adaptation in natural forests of *Cryptomeria japonica*, Ecological Research, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12320> (2022): 筑波実験林
- 後藤 晋: 全国スケールでのダケカンバ産地試験林の設定ー地球温暖化が森林生態系に及ぼす影響評価を目指してー, 北海道の林木育種, 65 (No.1) 15-18 (2022): 筑波実験林, 八ヶ岳演習林
- 秋成 怜美: 筑波大学構内と筑波実験植物園に生育する常緑樹数種の植物内生性担子菌類の調査, 筑波大学生物学類卒業研究, つくば生物ジャーナル, 22: 66-66 (2023): 筑波実験林
- Kiyoto SAWADA, Seishi KADOWAKI: Change in the guild structure of a snake community in Japan over 30 years, Current Herpetology, 42 (1) : 74-82 (2023) :茨城県つくば市
- Nakamura, M., Terada, C., Ito, K., Matsui, K., Niwa, S., Ishihara, M., Kenta, T., Yoshikawa, T., Kadoya, T., Hiura, T., Muraoka, H., Ishida, K., Agetsuma, N., Nakamura, R., Sakio, H., Takagi, M., Mori, A.S., Kimura, M.K., Kurokawa, H., Enoki, T., Seino, T., Takashima, A., Kobayashi, H., Matsumoto, K., Takahashi, K., Tateno, R., Yoshida, T., Nakaji, T., Maki, M., Kobayashi, K., Fukuzawa, K., Hoshizaki, K., Ohta, K., Kobayashi, K., Hasegawa, M., Suzuki, S.N., Sakimoto, M., Kitagawa, Y., Sakai, A., Kondo, H., Ichie, T., Kageyama, K., Hieno, A., Kato, S., Otani, T., Utsumi, Y., Kume, T., Homma, K., Kishimoto, K., Masaka, K., Watanabe, K., Toda, M., Nagamatsu, D., Miyazaki, Y., Yamashita, T. & Tokuchi, N.: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan. Ecological Research, 37 : 432-445. (2022): 川上演習林
- K Kitamura, K Namikawa, Y Tsuda, M Kobayashi, T Matsui: Possible northern persistence of Siebold's beech, *Fagus crenata*, at its northernmost distribution limit on an island in Japan Sea, Frontiers in Plant Science 13 : 990927, (2022): 北海道
- AG Madeira, Y Tsuda, Y Nagano, T Iwasaki, MI Zucchi, T Kajita, GM Mori : The role of oceanic currents in the dispersal and connectivity of the mangrove *Rhizophora mangle* on the Southwest Atlantic region, Molecular Ecology Resources: (2022) : 南西太平洋沿岸

- GM Mori, AKS Wee, Y Tsuda, DD Hinsinger: Integrated phylogeography and population genomics of coastal ecosystems, *Frontiers in Conservation Science* 3 : 959254 (2022) : その他
- CTM Le, I Okane, Y Ono, Y Tsuda, Y Yamaoka : Incidence of coffee leaf rust in Vietnam, possible original sources and subsequent pathways of migration, *Frontiers in plant science* 13: 872877(2022) : ベトナム
- AYE MYAT MYAT PAING, Nobuhiko SHIGYO, Yoshihiko TSUMURA, Masahiro TAKAGI, Yoko HISAMOTO, Susumu GOTO: Diversity of soil fungal communities associated with *Betula ermanii* in five transplanted sites. 3rd International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia: "A research hub of long-term forest monitoring field centers on environmental changes and ecosystem responses: Collaborating for data, knowledge and young researchers", Faculty of Forestry, Universitas Gadjah Mada, (2023): 筑波実験林
- Catur Putra Satgada, Fumitoshi Imaizumi, Tomohiro Egusa: Effect of the landslide occurrence on the soil carbon/nitrogen loss in the Southern Japanese Alps, *日本地球惑星科学連合2022*: (2022): 井川演習林
- 山川 陽祐, 輿水 康二, 内田 太郎: 付加体堆積岩の大規模崩壊多発地における降雨流出特性の空間分布 (その2) , *日本地球惑星科学連合2022年大会*: (2022): 井川演習林
- 羽鹿 孝文, 内田 太郎, 山川 陽祐: 大起伏山地における流出の遅れ時間の空間分布, *令和4年度砂防学会研究発表会*: (2022): 井川演習林
- 輿水 康二, 内田 太郎, 山川 陽祐: 付加体堆積岩地域における受け盤・流れ盤構造の違いに着目した降雨流出特性の検討, *令和4年度砂防学会研究発表会*: (2022): 井川演習林
- 大橋 正孝, 遠藤 好和: 冬期林道沿いで給餌とくくりわなによりニホンジカを捕獲する技術, *第12回中部森林学会大会*: (2022): 井川演習林
- 湯本 景将, 兼子 伸吾, 池田 紘士, 佐藤 正人, 佐藤 光, 遠藤 好和, 齊藤 陽子, 大迫 祐太郎, 田中 啓介, 津田 吉晃: 生息環境の異なるヒグラシ族3種の集団遺伝構造, *第70回日本生態学会大会*: (2023): 井川演習林
- 川上 香: 1955年頃の山村における焼畑休閑地の利用ー静岡市井川地域の採草地に着目してー, *日本地理学会*: (2023): 井川演習林
- 片岡 証人, 永久保 利紀, 野村 暢彦, 上野 誠, 豊福 雅典 : オカダンゴムシの腸内細菌による抗カビ物質の生産, *日本微生物生態学会 第35回大会*, (2022): 筑波実験林
- 相原 隆貴, 荒木 響子, Ragini Sarmah, 蔡 一涵, AYE MYAT MYAT PAING, 後藤 晋, 久本 洋子, 種子田 春彦, 戸丸 信弘, 本間航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松 大, 小林 元, 内山 憲太郎, 廣田 充, 津村 義彦 : 森林限界および南限集団のダケカンバ苗木の生存率・生長の低下: 気候環境・遺伝的多様性の影響, *森林遺伝育種学会第11回大会: P07* (2022): 筑波実験林
- Takaki AIHARA, Yoko ARAKI, Ragini SARMAH, Yihan CAI, Aye Myat Myat PAING, Susumu GOTO, Yoko HISAMOTO, Haruhiko TANEDA, Nobuhiro TOMARU, Kousuke HOMMA, Masahiro TAKAGI, Toshiya YOSHIDA, Atsuhiko IIO, Dai NAGAMATSU, Hajime KOBAYASHI, Kentaro UCHIYAMA, Mitsuru HIROTA, Yoshihiko TSUMURA: Declining survival, size and growth in *Betula ermanii* seedlings from marginal climates and genetically isolated populations, *Plant & Animal Genome Conference 2023(PAG30): P0241* (2023):筑波実験林
- 山崎 いずみ, 小沼 萌, 神崎 菜摘, 出川 洋介, 澤村 京一 : 日本産ショウジョウバエに寄生する *Stigmatomyces* (ラブルベニア綱) , *日本菌学会第66回大会* (2022) : 筑波実験林
- 大塚 千尋, 川田 清和: 沿岸部と山間部に生育するハナハタザオの栄養成長期における耐塩性比較, *日本生態学会第70回全国大会: (P1-199)*: (2023): 筑波実験林
- 谷田部 龍: 社会性ハダニにおける致死的雄間闘争の激しさと対捕食者反撃能力との関係, *第70回日本生態学会大会: (P1-090)* (2023): 筑波実験林
- 高木 健太郎: 遠くの同種より近くの他種: 植物種の混生パターンに依存した送粉昆虫の定花性の変化, *第54回種生物シンポジウム: P22* (2022): 筑波実験林
- Aye Myat Myat Paing, Shigyo N, Tsumura Y, Yoshida T, Takagi M, Hisamoto Y, Goto S: The relationship between fungal communities and growth of *Betula ermanii* populations in five planting sites, *第134回日本森林学会 (オンライン)*, 2023年3月, ポスター発表: 八ヶ岳, , 筑波実験林
- Aye Myat Myat Paing, Chen S, Araki K, Aihara T, Hirota M, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Nagamatsu D, Takagi M, Taneda H, Hisamoto, Y, Goto S: Pattern of survival and growth of *Betula ermanii* after transplanting to warm sites, *森林遺伝育種学会*, 2022月11月, ポスター発表: 八ヶ岳, 筑波実験林
- 山崎 いずみ: 日本産ショウジョウバエと寄生菌ラブルベニアの相互作用, *筑波大学生物学学位プログラム修士論文* (2023) : 筑波実験林
- 松本 尚樹: 欧米に侵入したスゴモリハダニ類の生物的防除に有用なカブリダニ系統作成に向けて, 筑

- 波大学生物学学位プログラム修士論文 (2023) : 筑波実験林
- 高木 健太郎: 遠くの同種より近くの他種: 植物種の混生パターンに依存した送粉昆虫の定花性の変化, 筑波大学生物学学位プログラム修士論文 (2023) : 筑波実験林
- 谷田部 龍: 窮鼠, 猫を噛む〜社会性ハダニにおける反撃能力と雄間闘争との関係〜, 筑波大学生物学類卒業研究, つくば生物ジャーナル, 22: 82-82 (2023): 筑波実験林
- 太田 有紀: スギが放出するBVOCsの新測定法の開発, 東京大学農学部卒業論文, (2023) : 筑波実験林
- 大塚 千尋: 生育環境の異なるハナハタザオの耐塩性比較, 筑波大学生物資源学類卒業研究, (2023) : 筑波実験林
- 古川 顕充: 窮鼠に噛まれた猫の戦術〜 捕食者タケカブリダニの卵はコロコロされて孵化遅延するのか?〜, 筑波大学生物学類卒業研究, つくば生物ジャーナル, 22: 83-83 (2023): 筑波実験林

信州大学

農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

- 吉藤 奈津子, 小南 裕志, 深山 貴文, 高瀬 椋, 上川 大輔: 室内燃焼実験によるスギ・アカマツ・カラマツの葉リター層の延焼速度, 第134回森林学会大会, P-305 (2023): 手良沢山ステーション
- 室谷 楓香, 小林 元, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 津村 義彦: ダケカンバ産地試験における3年生苗の樹冠構造, 第134回森林学会大会, P-271 (2023): 構内ステーション
- 小林 元, 向井 智咲: 中央アルプスの亜高山常緑針葉樹林における下層木の13年間の標高別林分動態, 第134回森林学会大会, P-248 (2023): 構内ステーション
- 小林 元, 前田 夏子, 高井 野乃子, 木下 渉, 野溝 幸雄, 酒井 敏信, 宮本 裕美子: 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター西駒ステーションの亜高山帯常緑針葉樹林固定試験地における2016〜2021年の気象観測データ, 信州大学農学部AFC報告, 21: 71-76 (2023): 西駒ステーション
- 平谷 理人, 安江 恒, 荒木 眞岳: スギにおける樹幹のCO₂放出速度と形成層帯幅、細胞拡大帯幅、二次壁肥厚帯幅との関係, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- 平谷 理人, 安江 恒, 荒木 眞岳: スギ樹幹における成長呼吸由来のCO₂放出速度—木部分化帯幅との関係, 第134回日本森林学会大会, (2023): 構内ステーション
- 工藤 佳世, Rahman Md Hasnat, 佐野 雄三, 雉子谷 佳男, 安江 恒, 高部 圭司, 半 智史, 船田 良, 高田 克彦: イチョウ樹幹における形成層活動および木部形成, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- 工藤 佳世, Rahman Md Hasnat, 佐野 雄三, 雉子谷 佳男, 安江 恒, 高部 圭司, 半 智史, 船田 良, 高田 克彦: イチョウ樹幹における形成層活動および木部形成, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- 安江 恒, 香川 聡, 檀浦 正子, 半 智史, 小林 元: カラマツにおける樹幹木部肥大成長への光合成産物配分の季節変動, 第73回日本木材学会大会, (2023): 手良沢山ステーション
- 安江 恒, 工藤 佳世, 高田 克彦: イチョウにおける樹幹木部肥大成長への 光合成産物配分の季節変動, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- 加藤 稔理: 年輪セルロース酸素・水素同位体比に影響する常緑樹と落葉樹の生理生態的要因, 名古屋大学大学院環境学研究科・地球環境科学専攻・修士(環境学)論文, (2023): 構内ステーション
- 森 惇哉, 塚田 健太郎, 井上 涼平, 野澤 陽子, 山岸 祐介, 安江 恒, 半 智史, 船田 良: オオヤマレンゲの未成熟種子を用いた組織培養による植物体再生に関する研究, 木材学会誌, 68(4): 145-153(2022):手良沢山ステーション
- 山野邊 真多: カラマツとスギの樹幹における非構造化炭水化物量の放射方向および季節変動に関する研究, 令和4年度東京農工大学大学院農学府修士論文, (2023): 構内ステーション
- 柴山 凧: 木部中のフェノール性成分および無機元素に着目したオニグルミの心材色発現に関する研究, 令和4年度東京農工大学農学部環境資源科学科卒業論文, (2023): 構内ステーション
- 山野邊 真多, 渡辺 誠, 安江 恒, 船田 良, 半 智史: カラマツとスギの樹幹における非構造化炭水化物量の放射方向および季節変動に関する研究, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- 柴山 凧, 牧野 礼, 橋田 光, 児嶋 美穂, 安部 久, 安江 恒, 小林 真, 吉田 俊也, 高橋 直樹, 堀川 祥生, 船田 良, 半 智史: フェノール性成分がオニグルミの心材色発現に与える影響, 第73回日本木材学会大会, (2023): 構内ステーション
- Yoshihiro Hosoo, Maho Yamashita, Kaho Nishimura: Molecular cloning and analysis of gene encoding a monosaccharide uptake transporter in *Cryptomeria japonica*, The 20th IUFRO Tree Biotechnology and the

- 2nd Forest Tree Molecular Biology and Biotechnology Conference, 78 (2022): 構内ステーション
- 細尾 佳宏, 岸中 徹平, 西村 佳穂: スギにおける単糖トランスポーター遺伝子*CjSTP4*の単離と解析, 第134回日本森林学会大会, G3 (2023): 構内ステーション
- 竹口 実咲, 山本 浩之, 吉田 正人, 蔣 卓廷, 細尾 佳宏, 安江 恒: 広葉樹あて材における湿熱回復挙動の種多様性, 第73回日本木材学会大会, C14-04-0930 (2023): 構内ステーション
- 落合 健吾, 細尾 佳宏, 未定 拓時, 奥原 祐司, 今井 信, 吉田 孝久, 山口 健太: カラマツ大径材における心材と辺材の静的曲げ強度特性の比較, 第73回日本木材学会大会, B15-P-02 (2023): 構内ステーション
- 國信 耕基, 細尾 佳宏, 未定 拓時, 桑山 知子, 奥原 祐司, 今井 信, 吉田 孝久, 山口 健太: ヒマラヤスギ熱処理木材の強度特性および化学成分量, 第73回日本木材学会大会, C15-P-07 (2023): 構内ステーション
- 岡山 実紗: スギ由来単糖トランスポーター遺伝子*CjSTP5*の単離・解析, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- 落合 健吾: カラマツ大径材成熟材部における心材と辺材の静的曲げ強度特性の比較, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- 國信 耕基: ヒマラヤスギ熱処理木材の強度特性および化学成分量, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- Yoshihiro Hosoo, Maho Yamashita, Kaho Nishimura: Molecular cloning and analysis of gene encoding a monosaccharide uptake transporter in *Cryptomeria japonica*, The 20th IUFRO Tree Biotechnology and the 2nd Forest Tree Molecular Biology and Biotechnology Conference, 78 (2022): 構内ステーション
- 細尾 佳宏, 岸中 徹平, 西村 佳穂: スギにおける単糖トランスポーター遺伝子*CjSTP4*の単離と解析, 第134回日本森林学会大会, G3 (2023): 構内ステーション
- 竹口 実咲, 山本 浩之, 吉田 正人, 蔣 卓廷, 細尾 佳宏, 安江 恒: 広葉樹あて材における湿熱回復挙動の種多様性, 第73回日本木材学会大会, C14-04-0930 (2023): 構内ステーション
- 落合 健吾, 細尾 佳宏, 未定 拓時, 奥原 祐司, 今井 信, 吉田 孝久, 山口 健太: カラマツ大径材における心材と辺材の静的曲げ強度特性の比較, 第73回日本木材学会大会, B15-P-02 (2023): 構内ステーション
- 國信 耕基, 細尾 佳宏, 未定 拓時, 桑山 知子, 奥原 祐司, 今井 信, 吉田 孝久, 山口 健太: ヒマラヤスギ熱処理木材の強度特性および化学成分量, 第73回日本木材学会大会, C15-P-07 (2023): 構内ステーション
- 岡山 実紗: スギ由来単糖トランスポーター遺伝子*CjSTP5*の単離・解析, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- 落合 健吾: カラマツ大径材成熟材部における心材と辺材の静的曲げ強度特性の比較, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- 國信 耕基: ヒマラヤスギ熱処理木材の強度特性および化学成分量, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション
- 室谷 楓香: 信州大学ダケカンバ産地試験地における葉フェノロジーと個葉光合成特性および樹冠構造の地域間差, 令和4年度信州大学農学部専攻研究論文(2023): 構内ステーション
- 向井 智咲: 西駒ステーション亜高山帯における下層木の13年間の標高別林分動態, 令和4年度信州大学農学部専攻研究論文(2023): 西駒ステーション
- 島本 健: ヒノキ人工林における細根の動態と呼吸, 令和4年度信州大学農学部専攻研究論文(2023): 手良沢山ステーション
- 大野田 直弥: 急傾斜地で萌芽更新した広葉樹3種の幹傾斜, 令和4年度カラマツ林業等研究発表会, 技術情報170号: 6-9 (2023): 手良沢山ステーション
- 大野田 直弥, 城田 徹央, 大塚 大, 齋藤 仁志, 岡野 哲郎: 急傾斜地で萌芽更新した広葉樹の幹傾斜と樹冠可塑性, 第8回山岳学術集会 (2022): 手良沢山ステーション
- 山崎 千種, 城田 徹央, 齋藤 仁志, 岡野 哲郎: 伐採による攪乱強度の違いが更新木の種組成に与える影響, 第8回山岳科学学術集会 (2022): 構内ステーション
- 武岡 明里: 林冠が再閉鎖した壮齢ヒノキ人工林における低木層の種組成と光環境, 令和4年度信州大学農学部卒業論文 (2023): 手良沢山ステーション
- 伊藤 太陽: 89年生ヒノキ林縁個体の大枝における心材分布, 令和4年度信州大学農学部卒業論文(2023): 手良沢山ステーション
- 山崎 千種, 城田 徹央, 齋藤 仁志, 岡野 哲郎: アカマツーヒノキ二段林におけるアカマツ択伐2年後の更新木の種組成, 第134回日本森林学会大会, P-163 (2023): 構内ステーション

- 伊藤 太陽, 安部 有佳子, 城田 徹央, 岡野 哲郎: 89年生ヒノキ林縁個体の枝の心材分布, 第134回日本森林学会大会, P-153 (2023): 手良沢山ステーション
- Masaaki Furuno, Taizo Uchida, Xue Jun Huan, Daisuke Hayasaka, Teruo Arase: Ecological characteristics of plants invading/colonizing street tree bases, *Journal of Environmental Information Science*, 2022(1): 12-23 (2022)
- 荒瀬 輝夫, 中野 正基: 生育地の地形からみたクロモジ属低木2種の分布特性, 信州大学農学部AFC報告, 21: 35-42 (2023): 手良沢山ステーション
- 荒瀬 輝夫: 群馬県西毛地域における森林内のシュウカイドウ群落について, 信州大学農学部AFC報告, 21: 43-51 (2023)
- 荒瀬 輝夫, 内田 泰三: スゲ属植物の耐陰性について, 環境科学年報 (信州大学), 45: 1-5 (2023): 手良沢山ステーション
- 横田 蓮: 刈り取から2年後の長尾根登山道におけるサ類再生と立地環境との関係, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 西駒ステーション
- 吉澤 優理: アケビ属植物3種の分類学的検討—上伊那北部地域における葉の形態的変異と種間差把握—, 信州大学農学部専攻研究論文 (2023): 構内ステーション, 西駒ステーション
- Ito T, Oda-Tanaka A, Akatsuki M, Masumoto T, Makita N. Different relationships of fine root traits with root ammonium and nitrate uptake rates in conifer forests. *Journal of Forest Research*. 28: 25-32 (2023): 手良沢山演習林
- 朝倉 知佳, 坂下 凜, 細井 彩, 牧田 直樹: 粗根と細根を対象とした直径別の根現存量分布: 地下1 mの世界. 第134回日本森林学会大会 (2023): 手良沢山演習林
- 坂下 凜, 朝倉 知佳, 細井 彩, 牧田 直樹: 根滲出速度は土壌深度に沿って変化するのか?: 針葉樹3種を用いた検証. 第134回日本森林学会大会 (2023): 手良沢山演習林
- 細井 彩, 朝倉 知佳, 坂下 凜, 増本 泰河, 牧田 直樹: 解剖特性による細根寿命の推測: 原生木部数は土壌深度に沿って変わるのか? 第134回日本森林学会大会 (2023): 手良沢山演習林
- 増本 泰河, 伊藤 拓生, 牧田 直樹: 樹木細根の養水分吸収機能と菌根菌—成木を対象とした野外研究から分かったこと—, 第70回日本生態学会大会 (2023): 手良沢山演習林
- 木元 茉莉, 安江 恒, 牧田 直樹: カラムツの粗根における肥大生長と炭素配分の解明. 第8回山岳科学学術集会, 信州大学 (2022): 手良沢山演習林
- 勝間 帆波, 暁 麻衣子, 高梨 功次郎, 高橋 史樹, 牧田 直樹: 冷温帯林における樹木細根組織の一次代謝産物には樹種間差があるのか? 第8回山岳科学学術集会, 信州大学 (2022): 手良沢山演習林
- 朝倉 知佳, 坂下 凜, 細井 彩, 牧田 直樹: 針葉樹林における粗根・細根現存量の垂直分布. 第8回山岳科学学術集会, 信州大学 (2022): 手良沢山演習林
- 坂下 凜, 朝倉 知佳, 細井 彩, 牧田 直樹: 冷温帯林における土壌深度に沿った根滲出速度の変化. 第8回山岳科学学術集会, 信州大学 (2022): 手良沢山演習林
- 細井 彩, 朝倉 知佳, 坂下 凜, 増本 泰河, 牧田 直樹: 樹木細根における解剖特性の植物種内・種間の比較—原生木部数は土壌深度に沿ってどのように変化するのか—. 第8回山岳科学学術集会, 信州大学 (2022): 手良沢山演習林
- 宇津木 佑: 破壊された森林土壌団粒の野外再生に関する基礎的研究, 信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻修士論文, (2023): 手良沢山ステーション
- 安藤 瑠美: 降水と渓流水・湧水の安定同位体比を用いた涵養域の推定, 信州大学農学部専攻研究論文, (2023): 手良沢山ステーション
- 情野 敦, 小野 裕: 森林斜面における土壌水分変動モデルの作成と不飽和透水係数を用いた検証, 第12回中部森林学会大会, (2022): 手良沢山ステーション
- 宇津木 佑夏, 小野 裕: 土壌表面の人工的被覆が森林土壌の団粒再生と物理性に及ぼす影響, 第12回中部森林学会大会, (2022): 手良沢山ステーション
- 宇津木 佑夏, 小野 裕: 森林土壌団粒の野外再形成過程に土壌表面の人工的被覆が及ぼす影響, 第134回日本森林学会大会, (2023): 手良沢山ステーション
- 情野 敦, 小野 裕: 森林斜面における土壌水分変動モデルの作成と精度の検証, 第134回日本森林学会大会, (2023): 手良沢山ステーション
- 横川 晴人, 小野 裕: 土壌圧縮が土層深部の水移動に及ぼす影響, 第134回日本森林学会大会, (2023): 手良沢山ステーション

静岡大学

農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

Akiko Sawada, Takashi Hayakawa, Yosuke Kurihara, Wanyi Lee, Goro Hanya: Seasonal responses and host uniqueness of gut microbiome of Japanese macaques in lowland Yakushima, *Animal Microbiome*, 4: 54 (2022): 演習林外

小高 猛司, 沢田 和秀, 今泉 文寿, 難波 喬司: 2021 年 7 月熱海土石流災害における関連学会の技術支援活動, *地盤工学会誌*, 71(3), 1-8(2023):演習林外

Shoki Takayama, Fumitoshi Imaizumi: Effects of coarse particles on downstream face erosion processes and outflow discharge during the overtopping of a landslide dam, *Landslides*, 20, 351–366, <https://doi.org/10.1007/s10346-022-01973-w> (2022) : 演習林外

Kenji Yokoyama, Fumitoshi Imaizumi, Tomohiro Egusa : A review of groundwater observation methods for slow-moving landslide, *International Journal of Erosion Control Engineering*, 15,2,7-12, [https://doi.org/10.13101/ijece.15.7\(2022\)](https://doi.org/10.13101/ijece.15.7(2022)) : 演習林外

Shoki Takayama, Yoshifumi Satofuka, Fumitoshi Imaizumi: Effects of water infiltration into an unsaturated streambed on debris flow development, *Geomorphology*, 409, 108269, <https://doi.org/10.1016/j.geomorph.2022.108269> (2022) : 演習林外

日本大学

生物資源科学部演習林

片桐 花音, 小坂 泉, 梁瀬 裕生, 杉本 奏音, 瀧澤 英紀, 阿部 和時: 太平洋側の温暖な低地に植栽されたブナの光合成速度と気孔コンダクタンスの関係, *関東森林研究*, 74: 101-104(2023):藤沢演習林

東京農業大学

地域環境科学部奥多摩演習林

佐藤 孝吉: 東京農業大学奥多摩演習林における間伐材のログベンチ利用, *関東森林研究*, 74(1), : (2023): 奥多摩演習林

長谷川 裕康: 植生環境の差異が鳥類群集に与える影響, *地域環境科学研究科林学専攻森林生態学研究室修士論文: (2023): 奥多摩演習林*

羽住 歩華: 音と光を用いた防除器具による中・大型哺乳類の忌避効果の比較, *地域環境科学部森林総合科学科森林生態学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

新舟 裕太: 東京農業大学奥多摩演習林における間伐後発達した林床植生の調査, *地域環境科学部森林総合科学科造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

齋藤 匡佑: 奥多摩演習林内における異なる気候条件が与える地表徘徊性甲虫への影響, *地域環境科学部森林総合科学科造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

鈴木 恵理: 東京農業大学奥多摩演習林内におけるウリハダカエデの分布特性, *地域環境科学部森林総合科学科造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

都所 恒太: 東京農業大学奥多摩演習林と東京農業大学世田谷キャンパスにおける鳴く虫の出現数の把握, *地域環境科学部森林総合科学科 造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

藤田 渚: 大径木と若齢木の落葉広葉樹の土壌環境の違い, *地域環境科学部森林総合科学科造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

八幡 信吾: 倒木上のコケの種類の違いによるスギ実生の成長と生存, *地域環境科学部森林総合科学科造林学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

菊池 智弘: 作業道における枝条を用いた法面保護工の検討, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

高橋 尚輝: 竹製横断排水溝の構造の違いが路面排水に及ぼす影響, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

中田 美祈: 作業道の路盤強化における木灰の活用, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

中村 龍弥: スマートフォンを用いた伐倒方向の決定, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

馬場 輝範: 伐倒作業における技術指導の効果—受口作成作業について—, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

松澤 美緒: 緩衝材の違いによるヘルメット内温熱環境: 下刈り作業者の場合, *地域環境科学部森林総合科学科林業工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林*

富井 大雅: 体験イベントによる林地残材の有効活用—東京農業大学奥多摩演習林の間伐地を事例とし

- てー, 地域環境科学部森林総合科学科 森林経営学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林
 荒木 泉: スギ生立木における樹液流の水分通導, 地域環境科学部森林総合科学科木材工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林
 杉本 克由: 樹幹径の日変化に影響を及ぼす樹皮・形成層帯の収縮について, 地域環境科学部森林総合科学科木材工学研究室卒業論文: (2023): 奥多摩演習林
 Allen M L, Krofel M, Yamazaki K, Alexander E P, Koike S: Cannibalism in bears, *Ursus*, 33: 1-9 (2022)
 Inagaki A, Allen M L, Maruyama T, Yamazaki K, Tochigi K, Naganuma T, Koike S: 2022. Carcass detection and consumption by facultative scavengers in forest ecosystem highlights the value of their ecosystem services, *Scientific Reports*, 12: 16451 (2022)
 亀山 翔平, 矢部 和弘: 基盤地図情報とUAV-SfMによる3Dモデルを用いた林内路網計画の可能性 関東森林研究74(1) 2023年3月
 Koike S, Tochigi K, Yamazaki K: Are seeds of trees with higher fruit production dispersed farther by frugivorous mammals?, *Journal of Forest Research*, : 1-9 (2022)
 Ohsaki H, Miyamoto R, Sembongi Y, Tajima M, Sakamoto Y, Okuda K, Yamawo A: Plant-plant interaction by *Aster leiophyllus* affects herbivory by Sika deer, *Cervus nippon.*, *The Science of Nature*, 109(6):54 (2022)
 Takayama K, Ohnishi N, Zedrosser A, Anezaki T, Tochigi K, Inagaki A, Naganuma T, Yamazaki K, Koike S: Timing and distance of natal dispersal in Asian black bears., *Journal of Mammalogy*, 2022: 1-14 (2023)
 Tezuka S, Tanaka M, Naganuma T, Tochigi K, Inagaki A, Myojo H, Yamazaki K, Allen ML, Koike S: Comparing information derived on food habits of a terrestrial carnivore between animal-borne video systems and fecal analyses methods., *Journal of Mammalogy*, 2022:1-11 (2022)

名古屋大学

大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター 稲武・設楽フィールド

- Kishigami M, Matsuoka F, Maeno A, Yamagishi S, Abe H, Toki W: Yeast associated with flower longicorn beetle *Leptura ochraceofasciata* (Cerambycidae: Lepturinae), with implication for its function in symbiosis, *PLOS ONE*, 18(3): e0282351(2023): 稲武フィールド
 Matsuo-Ueda M, Yoshida M, Yamamoto H: Analysis of hygrothermal recovery of tension wood induced by boiling at 50–80 °C, *Holzforshung*, 77: 270-282(2023): 稲武フィールド
 Ogawa K: Allometric scaling of leaf mass based on the pipe model theory for woody plant species, *European Journal of Forest Research* 141: 481-487(2022): 稲武フィールド
 Suzuki H, Kashiwagi H, Kajimura H: How does the 120-year cycle mast seeding of dwarf bamboo affect the rodent population?, *Ecological Processes*, 11: 43(2022): 稲武フィールド
 Suzuki R, Hayashi K, Osaka H, Matsubayashi S, Arita T, Nakadai K, Okuno HG: Estimating the soundscape structure and dynamics of forest bird vocalizations in an azimuth-elevation space using a microphone array, *Applied Sciences*, 13(6): 3607(2023): 稲武フィールド
 鈴木 麗瑩: 私のブックマーク : 学習・コミュニケーション・言語の創発と進化に対する構成論的アプローチ, *人工知能学会誌*, 37 (5): 661-671(2022): 稲武フィールド
 Yamamoto H, Sujana KC, Matsuo-Ueda M, Yoshida M, Chen S: Microscopic mechanism of contraction of tension wood G-fiber due to boiling, *Cellulose*, 29: 7935-7954(2022) : 稲武フィールド
 伊木 思海, 藤森 憲臣, 柴田 康平, 稲津 賢知, 平田 秀彦, 吉田 宏, 大場 裕一: 夏季に採集されたホタルミミズ *Microscoplex phosphoreus* について, 豊田ホテルの里ミュージアム, 15: 69-78(2023): 稲武フィールド, 設楽フィールド
 Suzuki R, Sumitani S, Ikeda C, Arita T: A modeling and experimental framework for understanding evolutionary and ecological roles of acoustic behavior using a generative model, *Proceedings of ALIFE 2022: The 2022 Conference on Artificial Life (ALIFE2022)*, Paper No: isal_a_00542, 58 (3 pages) (2022): 稲武フィールド
 Zhao H, Suzuki R, Arita T, Nakadai K, Okuno HG: Visualizing soundscape of animal vocalizations in forests using robot audition techniques, 第57回AIチャレンジ研究会予稿集 (SIG-Challenge, 061-02): 2-8(2022): 稲武フィールド
 Zhao H, Suzuki R, Kojima R, Arita T, Nakadai K: A soundscape analysis of bird and cicada vocalizations based on azimuth and elevation localization using robot audition and machine learning techniques, *Proceedings of the 28th International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 2023)*: 449-454(2023): 稲武フィールド
 相原 隆貴, 荒木 響子, Ragini Sarmah, 蔡 一涵, Aye Myat Myat Paing, 後藤 晋, 久本 洋子, 種子田 春彦, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松 大, 小林 元, 内山 憲太郎, 廣田 充, 津村 義彦: 森林限界および南限集団のダケカンバ苗木の生存率・生長の低下: 気候環

- 境・遺伝的多様性の影響, 第11回森林遺伝育種学会大会: (2022): 設楽フィールド
- Aihara T, Araki K, Sarmah R, Cai Y, Paing AMM, Goto S, Hisamoto Y, Taneda H, Tomaru N, Homma K, Takagi M, Yoshida T, Iio A, Nagamatsu D, Kobayashi H, Uchiyama K, Hirota M, Tsumura Y: Declining survival, size and growth in *Betula ermanii* seedlings from marginal climates and genetically isolated populations, *Plant & Animal Genome* 30: (2023): 設楽フィールド
- 藤井 朱瑞, 渡邊 彰: 腐植物質の化学構造と生物分解性との関係, 2022年度日本土壤肥料学会大会: (2022): 稲武フィールド, 設楽フィールド
- 古田 理奈, 井上 亮太, 梶村 恒: イタドリに揺籃を作成するカシルリオトシブミと花外蜜腺に誘引されるアリの相互作用, 日本昆虫学会第82回大会: (2022): 稲武フィールド
- 市岡 幸雄, 梶村 恒: モリアオガエルの産卵場所が泡巣の温度調節と卵の孵化に及ぼす影響, 日本爬虫両棲類学会第58回大会: (2022): 稲武フィールド
- 伊木 思海, 南谷 幸雄, 大場 裕一: 愛知県産アズマフトミミズ属 *Amyntas* 未記載種について, 第44回日本土壤動物学会大会: (2023): 稲武フィールド, 設楽フィールド
- Jing Qiyu, 山本 浩之, 吉田 正人, Jiang Zhuoting, 安藤 幸世: 圧縮あて材、オポジット材、未成熟材の相違点と類似点, 2022年度日本木材学会中部支部大会: (2022): 稲武フィールド
- Jing Qiyu, 山本 浩之, 吉田 正人, Jiang Zhuoting, 安藤 幸世, 高部 直紀: 遅延解放による杉の寸法変化挙動のメカニズムー有機溶媒処理の効果, 第73回日本木材学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 梶田 瑠依, 梶村 恒: 森林性ネズミは虫害堅果を識別して持ち去るのか? : 加害昆虫に着目して, 日本動物行動学会第41回大会: (2022): 稲武フィールド
- 梶田 瑠依, 梶村 恒: 森林性ネズミによる虫害堅果の採餌戦略: 開放・閉鎖系の野外操作実験, 第70回日本生態学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 金子 祥也, 谷川 東子, 藤堂 千景, 池野 英利, 山瀬 敬太郎, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 平野 恭弘: 二周波地中レーダを用いたスギ根系と石礫の同時検出, 第55回根研究集会: (2022): 稲武フィールド
- 金子 祥也, 谷川 東子, 藤堂 千景, 池野 英利, 山瀬 敬太郎, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 平野 恭弘: 二周波地中レーダを用いたスギ林の根系と石礫の検出精度の検証, 第12回中部森林学会大会: (2022): 稲武フィールド
- 金子 祥也, 谷川 東子, 藤堂 千景, 池野 英利, 山瀬 敬太郎, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 平野 恭弘: 巨礫を含む土壤に生育するスギ林根系の地中レーダを用いた検出精度, 第134回日本森林学会大会: (2023): 稲武フィールド
- Kato M, Nakatsuka T, Kato Y, Zhen Li: Vertical changes in cellulose $\delta^{18}\text{O}$ and $\delta^2\text{H}$ along conifer trunks: Implications for physiological controls on tree-ring isotopes, 7th conference of Asian Dendrochronological Association: (2022): 稲武フィールド
- 馬 特, 梶村 太楠, 稲垣 哲也, 土川 覚: 可視-近赤外空間分解分光法による成長応力解放ひずみの測定, 第73回日本木材学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 三浦 一将, 山本 一清, 古川 丈真: PointNet++ を用いた樹種分類の検討, 第134回日本森林学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 門司 早紀, 岸上 真子, 鈴木 智之, 土岐 和多瑠: ハナカミキリー酵母共生系の地理的変異, 第70回日本生態学会大会: (2023): 稲武フィールド
- Paing AMM, Chen S, Araki K, Aihara T, Hirota M, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Nagamatsu D, Takagi M, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S: Patterns of survival and growth of *Betula ermanii* after transplanting to warm sites, The 11th Annual Meeting of Japanese Society of Forest Genetics and Tree Breeding: (2022): 設楽フィールド
- 千古 晴菜, 兒玉 宏樹, 古川 宗志郎, 今飯田 枝里, 渡邊 彰: 主成分分析を用いた各種フルボ酸の特徴づけ, 第38回日本腐植物質学会講演会: (2022): 稲武フィールド, 設楽フィールド
- 柴山 潤太: 研究支援のお願いー森の時空間的変化に対する鳥の反応ー, バードリサーチ鳥類学大会 2022: (2023): 稲武フィールド
- 柴山 潤太, 梶村 恒: 針広混交林における30年の時間変化と植生の空間分布に対する鳥類の反応, 第134回日本森林学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 鈴木 華実: 120年ぶりのスズタケ開花とその後~5年間経過した今分かってきたこと, 第45回竹サロン情報交換会: (2022): 稲武フィールド
- 鈴木 華実, 梶村 恒: 林内におけるスズタケ種子の供試実験: 利用する動物種の特異とその行動解析, 第70回日本生態学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽: 野鳥の歌解析研究例の紹介とHARKBird紹介, 第21回HARK講習会: (2023): 稲武フィールド

ド

- 田畑 望実, 梶村 恒: キツツキ類の採餌木と営巣木の特徴を探る—枯死木を保残する森林管理指針の検討—, 第12回中部森林学会大会: (2022): 稲武フィールド
- 竹口 実咲, 山本 浩之, 吉田 正人, 陳 碩也, 高部 直紀: 広葉樹材の湿熱回復挙動の多様性, 2022年度日本木材学会中部支部大会: (2022): 稲武フィールド
- 竹口 実咲, 山本 浩之, 吉田 正人, 蔣 卓廷, 細尾 佳宏, 安江 恒: 広葉樹あて材における湿熱回復挙動の種多様性, 第73回日本木材学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 土岐 和多瑠: 材依存性甲虫の共生器官で運搬される酵母の多様性, 第67回日本応用動物昆虫学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 鶴 啓太郎, 高津 柊大, 中川 弥智子: オオカメノキの外部形態の地理的変異, 第70回日本生態学会大会: (2023): 稲武フィールド
- Urvois T, Perrier C, Roques A, Sauné L, Courtin C, Kajimura H, Hulcr J, Cognato AI, Auger-Rozenberg M-A, Kerdelhué C: Contrasting invasion history in two ambrosia beetles of the *Xylosandrus* genus, XXVI International Congress of Entomology: (2022): 稲武フィールド
- Yamamoto H, Kitagawa S, Jing Q, Hashino S, Jiang Z, Takeuchi M, Yoshida M, Ando K, Takabe N: Which compression wood behaviors depends on high MFA or thick S2L?, The 10th Plant Biomechanics Conference: (2022): 稲武フィールド
- 山本 浩之, Sujan KC, 吉田 正人, 松尾 美幸: 広葉樹あて材G繊維の湿熱回復挙動の微視機構—遷移状態理論に基づく速度論的考察, 第73回日本木材学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 山本 真子, 渡邊 彰: 各種土壌中の結合型ヒューミンの化学構造: 第38回日本腐植物質学会講演会: (2022): 稲武フィールド, 設楽フィールド
- 柳瀬 亮太, 谷川 東子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 金子 祥也, 山瀬 敬太郎, 藤堂 千景, 池野 英利, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 平野 恭弘: スギ根系における土壌深さ別の細根呼吸速度と形態特性, 第134回日本森林学会大会: (2023): 稲武フィールド
- 秋元 孝哉: 物理・化学的刺激が木材の物性に及ぼす影響, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 橋本 侑飛: 樹木辺材における抽出成分生合成誘導に関する研究, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 池森 加奈恵: エゴノキを加害するキクイムシ類の生態解明—穿孔に関わる立地環境要因と共生菌を中心に—, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 木俣 朱理: 炭化物を利用した土壌炭素貯留量の増大—根圏微生物に対する効果と森林土壌への応用, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 柴山 潤太: 針広混交林における鳥類群集の長期的変化および環境選好性, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 高木 隆: クビナガキバチ科昆虫と菌類の共生系における寄主木選好性の実証—樹種の違いが菌糸生長に及ぼす影響—, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 鶴 啓太郎: 標高の異なる3地域におけるオオカメノキの外部形態, 2022年度名古屋大学農学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 柳瀬 亮太: スギ根系における土壌深さ別の細根呼吸速度と形態特性, 2022年度名古屋大学理学部卒業論文: (2023): 稲武フィールド
- 古田 理奈: 花外蜜腺に誘引されるアリの有効性を中心とするイタドリの被食防衛戦略の総合評価, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド
- Jing Qiyu: 針葉樹あて材の各種寸法変化挙動の組織・解剖学的メカニズム, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド
- 松岡 史晃: ハナカミキリ—酵母共生系における幼虫の資源利用様式と共生酵母の関係, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド
- 三浦 一将: PointNetを用いた単木樹種分類手法の開発, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド
- 門司 早紀: ハナカミキリにおける共生酵母の維持機構: 共生器官への取り込みと地域間比較による共生酵母の転換の検証, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド
- 田畑 望実: キツツキ類の保全を目指した生態調査: 採餌痕・巣穴・録音音声に着目して, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド

山本 真子: 結合型土壌有機炭素は微生物由来か?, 2022年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2023): 稲武フィールド, 設楽フィールド

岐阜大学

応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター

花田 雄亮, 山口 富美夫, 石田 仁: 岐阜大学位山演習林大径木天然林の蘚苔類相, 岐阜県植物研究会誌 (37) 25-29(2022): 岐阜大学位山演習林

Nakamori, S., & Ando, M. (2022). Trends in habitat use between sympatric sika deer and Japanese serow as revealed by camera traps. *Mammal Study*, 47(3), 1-12.

Ikeda, T., Nakamori, S., & Ando, M. (2022). Activity Patterns and Habitat Use Between Sika Deer and Japanese Serow. In *Sika Deer: Life History Plasticity and Management* (pp. 485-502). Singapore: Springer, Nature Singapore.

中森 さつき, 船津 沙月, 野澤 秀倫, 安藤 正規: カメラトラップによるニホンジカおよびカモシカの長期モニタリング, P-61 日本哺乳類学会2022年度大会 (2022年8月): 岐阜大学位山演習林

中島 啓裕, 飯島 勇人, 深澤 圭太, 安藤 正規, 相澤 宏旭: 自動撮影カメラ映像のオープンデータベースの構築に向けて, F5 日本哺乳類学会2022年度大会 (2022年8月): 岐阜大学位山演習林

上村 岳斗, 大西 健夫, 平松 研: 針葉樹人工林化による渓流水質および水文流出過程の変化の評価, 第30回雨水資源化システム学会大会(2022年11月): 岐阜大学位山演習林

市川 聖佳, 豊田 政幸, 千家 正照, 上村 岳斗, 大西 健夫, 平松 研: 林相の異なる森林流域におけるFe, Siの動態, 第30回雨水資源化システム学会大会(2022年11月): 岐阜大学位山演習林

Takeo Uemura, Takeo Onishi, Toshiyuki Otsuka, Ken Hiramatsu: Evaluation of Changes in Stream Water Chemistry and Flow Path Due to Coniferous Plantations, AGU Fall Meeting (2022年12月): 岐阜大学位山演習林

中藤 駿: 岐阜市北部におけるヨシノボリ属3種の生息場所特性, 日本生態学会第70回全国大会 (2023年3月): 岐阜大学柳戸演習林

三重大学

大学院生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

岸 和実, 神代 圭輔, 明石 浩和, 足立 亘, 淵上 佑樹, 古田 裕三: 原木段階における製材品の簡便な強度等級予測手法の開発, 木材学会誌, 68(3): 124-131 (2022):

横山 航大, 吉井 達樹, 沼本 晋也, 松村 直人: スギ人工林におけるGNSS測定の精度分析, 第12回中部森林学会講演要旨集. (2022): 平倉演習林

島田 博匡, 沼本 晋也: 倒流木を除去した渓流区間における倒流木の再発生・流下の経年変化, 第134回日本森林学会学術講演要旨集, 203 (2023): 平倉演習林

沼本 晋也: 豪雨時の山地土砂災害と流域対応 -2度の豪雨災害を受けた大台町宮川流域-, 三重の林業, 429: 11-12 (2022): 三重県大台町

北上 雄大: 森に潜む微小の生物の生き様 ~線虫を通して森を見る~, 三重の林業, 430: 11-12 (2022): 平倉演習林他

沼本 晋也: 森林飽和 -国土の変貌を考える- :ここから広げよう 先生からのオススメ本 READING LIST, 学塔, 148: 3 (2022):

松村 直人: 生物資源100周年と森づくり100年の計, 三重の林業, 432: 11-12 (2023): 平倉演習林他

齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: ヤマザクラコルク組織の吸着挙動I, 日本材料学会第71期学術講演会, 大阪 (ハイブリッド), 127. (2022): 平倉演習林

Takafumi Mizuno, Daichi Kondo, Hiroto Kasai, Yoshinori Murai, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Watanabe: Construction of ionome database of Japanese wild plants and extraction of plant nutritional information, 第8回国際メタロミクスシンポジウム, 金沢 (2022): 平倉演習林

水野 隆文, 近藤 大地, 河西 皓仁, 伊東 拓朗, 村井 良徳, 山下 純, 橋本 篤, 渡部 敏裕: 植物標本と蛍光X線分析を用いた野生植物の元素集積傾向の解析 (4) 日本の野生植物におけるイオウとリンの集積傾向とその正の相関, 日本土壌肥科学会2022年度大会, 東京農業大学 (2022): 平倉演習林

淵上 佑樹, 山崎 真理子, 井上 郁人: 建築物・建設活動のSDGs貢献度の定量評価—その1 持続可能な建築物・建設活動の指標策定とSDGs貢献度—, 2022年度日本建築学会大会学術講演会 (北海道) オンライン (2022):

山崎 真理子, 淵上 佑樹, 井上 郁人: 建築物・建設活動のSDGs貢献度の定量評価—その2 個別物件に対する評価項目の策定—, 2022年度日本建築学会大会学術講演会 (北海道), オンライン (2022):

井上 郁人, 山崎 真理子, 淵上 佑樹: 建築物・建設活動のSDGs貢献度の定量評価—その3 木造事務所建築のモデルテスト—, 2022年度日本建築学会大会学術講演会(北海道), オンライン(2022):

中井 毅尚, 齊藤 勇人, 岡田 まり, 淵上 佑樹: 三重県桑名市におけるタケ活用に向けた取り組み, 日本木材加工技術協会第40回記念年次大会, 東京(2022): 三重県桑名市

村山 浩久, 菊谷 茂, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹: ICTを活用した新たな木材流通(京都モデル)の構築を目指した基礎的研究—木材検収アプリ及び強度推定アプリの導入効果の検討, 日本木材加工技術協会第40回記念年次大会, 東京, (2022):

齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: 脱多糖類処理がヤマザクラコルク組織の力学特性へ及ぼす影響, 2022年度日本木材学会中部支部大会, 長野(2022): 平倉演習林

岡田 美久雲, 中井 毅尚, 齊藤 勇人, 鳥羽 景介: 木材の水分吸脱着で誘起されるヒステリシスに対する多糖類の役割, 2022年度日本木材学会中部支部大会, 長野(2022): 平倉演習林.

横山 航大, 吉井 達樹, 沼本 晋也, 松村 直人: スギ人工林におけるGNSS測定の精度分析, 第12回中部森林学会. 三重大学, (2022): 平倉演習林

齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: ヤマザクラコルク組織の吸脱着挙動II, 第32回日本MRS年次大会, N-05-008, 神奈川(2022): 平倉演習林

Takafumi Mizuno and Jun Yamashita: Construction of ionome database on Japanese wild plants with herbarium collection and X-Ray Fluorescens (XRF) analysis, 第38回資源植物科学シンポジウム及び第14回植物ストレス科学研究シンポジウム, 岡山大学(2023): 平倉演習林

高井 香織, 山崎 真理子, 淵上 佑樹: 非住宅建築物における木材使用量調査, 日本材料学会東海支部第17回学術講演会, 福岡(2023):

齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: ヤマザクラコルク組織の吸湿挙動に及ぼす脱多糖類処理の影響, 第73回日本木材学会大会, 福岡(2023): 平倉演習林

小野田 いおり, 淵上 佑樹, 中井 毅尚: 広葉樹家具のGHG排出量の定量評価と国産広葉樹への転換による効果の検証, 第73回日本木材学会大会, 福岡, (2023):

村山 浩久, 菊谷 茂, 平井 花奈, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹: 京都府におけるICTを活用した新たな木材流通の構築 -木材検収アプリの現場導入効果の評価-, 第73回日本木材学会大会, 福岡(2023):

高井 香織, 山崎 真理子, 淵上 佑樹, 中島 拓之, 田中 宏明, 井上 郁人: 建築物・建設活動の持続性指標とSDGsの関係に関する主観調査, 第73回日本木材学会大会, 福岡(2023):

島田 博匡, 沼本 晋也: 倒流木を除去した溪流区間における倒流木の再発生・流下の経年変化, 第134回日本森林学会大会, 鳥取大学(オンライン)(2023): 平倉演習林

小原 歩: ナラ枯れ被害木に播種したブナ科樹木堅果における散布後種子食昆虫, 三重大学生物資源学部卒業論文(2022): 平倉演習林

横山 航大: 森林内におけるGNSS測位の精度分析, 三重大学生物資源学部卒業論文(2023): 平倉演習林

神谷 源: 森林作業現場における夏季暑熱環境の測定, 三重大学生物資源学部卒業論文(2023): 平倉演習林

田中 圭: QGISを使った簡易なシステムによる林内路網の路線配置, 三重大学生物資源学部卒業論文(2023): 平倉演習林

京都大学

フィールド科学教育研究センター

Yokobe Tomohiro, Hyodo Fujio, Tateno Ryunosuke, Tokuchi Naoko: Soil mineral fraction influences the bacterial abundance: evidence from a mineral and plant materials incubation study, *Biogeochemistry*, 161(-): 273-287(2022):-

法理 樹里, 井上 悟, 徳地 直子: どのようなコミュニティ意識が地域の小さな自然再生活動への参加意欲に関係しているのか?, *沿岸域学会誌*, 35(2): 57-62(2022):-

マウン ネイ リン, 徳地 直子, 牧野 奏佳香: 宮崎県における森林渓流水硝酸濃度に影響を及ぼす環境要因の評価, *環境技術*, 51(5): 267-278(2022):-

山口 高志, 渡邊 一史, 村野 健太郎, 徳地 直子, 弓場 彬江: 全国酸性雨調査(117): 大気中アンモニア濃度低下傾向の変化について, *大気環境学会*, (-): -(2022):-

Yokobe Tomohiro, Tokuchi Naoko, Hyodo Fujio, Tateno Ryunosuke, Hiura Tsutomu: Response of microorganisms to a 5-year large-scale nitrogen loading in immature volcanic ash soil in an oak-dominated forest, *Applied Soil Ecology*, 177(-): 104537-104537(2022):-

Yokobe Tomohiro, Hyodo Fujio, Tateno Ryunosuke, Tokuchi, Naoko: Soil mineral fraction influences the bacterial abundance: evidence from a mineral and plant materials incubation study, *Biogeochemistry*, 161(-): 273-287(2022):-

館野 隆之輔: 京都大学北海道研究林標茶区における物質循環研究の紹介, 生物地球化学研究会現地セッション, (-): -(2022):北海道研究林

大上 迪士, 横部 智浩, 松岡 俊将, 館野 隆之輔: 冷温帯の河川源流域における河川水中の粒子付着性微生物と浮遊性微生物の群集構造, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023):芦生研究林

廣部 宗, 清村 康太, 松本 哲也, 横部 智浩, 兵藤 不二夫, 館野 隆之輔: 森林斜面に沿った土壌特性の違いにシカがおよぼす影響, 日本森林学会大会 第134回, (-): -(2023):芦生研究林

中山 理智, 今村 志帆美, 谷口 武士, 館野 隆之輔: 北海道研究林の天然林・人工林における土壌微生物群集, 生物地球化学研究会現地セッション, (-): -(2022):北海道研究林

中山 理智, 館野 隆之輔: 化合物組成の異なる根滲出物が森林土壌の微生物および窒素循環に与える影響, 日本森林学会大会 第134回, (-): -(2023):北海道研究林

井上 祥一郎, 吉岡 崇仁: 身近な水の環境科学 第2版, 日本陸水学会東海支部会, (-): 154(2022):-

吉岡 崇仁: レジリエンスが育まれる「環境」とは: 人間の立ち位置 (第3章), レジリエンス-よみがえる力- : 森・風景・地域・人の交差の中で, (-): 53-78(2023):-

吉岡 崇仁: 距離感による環境意識の変化 (コラム1), レジリエンス-よみがえる力- : 森・風景・地域・人の交差の中で, (-): 79-84(2023):由良川流域, 仁淀川流域

吉岡 崇仁: 環境に関する多様な意見と評価の集約について (コラム2), レジリエンス-よみがえる力- : 森・風景・地域・人の交差の中で, (-): 85-86(2023):-

吉岡 崇仁: 生物地球化学と森里海連環学, 生物地球化学研究会, (-): -(2022):由良川流域, 仁淀川流域

Hasegawa Hisashi, Sujaswara Azwar Azmillah, Kanemoto Taisei, Tsubota Kazuya: Possibilities of Using UAV for Estimating Earthwork Volumes during Process of Repairing a Small-Scale Forest Road, Case Study from Kyoto Prefecture, Japan, *Forests*, 14(4): 1-11(2023):-

長谷川 尚史, Azwar Azmillah Sujaswara, 兼元 大誠 :林内ドローンSfMによる作業道補修工事における土工量の計測, 森林利用学会・第29回学術研究発表会, (-): -(2022):-

Sujaswara Azwar Azmillah, Hasegawa Hisashi: The Utilization of SfM that Combines Images Taken Above and Below the Canopy Using UAV for Deriving Forest Inventory Data, 森林利用学会・第29回学術研究発表会, (-): -(2022):上賀茂試験地

兼元 大誠, 長谷川 尚史, Azwar Azmillah Sujaswara, 池端 健吾: 森林GNSSにおけるマルチパス発生状況と測位精度向上の試み, 森林利用学会・第29回学術研究発表会, (-): -(2022):上賀茂試験地

Kurata Noriko, Ise Takeshi: Thematic and Country-Specific Characteristics of Research on the Great East Japan Earthquake: An Analysis Using Data Science Methods, *Open Journal of Social Sciences*, 10(11): 244-256(2022):-

Onishi Masanori, Watanabe Shuntaro, Nakashima Tadashi, Ise Takeshi: Practicality and Robustness of Tree Species Identification Using UAV RGB Image and Deep Learning in Temperate Forest in Japan, *Remote Sensing*, 14(7): 1710(2022):-

Sato Hisashi, Ise Takeshi: Predicting global terrestrial biomes with the LeNet convolutional neural network, *Geoscientific Model Development*, 15(7): 3121-3132(2022):-

Uchida Atsuhiko, Ise Takeshi, Minoura Yukihisa, Hitokoto Hidefumi, Takemura Kosuke, Uchida Yukiko: Correspondence between feelings towards neighbors and appearance of neighborhood: analysis by combining a mail survey and google street view, *Psychologia*, 64(2): 112-135(2022):-

Kosuke Takaya, Yuki Taguchi, Takeshi Ise: Individual identification of endangered amphibians using deep learning and smartphone images: case study of the Japanese giant salamander (*Andrias japonicus*), *Research Square*, 10.21203/rs.3.rs-2559407/v1:-(2023):-

Kurata Noriko, Takaya Kousuke, Ise Takeshi, Iijima Yoshihiro: Deep learning-based identification of thermokarst in Eastern Siberia and its relationship with local environment and land use, 7th International Symposium on Arctic Research (ISAR-7), (-): -(2023):-

Takaya Kousuke, Kurata Noriko, Ise Takeshi, Iijima Yoshihiro: Deep learning-based satellite image classification using the chopped picture method for thermokarst detection, International Seminar on Permafrost Landscape Change, Mie university, (-): -(2022):-

Takaya Kousuke, Kurata Noriko, Ise Takeshi, Iijima Yoshihiro: Deep learning-based satellite image classification using the chopped picture method for thermokarst detection, 7th International Symposium on Arctic Research (ISAR-7), (-): -(2023):-

Masuda Kazutoshi, Setoguchi Hiroaki, Nagasawa Koki, Ishihara Masae Iwamoto, Sawa Kazuhiro, Horie Kenji, Tsuboi Hayato, Fukumoto Shigeru, Tango Tsuguoki, Sakaguchi Shota: Rear-edge daylily populations show legacies of habitat fragmentation due to the Holocene climate warming, *Journal of Biogeography*,

- 50(-):551-563(2023):芦生研究林
- Nagasawa Koki, Fukumoto Shigeru, etoguchi Hiroaki, Ishihara Masae, Hiratsuka Ken-ichi, Masuda Kazutoshi, Sakaguchi Shota: Genetic purity of a rear-edge population of *Carex podogyne* Franch. et Sav. (Cyperaceae) maintained under interspecific hybridization, *Genes and Genetic Systems*, 97(2):93-99(2022):芦生研究林
- Masuda Kazutoshi, Setoguchi Hiroaki, Fukumoto Shigeru, Ishihara Masae Iwamoto, Sakaguchi Shota: A New Flower Color Variant of *Hemerocallis middendorffii* var. *esculenta* (Asphodelaceae), *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 74(1): 33-37(2023):-
- Toda Motomu, Ishihara Masae Iwamoto, Doi Kazuki, Hara Toshihiko: Determination of species-specific leaf angle distribution and plant area index in a cool-temperate mixed forest from UAV and upward-pointing digital photography, *Agricultural and Forest Meteorology*, 325(-): 109151(2022):-
- 石原 正恵: 100年間、教育研究拠点を続けることから見えてきたこと：芦生研究林の事例，小川試験地35周年記念シンポジウム「長期試験地を維持していく意味 —小川試験地、これまで、これから—」，-(-):-(2023):芦生研究林
- 石原 正恵: みんなで取り組む長期観測・データ公開・データ解析，森林計画学会春季シンポジウム，-(-):-(2023):芦生研究林
- 大塚 裕斗，井上 みずき，山崎 理正，高柳 敦，福島 慶太郎，阪口 翔太，藤木 大介，境 優，高橋 大樹，長澤 耕樹，増田 和俊，石原 正恵: 機械学習LightGBMによるシカ目の撃頻度予測，日本生態学会第70回全国大会，-(-):-(2023):芦生研究林
- 門脇 浩明，本庄 三恵，中村 直人，北川 陽一郎，石原 正恵，松岡 俊将，立木 佑弥，福島 慶太郎，阪口 翔太，井上 みずき，藤木 大介，境 優，高柳 敦，山崎 理正，徳地 直子，高橋 大樹，長澤 耕樹，増田 和俊: シカによる過採食が土壤微生物群集に与える影響：広域シカ柵設置サイトにおける解析例，日本生態学会第70回全国大会，-(-):-(2023):芦生研究林
- Agarie Ayaka, Miyaguni Yasushi, Sugio Koji, Tsuji Kazuki, Kobayashi Kazuya: Male's influence on the primary sex ratio bias in Ryukyu drywood termite, *Frontiers in Ecology and Evolution*, 10(-): 1081043(2023):-
- 赤石 大輔，法理 樹里，徳地 直子: 「京と森の学び舎」実施による近畿の若者世代を中心とした森里海アクションの推進 —若者世代と自然をつなぐ会—，-，31(-): 53-57(2022):-
- 坂野上 なお: 京都大学芦生研究林における木地師遺構の保全について，第134回日本森林学会大会，-(-):-(2023):芦生研究林
- 中西 麻美，稲垣 善之，大澤 直哉，柴田 昌三: 京都府のヒノキ林における雄花生産量と気象条件，日本花粉学会 第63回大会，-(-):-(2022):上賀茂試験地
- 中西 麻美，稲垣 善之，大澤 直哉，柴田 昌三: ヒノキの花粉生産は梅雨期の降水量が多いほど抑制される，応用森林学会大会 第73回，-(-):-(2022):上賀茂試験地
- 稲垣 善之，深田 英久，中西 麻美，渡辺 直史: 標高の異なるヒノキ林において間伐が葉量と幹成長量に及ぼす影響，日本森林学会大会 第134回，-(-):-(2023):-
- Matsuoka Shunsuke, Sugiyama Yoriko, Nagano Mariko, Doi Hideyuki: Influence of DNA extraction kits on freshwater fungal DNA metabarcoding, *PeerJ*, 10(-):e13477(2022):-
- Matsuoka Shunsuke, Hatano Yuki, Osono Takashi: Distribution and functional data of fungal families, *Ecological Research*, 37(5): 670-675(2022):-
- Masumoto Shota, Kitagawa Ryo, Kaneko Ryo, Nishizawa Keita, Matsuoka Shunsuke, Uchida Masaki, Mori Akira S.: Discrepancies of fungi and plants in the pattern of beta-diversity with environmental gradient imply a comprehensive community assembly rule, *FEMS Microbiology Ecology*, 99(2): fiac157(2023):-
- 松岡 俊将: 北海道研究林の自然と管理から見えてきた外生菌根菌の多様性と宿主樹木の関係，2022年度生物地球化学研究会，-(-):-(2022):北海道研究林
- 松岡 俊将: 環境DNA解析を用いて菌類多様性に迫る，第22回新産業酵母研究会講演，-(-):-(2022):-
- 松岡 俊将: 環境DNAから探る菌類多様性，龍谷大学 発酵醸造微生物リソース研究センター シンポジウム 環境微生物学の新展開，-(-):-(2023):-
- 松岡 俊将，大園 享司: 亜熱帯林の林床における菌類群集の空間パターン，日本生態学会第70回全国大会，-(-):-(2023):-
- Masumoto Shota, Kitagawa Ryo, Kaneko Ryo, Nishizawa Keita, Matsuoka Shunsuke, Uchida Masaki, Mori Akira S.: Discrepancies of fungi and plants in the pattern of beta-diversity with environmental gradient imply a comprehensive community assembly rule, *The 13th Symposium on Polar Science*, -(-):-(2022):-
- Naka Minagi, Nishizawa Keita, Masumoto Shota, Kobayashi Yuta, Suzuki Kureha, Kawakami Tomoya, Katayama Noboru, Kobayashi Makoto, Okada Keichi, Tatsumi Shinichi, Matsuoka Shunsuke, Uchida Masaki, Takagi Kentaro, Mori, Akira S.: Recovery of soil fungal community: Monoculture plantation versus natural regeneration, *The 13th Symposium on Polar Science*, -(-):-(2022):-
- Naka Minagi, Nishizawa Keita, Masumoto Shota, Matsuoka Shunsuke, Adaime Marc-Elie, Uchida Masaki, Mori,

- Akira S.: Successional development of soil fungal community on a glacier foreland in the high Arctic, 7th International Symposium on Arctic Research (ISAR-7), (-): -(2023):-
- Osono Takashi, Matsuoka Shunsuke, Hirose Dai: Host specificity of fungi on the bleached leaf litter in a subtropical forest, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023):-
- 飴野 浩基, 秦野 悠貴, 田渕 航平, 西村 彩加, 松岡 俊将, 長谷川 元洋, 大園 享司: 亜熱帯林の落葉漂白に關与するクロサイワイタケ科菌類の群集組成と系統的多様性の評価, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023):-
- 大上 迪士, 横部 智浩, 松岡 俊将, 館野 隆之輔: 冷温帯の河川源流域における河川水中の粒子付着性微生物と浮遊性微生物の群集構造, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023): 芦生研究林
- 門脇 浩明, 本庄 三恵, 中村 直人, 北川 陽一郎, 石原 正恵, 松岡 俊将, 立木 佑弥, 福島 慶太郎, 阪口 翔太, 井上 みずき, 藤木 大介, 境 優, 高柳 敦, 山崎 理正, 徳地 直子, 高橋 大樹, 長澤 耕樹, 増田 和俊: シカによる過採食が土壤微生物群集に与える影響: 広域シカ柵設置サイトにおける解析例, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023): 芦生研究林
- 竹内 理絵, 西澤 啓太, 小林 勇太, 増本 翔太, 鈴木 紅葉, 河上 智也, 小林 真, 片山 昇, 岡田 慶一, 辰巳 晋一, 松岡 俊将, 内田 雅己, 高木 健太郎, 森 章: 天然更新と単一種植栽の違いが土壤分解系に与える影響評価, 第134回 日本森林学会大会, (-): -(2023):-
- 秦野 悠貴, 松岡 俊将, 館野 隆之輔, 長谷川 元洋, 大園 享司: イネ科植物内生菌が生葉と枯死葉の菌類群集に与える影響: 無病微個体と病微個体の比較, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023):-
- Matsuoka Shunsuke, Sugiyama Yoriko, Nagano Mariko, Doi Hideyuki: Influence of DNA extraction kits on freshwater fungal DNA metabarcoding, PeerJ, 10(-): e13477(2022):-
- 杉山 賢子, 松岡 俊将, 館野 隆之輔: カラマツ植林地における外生菌根菌の出現パターン, 日本植物分類学会 第22回大会, (-): -(2023): 北海道研究林 (標茶区)
- Yokobe Tomohiro, Tokuchi Naoko, Hyodo Fujio, Tateno Ryunosuke, Hiura Tsutomu: Response of microorganisms to a 5-year large-scale nitrogen loading in immature volcanic ash soil in an oak-dominated forest, Applied Soil Ecology, 177(-): 104537-104537(2022):-
- Yokobe Tomohiro, Hyodo Fujio, Tateno Ryunosuke, Tokuchi Naoko: Soil mineral fraction influences the bacterial abundance: evidence from a mineral and plant materials incubation study, Biogeochemistry, 161(-): 273-287(2022):-
- Nakamura Ryosuke, Tatsumi Chikae, Kajino Hirofumi, Fujimoto Yutaro, Fujii Rei, Yokobe Tomohiro, Mori Taiki, Okada Naoki: Plant material decomposition and bacterial and fungal communities in serpentine and karst soils of Japanese cool-temperate forests, Soil Science and Plant Nutrition, (-): -(2023):-
- 大上 迪士, 横部 智浩, 松岡 俊将, 館野 隆之輔: 冷温帯の河川源流域における河川水中の粒子付着性微生物と浮遊性微生物の群集構造, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023): 芦生研究林
- 廣部 宗, 清村 康太, 松本 哲也, 横部 智浩, 兵藤 不二夫, 館野 隆之輔: 森林斜面に沿った土壤特性の違いにシカがおよぼす影響, 日本森林学会大会 第134回, (-): -(2023): 芦生研究林
- マウン ネイ リン, 徳地 直子, 牧野 奏佳香: 宮崎県における森林渓流水硝酸濃度に影響を及ぼす環境要因の評価, 環境技術, 51(5): 267-278(2022):-
- 門脇 浩明, 本庄 三恵, 中村 直人, 北川 陽一郎, 石原 正恵, 松岡 俊将, 立木 佑弥, 福島 慶太郎, 阪口 翔太, 井上 みずき, 藤木 大介, 境 優, 高柳 敦, 山崎 理正, 徳地 直子, 高橋 大樹, 長澤 耕樹, 増田 和俊: シカによる過採食が土壤微生物群集に与える影響: 広域シカ柵設置サイトにおける解析例, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023): 芦生研究林
- 木本 恵周: Project LIFEPLAN調査について, 研究林・試験地情報, 2021年度: 25-29(2023): 芦生研究林
- 中村 はる奈: フィールド実習の映像コンテンツ作成について, 研究林・試験地情報, 2021年度: 25-29(2023): 芦生研究林, 北白川試験地
- 林 大輔: 京都大学北海道研究林における野生動物自動撮影について(2015年~2021年), 研究林・試験地情報, 2021年度: 25-29(2023): 北海道研究林
- Hikaru Nakagawa, Keitaro Fukushima, Masaru Sakai, Luhan Wu, Toshifumi Minamoto: Relationships between the eDNA concentration obtained from metabarcoding and stream fish abundance estimated by the removal method under field conditions, Environmental DNA, 4(-): 1369-1380(2022): 芦生研究林
- 植田 睦之, 山浦 悠一, 大澤 剛士, 葉山 政治: 2種類の全国調査にもとづく繁殖期の森林性鳥類の分布と年平均気温, Bird Research, 18(-): A51-A61(2022): 芦生研究林
- Daniel Epron, Takumi Mochidome, Tomoko Tanabe, Masako Dannoura, Ayaka Sakabe: Variability in Stem Methane Emissions and Wood Methane Production of Tree Different Species in a Cold Temperate Mountain Forest, Ecosystems, (-): -(2022): 芦生研究林
- Satoru Tachibana: A new species, *Cricotopus cataractaenostocicola*, living in a cyanobacterial colony on vertical rocky substrates with trickling water film in Japan (Diptera: Chironomidae), Zootaxa, 5178(3):

- 241-255(2022):芦生研究林
- Koki Nagasawa, Shigeru Fukumoto, Hiroaki Setoguchi, Masae Ishihara, Ken-ichi Hiratsuka, Kazutoshi Masuda, Shota Sakaguchi: Genetic purity of a rear-edge population of *Carex podogyne* Franch. et Sav. (Cyperaceae) maintained under interspecific hybridization, *Genes & Genetic Systems*, 97(-): 1-7(2022): 芦生研究林
- 門脇 浩明, 本庄 三恵, 中村 直人, 北川 陽一郎, 石原 正恵, 松岡 俊将, 立木 佑弥, 福島 慶太郎, 阪口 翔太, 井上 みずき, 藤木 大介, 境 優, 高柳 敦, 山崎 理正, 徳地 直子, 高橋 大樹, 長澤 耕樹, 増田 和俊: シカによる過採食が土壤微生物群集に与える影響: 広域シカ柵設置サイトにおける解析例, 日本生態学会・第70回全国大会, (-): -(2023):芦生研究林
- 門脇 浩明: 温帯林の樹木群集における多種共存研究: 植物土壌フィードバック実験から長期生態系観測まで, 種生物学会 和文誌編集委員会企画シンポジウム・多種共存の生態学: 植物の多様な共存機構を探る, (-): -(2022):芦生研究林
- 山崎 理正, 安藤 信: 冷温帯落葉広葉樹林の30年間の動態, 日本生態学会・第70回全国大会, (-): -(2023):芦生研究林
- 惣田 彩可: 京都府におけるミソサザイの繁殖生態, 日本鳥学会・2022年度大会, (-): -(2022):芦生研究林
- 惣田 彩可: ミソサザイの繁殖生態と雄のさえずりレパートリー, 日本動物行動学会・第41回大会, (-): -(2022):芦生研究林
- 惣田 彩可: モテる雄は冬に頑張る!? ミソサザイの雄の非繁殖期のなわばりが繁殖成功に与える影響の解明: パードリサーチ鳥類学・2022年度大会, (-): -(2023):芦生研究林
- Wakana A. Azuma, Natsuki Komada, Yuya Ogawa, Chikae Tatsumi, Akira Nakanishi, Yuiko Noguchi, Hiroaki Ishii, Mamoru Kanzaki: RECOGNIZING CONSERVATION VALUES OF LARGE, OLD TREES IN A TEMPERATE OLD—GROWTH FOREST FROM AN ECOLOGICAL CONTEXT, *International Association for Ecology 2022*, (-): -(2022):芦生研究林
- 井口 敬雄, 小笠原 宏司, 榎本 剛, 吉田 聡: ドローンを用いた地表付近CO₂鉛直濃度分布の観測, 日本気象学会・2022年度秋季大会, (-): -(2022):芦生研究林
- 小川 芳樹, 陳 碩也, 粟野 達也, 吉永 新, 杉山 淳司: 木口面光顕画像のセグメンテーションによる細胞単位の情報取得の自動化, 日本木材学会・第73回大会, (-): -(2023):芦生研究林
- 小山 里奈: 微小透析法を用いた土壌の窒素可給性の評価: 従来手法との比較の試み, 日本生態学会・第70回全国大会, (-): -(2023):芦生研究林
- 惣田 彩可: ミソサザイの繁殖生態および越冬期におけるなわばり形成の研究, 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学系修士論文, (-): -(2023):芦生研究林
- 大塚 裕斗: 機械学習LightGBMによるシカ目の撃頻度予測モデルの構築 日本大学文理学部生命科学科卒業論文, (-): -(2023):芦生研究林
- Tomika Hagiwara: Plant-plant communication via volatile organic compounds in beech, 京都大学農学研究科博士論文, (-): -(2023):芦生研究林
- 平田 有加: 芦生の森を未来につなぐために 「芦生の森 四季図絵巻」 「森の詩—下谷の大カツラー—」, 芦生の森を未来につなぐために, (-): -(2022):芦生研究林
- Sharma Ram Chandra, Hirayama Hidetake, Yasuda Masatsugu, Asai Miki, Hara Keitarou: Classification and Mapping of Plant Communities Using Multi-Temporal and Multi-Spectral Satellite Images, *Journal of Geography and Geology*, 14(1): 43–57(2022):北海道研究林
- 東江 あやか: スギオシロアリの雄に偏った一次性比とその要因の探究, 鹿児島大学(博士論文), (-): -(2023):北海道研究林
- 渡辺 詩子, 小田 義也, 福島 慶太郎, 長澤 耕樹, 太田 光: 微動アレイ探査による北海道道東・根釧台地上に分布する森林の地下分水界の評価, 物理探査学会第146回学術講演会, (-): -(2022):北海道研究林
- 福島 慶太郎, 岩崎 健太, 小田 義也, 境 優, 堅田 元喜, 山口 高志, 久保田 智大, 永野 博彦, 渡辺 誠, 小嵐 淳: 放牧・耕作地由来の窒素が分水嶺を超えて森林渓流水質に与える影響, 生物地球化学研究会現地セッション, (-): -(2022):北海道研究林
- Sandra Steiger, Alexandra Capodeanu-Nägler, Madlen Prang, Anne Eggert, Scott Sakaluk, Mamoru Takata, Curtis Creighton, Stephen Trumbo, Derek Sikes, Seizi Suzuki: Evolutionary change in the benefits of parental care, *International Society for Behavioral Ecology Congress*, (-): -(2022):北海道研究林
- Iwasaki Kenta, Fukushima Keitaro, Nagasawa Yu, Ishiyama Nobuo, Sakai, Masaru, Nagasawa Akiko: Data of thermal video surveys along forested headwater streams in Hokkaido, Japan, figshare, (-): -(2022):北海道研究林
- 福島 慶太郎, 小田 義也, 境 優: 放牧地由来の窒素が地下で分水嶺を超えて森林溪流に湧出する影響, 日本生命財団環境問題研究助成最終報告書, 2020(-): 17(2022):北海道研究林

- 北海道フラワーソン事務局: みんなでつくろう!花マップ 北海道フラワーソン2022レポート, -, -(-):
-(2023):北海道研究林ほか
- Tatsuya Tanaka, Rui Ueda, Takuya Sato: Seasonal ecosystem linkages contribute to the maintenance of migratory polymorphism in a salmonid population, *Proceedings of the Royal Society B*, 290(1995):
-(2023):和歌山研究林
- Masayuki K. Sakata, Daiki Takeshita, Ryohei Nishizawa, Takuya Sato, Toshifumi Minamoto: An efficient environmental DNA detection method for rare species: a case study of a small salamander (*Hynobius boulengeri*), *Analytical Sciences*, 39(5): 721-728(2023):和歌山研究林
- 佐藤 拓哉: 寄生者による行動操作の仕組みから生態系で働く間接効果の時空間変異を理解する, 日本生態学会・第70回全国大会, -(-): -(2023):和歌山研究林
- 野田 祥平, 秋田 鉄也, 武島 弘彦, 佐藤 拓哉: Causes and consequences of life-history variation in wild populations: relating individual fitness to population dynamics and local adaptation using a pedigree analysis, 個体群生態学会・第38回大会, -(-): -(2022):和歌山研究林
- HOO Kyaw Kyaw, ONISHI Masanori, RAHMAN MD Farhadur, ONODA Yusuke: Latitudinal gradient in the growth rates - crown area relationships across multiple forest plots in Japan, 日本生態学会・第70回全国大会, -(-): -(2023):和歌山研究林
- RAHMAN MD Farhadur, ONODA Yusuke: Variation of forest structure across latitudinal gradient using UAV LiDAR, 日本生態学会・第70回全国大会, -(-): -(2023):和歌山研究林
- 西尾 聡悟, 高田 教臣, 竹内 由季恵, 今井 篤, 木村 恵, 池谷 祐幸: 遺伝子流動とコアレセント解析から紐解くニホングリ栽培化の歴史, *園芸学研究*, 22(別1): 73(2023):和歌山研究林
- 上田 るい: アマゴ・サツキマス個体群における生活史変異の創出・維持機構の解明, -, -(-): -(2023):和歌山研究林
- Kimiko Hirayama, Kenta Mizo, Manaka Tatsuno, Mizuki Yoshikawa, Chieri Tachikawa: Annual variability in the sound acorn production of *Quercus serrata* is regulated by a seed-predatory weevil in western Japan, *Ecological Research*, 37(6): 711-721(2022):上賀茂試験地
- Tomoko Katte, Shota Shimoda, Takuya Kobayashi, Ayako Wada-Katsumata, Ritsuo Nishida, Issei Ohshima, Hajime Ono: Oviposition stimulants underlying different preferences between host races in the leaf-mining moth *Acrocercops transecta* (Lepidoptera: Gracillariidae), *Scientific Reports*, 12(-): 14498(2022):上賀茂試験地
- 植田 睦之, 山浦 悠一, 大澤 剛士, 葉山 政治: 2種類の全国調査にもとづく繁殖期の森林性鳥類の分布と年平均気温, *Bird Research*, 18(-): A51-A61(2022):上賀茂試験地など
- Tatsuno Midzuo, Sueyoshi Masahiro, Osawa Naoya: Pollination ecology of the early-spring-blooming dioecious shrub *Eurya japonica* (Pentaphragaceae), *Botany*, 101(5):164-175(2023):上賀茂試験地
- 平山 貴美子, 溝 健太, 池本 拓真, 神津 州佑, 兵藤 不二夫, 宮崎 祐子: コナラ・アラカシにおける種子生産と個体内窒素動態の関係, 第70回日本生態学会大会, -(-): -(2023):上賀茂試験地など
- 西門 未帆, 平山 貴美子: 種子食昆虫の加害パターンがモチノキ属アオハダ・ソヨゴの種子生産に与える影響, 第70回日本生態学会大会, -(-): -(2023):上賀茂試験地
- Hajime Ono, Issei Ohshima: Chemical substances underlying different host utilization between host races in the leaf-mining moth *Acrocercops transecta* (Lepidoptera: Gracillariidae), ISCE-APACE 3rd Joint Meeting, -(-): -(2022):上賀茂試験地
- 水口 裕貴, 小林 拓矢, 大出 高弘, 大島 一正, 小野 肇: クルミホソガにおけるホストレース間でのフェロモン受容体候補遺伝子の比較, 第67回日本応用動物昆虫学会大会, -(-): -(2023):上賀茂試験地
- 島田 正理, 近藤 修平, 北原 博幸, 原田 正彦, 藤原 裕子, 小椋 大輔, 佐藤 嘉則, 藤井 義久: 湿度制御した温風処理による木造建造物加害甲虫類の殺虫(1) — 温湿度制御性能の評価 —, *保存科学*, 62(-): 13-33(2023):北白川試験地
- 藤原 裕子, 原田 正彦, 北原 博幸, 佐藤 嘉則, 島田 潤, 木川 りか, 日高 真吾, 藤井 義久: 湿度制御した温風処理による木造建造物加害甲虫類の殺虫(2) — 殺虫効果の確認と建造物への影響の検討 —, *保存科学*, 62(-): 179-192(2023):北白川試験地
- Matsumoto Aska, Yoshinaga Arata, Awano Tatsuya, Takabe Keiji: Distribution of non-cellulosic polysaccharides and lignin in tension wood fibers with multi-layered structure in *Mallotus japonicus* and *Ficus erecta* Thunb. var. *erecta*, *Book of abstracts, 10th International Plant Biomechanics Conference*, -(-): -(2022):北白川試験地
- 中川 拓海, 吉永 新, 杉山 淳司: モノクローナル抗体によるトチノキ正常材細胞壁木化過程の解析, 第73回日本木材学会大会, -(-): -(2023):北白川試験地
- 平松 宏基, 吉永 新, 栗野 達也, 杉山 淳司: スギおよびヒノキの正常材、圧縮あて材およびオポジット

ト材における細胞壁成分分布, 第73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北白川試験地
 藤井 義久: 電磁波を用いた木材・木質構造体の非破壊検査, 材料WEEK」公開部門委員会, (-): -(2022):
 北白川試験地
 藤井 義久: 木材加工, ウッドサイエンスセミナー –木材の魅力・体力・底力–, (-): -(2022):北白川試
 験地
 住岡 真徳, 築瀬 佳之, 藤原 裕子, 澤田 豊, 藤井 義久: イエシロアリの摂食行動に対する木材表層部
 の硬さの影響, 日本環境動物昆虫学会 第34回年次大会, (-): -(2022):北白川試験地
 下家 美咲, 澤田 豊, 築瀬 佳之, 藤原 裕子, 藤井 義久: 凍結と融解を繰り返した木材の液体浸透性,
 公益社団法人日本木材保存協会 第38回年次大会, (-): -(2022):北白川試験地
 谷口 柚香, 藤原 裕子, 高野 俊幸, 上高 原浩, 杉山 淳司, 築瀬 佳之, 澤田 豊, 今村 祐嗣, 藤井 義
 久: ウルシ材の基本的性質及び生物劣化抵抗性, 公益社団法人日本木材保存協会 第38回年次大会,
 (-): -(2022):北白川試験地
 辻野 翔太, 築瀬 佳之, 藤原 裕子, 澤田 豊, 藤井 義久, 藤本 いずみ: X線CTを用いたアフリカヒラタ
 キクイムシの摂食過程の観察, 公益社団法人日本木材保存協会 第38回年次大会, (-): -(2022):北白
 川試験地
 定田 哲, 藤原 裕子, 築瀬 佳之, 澤田 豊, 藤井 義久: 伝統木橋の床板下面への漏水抑制 ~プレスに
 による圧縮材の接合状態の観察と水分浸潤抑制の可能性の検討~, 公益社団法人日本木材保存協会
 第38回年次大会, (-): -(2022):北白川試験地
 谷口 柚香: ウルシ材の基本的性質及び生物劣化抵抗性, 公益社団法人日本木材保存協会 第38回年次
 大会, (-): -(2022):北白川試験地
 西村 小雪, 福井 杜史之, 築瀬 佳之, 澤田 豊, 藤井 義久: バイオリンのパーフリングが表板の振動特
 性に及ぼす影響 ~溝のある片持ちはりの振動特性~, 第73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北
 白川試験地
 福井 杜史之, 築瀬 佳之, 藤井 義久: 振動特性を利用したスギ生材丸太心材含水率の非破壊推定, 第
 73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北白川試験地
 土本 菜央, 栗野 達也, 陳 碩也, 吉永 新, 杉山 淳司: ポプラ木部繊維の免疫組織化学的プロファイリ
 ング, 第73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北白川試験地
 大山 智子, 栗野 達也, 杉山 淳司: 高圧凍結・凍結置換法を用いたスギ分化中仮道管細胞壁形成過程の
 観察, 第73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北白川試験地
 松岡 柚花, 栗野 達也, 吉永 新, 杉山 淳司: 手漉き和紙のネリに用いられる粘液を生み出す粘液細胞
 の観察, 第73回日本木材学会大会, (-): -(2023):北白川試験地
 小野田 雄介, 三浦 真弘, 岩泉 正和, 山田 浩雄: 樹形の遺伝的変異が成長と個体間競争に及ぼす影
 響: クリを使った密度操作実験, 日本生態学会第70回全国大会, (-): -(2023):北白川試験地
 平松 宏基: スギおよびヒノキの正常材、圧縮あて材、オポジット材における細胞壁成分分布, 令和4年
 度京都大学大学農学部森林科学科課題研究論文発表会, (-): -(2023):北白川試験地
 出崎 功士: 樹洞内外の温度変化の違いとその要因, 令和4年度京都大学大学農学部森林科学科課題研
 究論文発表会, (-): -(2023):北白川試験地
 藤井 義久: 住宅の劣化リスクと耐久性, Housing Tribune, 637(-): 32-33(2022):北白川試験地
 藤井 義久: 虫害対策の新技术開発 湿度制御温風処理法, 月刊文化財, (-): 36-37(2022):北白川試験地
 藤井 義久: 建造物の生物劣化とその診断について, 月刊文化財, (-): 12-17(2022): 北白川試験地

京都府立大学

生命環境学部附属演習林

糟谷 信彦, 清野 薫風, 横尾 謙一郎, 隅田 明洋, 宮藤 久士: 13年生センダンの地上部と地下部への
 重量配分と根系分布特性, 日本森林学会誌, 104(6): 343-349 (2022)
 糟谷 信彦: センダンの地上部・地下部への重量配分, 第73回日本木材学会大会研究発表要旨集,
 Q15-P-07(2023): 演習林苗畑
 園田 大耀: 伐採跡地における早生樹混植試験, 2022年度卒業論文 (2023): 大野演習林, 大枝演習林,
 鷹峯演習林, 梅ヶ畑演習林, 久多演習林, 演習林苗畑
 伊藤 貴文: 過熱水蒸気処理による木材の改質, 木材工業, 77(5): 170-177 (2022): 大野演習林
 岸 和実, 神代 圭輔, 明石 浩和, 足立 亘, 瀧上 佑樹, 古田 裕三: 原木段階における製材品の簡便
 な強度等級予測手法の開発 京都府産原木からラミナを製造する場合における予測手法の有効性
 および原木測定コストの検証, 木材学会誌, 68(3): 124-131 (2022): 大野演習林

- 大塚 友加里, 堀山 彰亮, 伊藤 貴文, 神代 圭輔, 古田 裕三: アゼライン酸処理における加熱温度が木材の寸法安定性に及ぼす影響, 材料, 71(7): 597-602 (2022): 大野演習林
- 田中 徹, 伊藤 貴文, 三好 由華, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三: NH₄Cl 注入木材の熱分解特性, 材料, 71(8): 699-704 (2022): 大野演習林
- Hiroaki Horiyama, Keisuke Kojiro, Yoko Okahisa, Tomoya Imai, Takafumi Itoh, Yuzo Furuta: Combined analysis of microstructures within an annual ring of Douglas fir (*Pseudotsuga menziesii*) by dynamic mechanical analysis and small angle X-ray scattering, *Journal of Wood Science*, 68(1): (2022): 大野演習林
- 伊藤 貴文: 環境に配慮したエコフレンドリーな化学加工技術, 生物資源, 16(3): 12-28 (2022): 大野演習林
- 柳川 靖夫: 処理木材の接着, 木材工業, 78(2): 44-51 (2023): 大野演習林
- Yuka Miyoshi, Yuzo Furuta: Effect of the interaction between wood constituents and swelling liquid on the creep properties of wood during drying, *Holzforschung*, 77(4): 248-259 (2023): 大野演習林
- 上原 一輝, 倉田 洋平, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 三好 由華: 湿度変化速度が木材の動的粘弾性に及ぼす影響, 第 8 回材料 WEEK 若手学生研究発表会プログラム, 2C-91 (2022): 大野演習林
- 楠本 紅音, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三: 木化過程における竹の力学的性質の変化, 第 8 回材料 WEEK 若手学生研究発表会プログラム, 2D-104 (2022): 鷹峯演習林
- 楠本 紅音: 木化過程にあるモウソウチク (*Phyllostachys pubescens*) の力学的性質の変化, 第 17 回若手シンポジウム講演概要集, 1-G (2022): 鷹峯演習林
- 塩見 綾里: 木材細胞の横圧縮変形, 第 17 回若手シンポジウム講演概要集, 2-B (2022): 大野演習林
- 岡久 陽子, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 今井 友也: 成熟度の異なる飽水竹材の熱軟化温度付近におけるナノ構造観察, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, B15-P-22 (2023): 大野演習林
- 田中 聡一, 今井 友也, 神代 圭輔: その場 SAXS 測定による 曲げ応力負荷時における木材細胞壁構造変化の追跡, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, C15-P-01 (2023): 大野演習林
- 松原 斎樹, 池田 維, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 森下 正修, 玉井 嘉: 幼少期の居住地が木材の好み・木製品の利用意向に及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, G15-P-03 (2023): 大野演習林
- 池田 維, 松原 斎樹, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 森下 正修, 古村 恵里: 樹木精油の嗜好性・快適性に及ぼすにおい認知の正確さの影響, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, G15-P-04 (2023): 大野演習林
- 楠本 紅音, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 関 雅子, 三木 恒久, パントン パチヤ, 八尾 滋: リサイクルプラスチック原料の物理再生プロセスが混練型 WPRC の力学的性質に及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, I15-P-04 (2023): 大野演習林
- 村山 浩久, 菊谷 茂, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹: ICT を活用した新たな木材流通 (京都モデル) の構築を目指した基礎的研究—木材検収アプリ及び強度推定アプリの導入効果の検討, 公益社団法人日本木材加工技術協会第 40 回記念年次大会, P402 (2022): 大野演習林
- 村山 浩久, 菊谷 茂, 平井 花奈, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹: 京都府における ICT を活用した新たな木材流通の構築—木材検収アプリの現場導入効果評価—, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, Q15-P-02 (2023): 大野演習林
- 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 岡久 陽子, 今井 友也: 異なる膨潤状態の木材における微細構造変化—小角 X 線散乱からの考察—, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, C14-04-1000 (2023): 鷹峯演習林
- 上原 一輝, 倉田 洋平, 神代 圭輔, 古田 裕三, 三好 由華: 湿度変化幅が木材の動的粘弾性に及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大会プログラム集, C14-04-1030 (2023): 大野演習林
- 楠本 紅音, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三: 発筈後 1 ヶ月のモウソウチク (*Phyllostachys pubescens*) における竹稈および節間内での部位と木化の関係, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, C14-04-1115 (2023): 鷹峯演習林
- 三好 由華, 古田 裕三: 木材構成成分と膨潤液体の相互作用が液体脱着過程の木材の動的粘弾性に及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大会プログラム集, C14-04-1600(2023): 大野演習林
- 松原 斎樹, 池田 維, 堀山 彰亮, 古田 裕三, 神代 圭輔, 森下 正修, 玉井 嘉: 木製品の利用意向に及ぼす意識・価値観, パーソナリティの影響, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, G16-13-0945 (2023): 大野演習林

- 池田 維, 松原 斎樹, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 森下 正修, 玉井 嘉: 個人特性が木材の好み・木製品の利用意向に及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大研究発表要旨, G16-13-1015 (2023): 大野演習林
- 中尾 亮太: スギ心材の高含水率化に関する研究, 2022 年度修士論文 (2023): 大野演習林, 大枝演習林
- 楠本 紅音: 発芽後 1 ヶ月のモウソウチク (*Phyllostachys pubescens*) における竹稈および節間内での部位と木化の関係, 2022 年度卒業論文 (2023): 鷹峯演習林
- 塩見 綾里: 木材の横圧縮変形における細胞形態と細胞の座屈の関係, 2022 年度卒業論文 (2023): 大野演習林
- 高萩 匠: 5-ヒドロキシメチルフURALール(5-HMF)を用いた木材の横圧縮変形の固定について, 2022 年度卒業論文 (2023): 大野演習林
- 平井 花奈: 京都府産木材の自給率向上に向けた実態調査, 2022 年度卒業論文 (2023): 大野演習林
- 島田 康平, 勝山 正則, 堀田 紀文: 森林流域における 50 年間の土砂流出量変動と近年の増加要因の推定, 第 134 回森林学会大会学術講演集, P-347 (2023): 京都大学桐生水文試験地
- 田中 未涼, 勝山 正則: 溶出実験による風化花崗岩山地の地下水・渓流水のシリカ濃度形成機構の検討, 第 134 回森林学会大会学術講演集, P-338 (2023): 京都大学桐生水文試験地
- 峰重 乃々佳, 勝山 正則: 熱赤外画像により特定された河道沿いの湧水分布と渓流水質変動の関係性, 第 134 回森林学会大会学術講演集, P-334 (2023): 京都大学桐生水文試験地
- 芳賀 弘和, 勝山 正則, 小杉 賢一郎: 流域の貯留量指標として源頭部の地表流発生域を用いたピーク流量の解析, 第 134 回森林学会大会学術講演集, J10 (2023): 鳥取大学蒜山演習林
- 向井 花乃・高岸 且・近藤 凌平・長島 啓子: 航空レーザデータに基づく立地環境区分による地位指数推定, 第 134 回日本森林学会大会講演集, D4 (2023): 大枝演習林
- 上岡 洸太・中田 康隆・長島 啓子: 固定試験地におけるスギの成長量と微地形との関係, 第 134 回日本森林学会大会, P-077 (2023): 大野演習林
- 向井 花乃: 航空レーザデータを用いた立地環境に基づく地位指数推定, 2023 年度修士論文: 大枝演習林
- 上岡 洸太: 大野演習林長期施業試験地に基づく樹高成長と立地環境の関係および最適メッシュサイズの検討, 2022 年度卒業論文 (2022): 大野演習林
- Kimiko Hirayama, Kenta Mizo, Manaka Tatsuno, Mizuki Yoshikawa, Chieri Tachikawa: Annual variability in the sound acorn production of *Quercus serrata* is regulated by a seed-predatory weevil in western Japan, *Ecological Research*, 37(6) 711-721 (2022): 京都大学上賀茂試験地
- Kimiko Hirayama, Asuka Masuda, Satoshi Kurokawa, Ayaka Terada, Mizuki Sasaki, Ayami Kuge: How do specialist and generalist seed predators affect the highly variable and synchronized seed dispersal of *Photinia glabra* (Rosaceae), a fleshy-fruited tree?, *Plant Ecology*, 224 189-201 (2023)
- 上尾 紗矢: 展葉完了間もなくの失葉の繰り返しはブナの木部キャビテーション脆弱性を上昇させる, 2023 年度卒業論文: 演習林苗畑
- 井上 太陽: 3 年間繰り返し展葉完了直後の摘葉がブナ苗木の水分生理に及ぼす影響, 2023 年度卒業論文: 演習林苗畑
- 都築 笙子: 展葉完了直後の摘葉の繰り返しはブナの水分通道組織と水分生理に及ぼす影響, 2023 年度卒業論文: 演習林苗畑

鳥取大学

農学部附属フィールドサイエンスセンター

- Takaaki Fujimoto: Evaluation of the age dependent variation of wood properties based on the eigenvalue distribution of near infrared spectral matrices, *Chemometrics and Intelligent Laboratory Systems*, 255(15): 104576 (2022): 蒜山の森
- Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Kazuaki Matsui, Shigeru Niwa, Masae Ishihara, Tanaka Kenta, Tetsuro Yoshikawa, Taku Kadoya, Tsutomu Hiura, Hiroyuki Muraoka, Ken Ishida, Naoki Agetsuma, Ryosuke Nakamura, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Akira S. Mori, Megumi K. Kimura, Hiroko Kurokawa, Tsutomu Enoki, Tatsuyuki Seino, Atsushi Takashima, Hajime Kobayashi, Kazuho Matsumoto, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Tomohiro Yoshida, Tatsuro Nakaji, Masayuki Maki, Kazutaka Kobayashi, Karibu Fukuzawa, Kazuhiko Hoshizaki, Kazuhide Ohta, Keito Kobayashi, Motohiro Hasegawa, Satoshi N. Suzuki, Michinori Sakimoto, Yoichiro Kitagawa, Akiko Sakai, Hirofumi Kondo, Tomoaki Ichie, Koji Kageyama, Ayaka Hieno, Shogo Kato, Tatsuya Otani, Yasuhiro Utsumi, Tomonori Kume, Kosuke Homma, Koju Kishimoto, Kazuhiko Masaka, Kenta Watanabe, Motomu Toda, Dai Nagamatsu, Yuko Miyazaki, Tamon Yamashita, Naoko Tokuchi: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile

using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, Ecological Research 37(3), 432-445 (2022): 蒜山の森

Takaaki Fujimoto: Detecting the changes of wood properties with respect to elapsed years since wood formation by the eigenvalue distribution of near infrared spectral matrices, Journal of Wood Science, 69(3), (2023): 蒜山の森

坂本 千苗, 山中 啓介: 2020年12月に鳥取大学教育研究林「蒜山の森」で発生したアカマツ天然林におけるアカマツの冠雪害, 第73回応用森林学会大会 研究発表要旨集, 14 (2022): 蒜山の森

芳賀 弘和, 勝山 正則, 小杉 賢一郎: 流域の貯留量指標として源頭部の地表流発生域を用いたピーク流量の解析, 第134回日本森林学会大会学術講演集, 114 (2023): 蒜山の森

南方 悠生: コナラ林の更新にナラ枯れとササ繁茂が与える影響, 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻 修士論文, (2023): 蒜山の森

安樂 健太: 水文変動とアマゴの産卵行動の関係, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文, (2023): 蒜山の森

井上 睦月: 0次谷での地表流発生域の縦横断変動—土層厚と水文要因に基づく解析—, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文, (2023): 蒜山の森

大西 亮史: カエデ属樹木2種の樹液流出特性の樹種間比較および樹体強制加熱による樹液の応答, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文, (2023): 蒜山の森

杉浦 悠大: スギ人工林に対する荒廃の判断要素, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文, (2023): 蒜山の森

三河 悠樹: 小渓流における広葉樹林の倒流木供給の実態, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文, (2023): 蒜山の森

島根大学

生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Kazuaki Matsui, Shigeru Niwa, Masae Ishihara, Tanaka Kenta, Tetsuro Yoshikawa, Taku Kadoya, Tsutomu Hiura, Hiroyuki Muraoka, Ken Ishida, Naoki Agetsuma, Ryosuke Nakamura, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Akira S. Mori, Megumi K. Kimura, Hiroko Kurokawa, Tsutomu Enoki, Tatsuyuki Seino, Atsushi Takashima, Hajime Kobayashi, Kazuho Matsumoto, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Tomohiro Yoshida, Tatsuro Nakaji, Masayuki Maki, Kazutaka Kobayashi, Karibu Fukuzawa, Kazuhiko Hoshizaki, Kazuhide Ohta, Keito Kobayashi, Motohiro Hasegawa, Satoshi N. Suzuki, Michinori Sakimoto, Yoichiro Kitagawa, Akiko Sakai, Hirofumi Kondo, Tomoaki Ichie, Koji Kageyama, Ayaka Hieno, Shogo Kato, Tatsuya Otani, Yasuhiro Utsumi, Tomonori Kume, Kosuke Homma, Koju Kishimoto, Kazuhiko Masaka, Kenta Watanabe, Motomu Toda, Dai Nagamatsu, Yuko Miyazaki, Tamon Yamashita, Naoko Tokuchi: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, Ecological Research, 37: 432-445 (2022): 三瓶演習林, 匹見演習林, 松江試験地.

松崎 陽平, 近藤 陽介, 岸 泰之, 江角 淳, 吉村 哲彦: スギ人工林における低コスト2周波GNSS受信機によるRTK測位の精度評価, 森林利用学会誌, 37(4) : 183-192 (2022): 三瓶演習林

上芝 姫花: 三瓶演習林における植生と土壌団粒構造が小型節足動物層に及ぼす影響, 島根大学大学院自然科学研究科修士論文: 三瓶演習林

横田 義文: 山陰地方における降水形態の時空間変動が融雪出水特性に及ぼす影響, 島根大学大学院自然科学研究科修士論文, (2023): 三瓶演習林

入江 菜紗: 落葉広葉樹の葉における落葉に先立つ重金属類の再吸収, 島根大学生物資源科学部卒業論文, (2023): 三瓶演習林

尾道 椎菜: 島根大学三瓶演習林スギ植栽地でのノウサギの被害とその防除, 島根大学生物資源科学部卒業論文, (2023): 三瓶演習林

福田 真夕: 三瓶演習林のスギ人工林における間伐が冬期の窒素循環へ及ぼす影響, 島根大学生物資源科学部卒業論文, (2023): 三瓶演習林

山岡 晃輔: UAVレーザーを用いた落葉広葉樹林の葉面積密度の計測と精度検証, 島根大学生物資源科学部卒業論文, (2023): 三瓶演習林

愛媛大学

農学部附属演習林

杉元 宏行: 内部構造変化がもたらす木材の光透過性の向上, 日本接着学会誌, 58(9) : 306-312, 2022 : 愛媛大学農学部附属演習林

- 西原 裕記, 杉元 宏行, 杉森 正敏 : 抽出処理による木材の可視分光特性の変化, 第73回日本木材学会大会, 福岡, 2023年3月14-16日 : 愛媛大学農学部附属演習林
- Elfa Norisda Aulianisa, Ulfah Juniarti Siregar, Iskandar Z Siregar, Hamzah Hamzah , Misato Ogasahara, Koichi Kamiya : Morphological and Molecular Evidence of Natural Interspecific Hybridization between *Dyera polyphylla* and *D. costulata* in Sumatra and Kalimantan, 第32回日本熱帯生態学会大会, 名古屋, 2022年6月18-19日 : インドネシア
- Prapawadee NUTIPRAPUN, Akira ITOH, Satoshi NANAMI, Seiya OKUNO, Shuhei MATSUYAMA, Koichi KAMIYA, Sylvester TAN, Mohizah MOHAMAD : Conspecific negative density dependence in Bornean rainforest seedlings, 第32回日本熱帯生態学会大会, 名古屋, 2022年6月18-19日 : マレーシア
- Seiya Okuno, Tingting Yin, Satoshi Nanami, Shuhei Matsuyama, Koichi Kamiya, Sylvester Tan, Stuart J. Davies, Mohizah Mohamad, Takuo Yamakura, & Akira Itoh : Community phylogeny and spatial scale affect phylogenetic diversity metrics in a species-rich rainforest in Borneo. *Ecology and Evolution*, 12: e9536, 2022 : マレーシア
- 奥野 聖也, YIN Tingting, 名波 哲, 松山 周平, 上谷 浩一, Sylvester TAN, Mohizah Bt. MOHAMAD, 山倉 拓夫, 伊東 明 : ボルネオ熱帯雨林樹木におけるニッチ分割とその進化的プロセス, 第70回日本生態学会大会, 仙台, 2023年3月17-21日 : マレーシア
- Nur Mufarhatun, Arida Susilowati, Iwan Hilwan, Nawwall Arrofaha, Kusumadewi Sri Yulita, Fifi Gus Dwiyaniti, Asep Hidayat, Koichi Kamiya, Henti Hendalastuti Rachmat : Leaf morphological traits of nine major tropical trees of *Shorea* species (Dipterocarpaceae). , *Biodiversitas* 24: 1704-1712, 2023 : インドネシア
- 橘 優来 : 無結実が続く太平洋型ブナの局所的空間遺伝構造, 愛媛大学農学部卒業論文, 2023 : 附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド
- 片山 晴貴 : 航空レーザ測量データを用いた愛媛大学農学部附属演習林の2006年と2018年の森林蓄積量・炭素蓄積量推定, 愛媛大学卒業論文, 26pp., 2023 : 愛媛大学農学部附属演習林
- 都築 勇人 : 航空機LiDARによる森林環境評価技術, 車載テクノロジー, 10(6): 42-45, 2023 : 愛媛大学農学部附属演習林など

高知大学

農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド

- Suzuki, Y. Hashimoto, S. Aoki, H. Katayama, I. Yoshimura, T.: Verification of Structural Strength of Spur Roads Constructed Using a Locally Developed Method for Mountainous Areas: A Case Study in Kochi University Forest, Japan, *Forests*, 14(2): 380, (2023) : 嶺北フィールド
- Suzuki, Y., Yoshimura, T., Hayata, Y., Urabe, M. and Imayasu, K.: Profitability and management system of abandoned broad-leaved forests: A case study in Kochi University Forest. In: Symposium Program and Abstract of Presentations, IUFRO 3.08.00 Small-scale Forestry Conference 2022 with the cooperation of 9.06.00 Forest Law and Environmental Legislation, Progress in Small-scale Forestry beyond the Pandemic and Global Climate Change, Okinawa, Japan, October 26-31, 2022. 71pp.:29. (2022): 嶺北フィールド
- Shinichi Tebayashi, Shintaro Onishi, Kouhei Seo, Megumi Hiroshima, Masashi Sato & Ken Izumori Identification of allitol and d-allulose from *Itea virginica* as insect growth inhibitors for the control of Mediterranean flour moth, *Ephestia kuehniella* (Lepidoptera: *Pyrallidae*). *Applied Entomology and Zoology*, 56(3), pp. 357-364 (2021): 嶺北フィールド
- Tomonori Date, Kanamu Shigeno, Megumi Hiroshima, Kohei Seo, Masashi Sato, Shinichi Tebayashi, Shushi Sato: Verbascoside from *Verbena incompta* is a plant root growth inhibitor. *Bioscience, Biotechnology and Biochemistry*, 85(7), pp. 1602-1608 (2021): 嶺北フィールド
- 白濱 朱莉 : 高知大学嶺北フィールドのモザイク状植生が鳥類種数に及ぼす影響, 高知大学卒業論文 (2023): 嶺北フィールド
- 谷口 秀平 : 嶺北フィールドにおける UAV を活用したヤマザクラ衰退原因の特定, 高知大学卒業論文 (2023): 嶺北フィールド
- 内田 爽太 : 高知大学演習林での4種類の誘引餌による野生鳥獣への誘引効果の比較, 高知大学卒業論文 (2023) : 嶺北フィールド
- 橋本 直之 : ドローン SfM を用いた森林資源量調査技術の精度評価(共同研究) (2022): 嶺北フィールド
- 守口 海 : 高知県の高標高皆伐地におけるウバメガシの活着・長期造林試験 (2022) : 嶺北フィールド

九州大学

農学部附属演習林

- K. Matsumoto, K. Terasawa, S. Taniguchi, M. Ohashi, A. Katayama, T. Kume, A. Takashima: Spatial and seasonal variations in soil respiration in a subtropical forest in Okinawa, Japan, *ECOLOGICAL*

- RESEARCH, 38(3): 479-490 (2023年2月): 沖縄県
- W. Ding, U. Tsunogai, F. Nakagawa, T. Sambuichi, M. Chiwa, T. Kasahara, K. Shinozuka: Stable isotopic evidence for the excess leaching of unprocessed atmospheric nitrate from forested catchments under high nitrogen saturation, *BIOGEOSCIENCES*, 20(3): 753-766(2023年2月): 福岡演習林, 宮崎演習林
- J. O. Adutwum, H. Sakagami, S. Koga, J. Matsumura: Space-time analysis of the longitudinal variation in wood specific gravity of teak and its effect on tree growth and development, *BioResources*, 18(2): 2670-2692(2023年2月): ガーナ共和国
- J. O. Adutwum, H. Sakagami, S. Koga, J. Matsumura.: An application of mixed-effects model to evaluate the role of age and size on radial variation in wood specific gravity in teak (*Tectona grandis*), *Journal of Wood Science*, 69(9): (2023年2月): ガーナ共和国
- N. Takashina, B. Kusumoto.: A perspective on biodiversity data and applications for spatio-temporally robust spatial planning for area-based conservation, *Discover Sustainability*, 4(1): (2023年1月)
- J. Lyu, G. Li, K. Otsuki, N. Yamanaka, Y. Wang, M. Yue, S. Du: Different transpiration and growth patterns of the black locust plantation and natural oak forest on China's Loess Plateau, *Ecohydrology*, 16(4): e2523 (2023年1月): 中国
- Q-W. Chen, M-J. Liu, J. Lyu, G. Li, K. Otsuki, N. Yamanaka, S. Du: Characterization of dominant factors on evapotranspiration with seasonal soil water changes in two adjacent forests in the semiarid Loess Plateau, *Journal of Hydrology*, 613(B): 128427 (2022年9月): 中国
- I. Mizuki, Y. Sango, K. Ishida, Y. T. Hanba, M. Chiwa, Y. Uehara, A. Kume: Effects of sex and soil water chemistry on leaf morphology and physiology of *Myrica gale* var. *tomentosa*, *PLOS ONE*, 17(9): (2022年9月): 日本
- H. Abe, A. Katayama, S. Taniguchi, A. Takashima, T. Kume, K. Matsumoto: Effects of differences in aboveground dead organic matter types on the stand-scale necromass and CO₂ efflux estimates in a subtropical forest in Okinawa Island, Japan, *ECOLOGICAL RESEARCH*, 37(5): 609-622(2022年9月): 沖縄県
- K. Uemori, T. Mita, T. Hishi: Differences in functional trait responses to elevation among feeding guilds of Aculeata community, *Ecology and Evolution*, 12(8): e9171(2022年8月): 北海道演習林
- C-Y. Lin, T. Miki, T. Kume.: Potential Factors Canceling Interannual Cycles of Shoot Production in a Moso Bamboo (*Phyllostachys pubescens*) Stand, *FRONTIERS IN FORESTS AND GLOBAL CHANGE*, 5: 913426(2022年7月)
- J. M. Kass, N. Takashina, N. R. Friedman, B. Kusumoto, M. E. Blair: Idea paper: Improving forecasts of community composition with lightweight biodiversity monitoring across ecological and anthropogenic disturbance gradients, *ECOLOGICAL RESEARCH*, 37(4): 466-470(2022年7月)
- S. Nagai, K. Yazaki, Y. Utsumi: Heartwood formation progresses basipetally over years or decades in each conically shaped annual growth layer of *Cryptomeria japonica* stem, *TREES - STRUCTURE AND FUNCTION*, 36: 1853-1863(2022年7月): 兵庫県
- M. Orrego, S. Ugawa, A. Inoue, S. Laplace, T. Kume, S. Koga, T. Hishi, T. Enoki: Climate, Soil, and Plant Controls on Early-Stage Litter Decomposition in Moso Bamboo Stands at a Regional Scale, *FRONTIERS IN FORESTS AND GLOBAL CHANGE*, 5: 921028(2022年7月): 九州, 台湾
- T. Hishi, E. Kawakami, A. Katayama: Changes in the abundance and species diversity of Collembola community along with dwarf bamboo density gradient in a mountainous temperate forest of Japan, *Applied Soil Ecology*, 180: 104606(2022年7月): 宮崎演習林
- M. Kobayashi, P. H. Templer, A. Katayama, O. Seki, K. Takagi: Early snowmelt by an extreme warming event affects understory more than overstory trees in Japanese temperate forests, *ECOSPHERE*, 13(7): e4182(2022年7月): 北海道
- H. Shimoji, M. Suwabe, T. Kikuchi, H. Ohnishi, H. Tanaka, K. Kawara, Y. Hidaka, T. Enoki, K. Tsuji: Resilience of native ant community against invasion of exotic ants after anthropogenic disturbances of forest habitats, *Ecology and Evolution*, 12(7): e9073(2022年7月): 沖縄県
- K. Hiiragi, N. Matsuo, S. Sakai, K. Kawahara, T. Ichie, K. Tanaka, D. Chung, T. Kume, M. Nakagawa.: Water uptake patterns of tropical canopy trees in Borneo: species-specific and temporal variation and relationships with aboveground traits, *Tree Physiology*, 42(10): 1928-1942(2022年6月): マレーシア
- Y. Shinohara, T. Kume: Changes in the factors contributing to the reduction of landslide fatalities between 1945 and 2019 in Japan, *Science of Total Environment*, 827: 154392(2022年6月): 日本
- AD. del Campo, K. Otsuki, Y. Serengil, J. A. Blanco, R. Yousefpour, X. Wei: A global synthesis on the effects of thinning on hydrological processes: Implications for forest management, *Forest Ecology and Management*, 519: 120324(2022年6月): 全球
- T. Kasahara, Y. Li, A. Tanaka.: Effects of dams and reservoirs on organic matter decomposition in the hyporheic

- zone in forest mountain streams, *HYDROBIOLOGIA*, 849: 2949-2965(2022年6月): 福岡市
- M. Nakamura, C. Terada, K. Ito, K. Matsui, S. Niwa, M. Ishihara, K. Tanaka, T. Yoshikawa, T. Kadoya, T. Hiura, H. Muraoka, K. Ishida, N. Agetsuma, R. Nakamura, H. Sakio, M. Takagi, A. S. Mori, M. K. Kimura, H. Kurokawa, T. Enoki, T. Seino, A. Takashima, H. Kobayashi, K. Matsumoto, K. Takahashi, R. Tateno, T. Yoshida, T. Nakaji, M. Maki, K. Kobayashi, K. Fukuzawa, K. Hoshizaki, K. Ohta, K. Kobayashi, M. Hasegawa, S. N. Suzuki, M. Sakimoto, Y. Kitagawa, A. Sakai, H. Kondo, T. Ichie, K. Kageyama, A. Hieno, S. Kato, T. Otani, Y. Utsumi, T. Kume, K. Homma, K. Kishimoto, K. Masaka, K. Watanabe, M. Toda, D. Nagamatsu, Y. Miyazaki, T. Yamashita, N. Tokuchi: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *ECOLOGICAL RESEARCH*, 37(3): 432-445(2022年5月): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- C. Tatsumi, T. Taniguchi, S. Du, Q. Chen, N. Yamanaka, K. Otsuki, R. Tateno: Differences in the short-term responses of soil nitrogen and microbial dynamics to soil moisture variation in two adjacent dryland forests, *European Journal of Soil Biology*, 110: 103394(2022年5月): 中国
- S. Jeong, T. Kume, Y. Shinohara, M. Farahnak, K. Otsuki: Application of the Reformulated Gash Analytical Model for Rainfall Interception Loss to Unmanaged High-Density Coniferous Plantations Laden with Dead Branches, *Forests*, 13(5): 657(2022年4月): 福岡演習林
- E. M. Uchida, A. Katayama, Y. Yasuda, T. Enoki, K. Otsuki, S. Koga, Y. Utsumi: Age-related changes in culm respiration of *Phyllostachys pubescens* culms with their anatomical and morphological traits, *FRONTIERS IN FORESTS AND GLOBAL CHANGE*, 5: 868732(2022年4月): 福岡演習林
- Y. Shinohara, S. Iida, T. Oda, A. Katayama, K. Tsuruta, T. Sato, N. Tanaka, M. Su, S. Laplace, Y. Kijidani, T. Kume.: Are calibrations of sap flow measurements based on thermal dissipation needed for each sample in Japanese cedar and cypress trees?, *TREES - STRUCTURE AND FUNCTION*, 36: 1219-1229(2022年4月): 福岡演習林ほか
- D. M. Costello, S. D. Tiegs, L. Boyero, C. Canhoto, K. A. Capps, M. Danger, P. C. Frost, M. O. Gessner, N. A. Griffiths, H. M. Halvorson, K. A. Kuehn, A. M. Marcarelli, T. V. Royer, D. M. Mathie, R. J. Albariño, C. P. Arango, J. Aroviita, C. V. Baxter, B. J. Bellinger, A. Bruder, F. J. Burdon, M. Callisto, A. Camacho, F. Colas, J. Cornut, V. Crespo-Pérez, W. F. Cross, A. M. Derry, M. M. Douglas, A. Elosegí, E. de Eyto, V. Ferreira, C. Ferriol, T. Fleituch, J. J. Follstad Shah, A. Frainer, E. A. Garcia, L. García, P. E. García, D. P. Giling, R. K. Gonzales-Pomar, M. A. S. Graça, H.-P. Grossart, F. Guérol, L. U. Hepp, S. N. Higgins, T. Hishi, C. Iñiguez-Armijos, T. Iwata, A. E. Kirkwood, A. A. Koning, S. Kosten, H. Laudon, P. R. Leavitt, A. L. Lemes da Silva, S. J. Leroux, C. J. LeRoy, P. J. Lisi, F. O. Mase, P. B. McIntyre, B. G. McKie, A. O. Medeiros, M. Miliša, Y. Miyake, R. J. Mooney, T. Muotka, J. Nimptsch, R. Paavola, I. Pardo, I. Y. Parnikoza, C. J. Patrick, E. T. H. M. Peeters, J. Pozo, B. Reid, J. S. Richardson, J. Rincón, G. Risnoveanu, C. T. Robinson, A. C. Santamans, G. M. Simiyu, A. Skuja, J. Smykla, R. A. Sponseller, F. Teixeira-de Mello, S. Vilbaste, V. D. Villanueva, J. R. Webster, S. Woelfl, M. A. Xenopoulos, A. G. Yates, C. M. Yule, Y. Zhang, J. A. Zwart: Global Patterns and Controls of Nutrient Immobilization on Decomposing Cellulose in Riverine Ecosystems, *Global Biogeochemical Cycles*, 36(3): e2021GB007163(2022年4月): 全球
- L. Ozdemir, T. Kume, A. Katayama, H. Abe, O. Morales: Soil respiration and its components in response to abiotic factors in *Phyllostachys* Bamboo forests., *American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting 2022*, 2022年12月12-16日, アメリカ合衆国, オンライン: 福岡演習林
- 付 東川, 智和 正明: モウソウチク林とスギ林からの硝酸イオンの流出量の比較: 窒素保持における植生の役割, *Japan Geoscience Union Meeting 2022*, 2022年5月22-27日, 日本: 福岡演習林
- W. Ding, U. Tsunogai, F. Nakagawa, K. Shinozuka, T. Kasahara, M. Chiwa: Stable isotopic evidence for the excess leaching of unprocessed atmospheric nitrate from a forested catchment in Fukuoka, Japan, *Japan Geoscience Union Meeting 2022*, 2022年5月22-27日, 日本: 福岡演習林, 宮崎演習林
- 村松 優子, 楠本 聞太郎: 空港に近接する福岡演習林におけるドローン飛行の高さ制限の可視化, *九州大学農学部演習林報告*, 104: 1-6(2023年3月): 福岡演習林
- 上森 教慈, 三田 敏治, 菱 拓雄: 鹿児島大学農学部附属高隈演習林及び大隅国有林においてイエローパントラップを用いて採集された有剣ハチ類, *九州大学農学部演習林報告*, 104: 7-12(2023年3月): 鹿児島県
- 緒方 健人, 田代 直明, 井上 幸子, 藤山 美薫, 山内 康平, 鍛冶 清弘, 扇 大輔, 村田 秀介, 村松 優子, 壁村 勇二, 南木 大祐, 中村 琢磨, 山内 耕司朗, 久保田 勝義, 佐々木 寛和, 長 慶一郎, 榎木 勉, 古賀 信也, 菱 拓雄, 智和 正明, 笠原 玉青, 久米 朋宣, 市橋 隆自, 片山 歩美, 内海 泰弘: 九州大学農学部附属3演習林のシカライトセンサスデータ (2017-2022), *九州大学農学部演習林報告*, 104: 13-16 (2023年3月): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 智和 正明, 扇 大輔, 壁村 勇二, 緒方 健人, 山内 康平, 井上 幸子, 中村 琢磨, 大崎 繫, 久保田 勝義: 九州大学農学部附属3演習林における大気沈着、河川水質分析データ (2009-2018), 九州大

- 学農学部演習林報告, 104: 17-20 (2023年3月): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 藤山 美薫, 田代 直明, 山内 康平, 中村 琢磨, 村田 秀介, 佐々木 寛和, 智和 正明: 北海道東部の落葉広葉樹天然林内における積雪深の経時観測, 九州大学農学部演習林報告, 104: 21-24(2023年3月): 北海道演習林
- 矢野 呼春, 本馬 維子, 佐々木 乃梨, 田辺 結葉, 照内 歩, 村上 董, 菊池 隼人, 内海 泰弘, 押田 龍夫: エゾタヌキ *Nyctereutes viverrinus albus* の溜糞場の存在は他の動物種の行動に影響を及ぼすか?, 帯広畜産大学学術研究報告, 43: 22-33(2022年11月): 北海道演習林
- 櫻井 優樹, 片山 歩美, 阿部 隼人, 津山 濯, 徳本 雄史: 九州山地における防鹿柵内外でのブナ樹冠下環境と土壤微生物相の違い, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 熊本県
- 梅林 利弘, 野末 尚希, 内海 泰弘, 大村 和也, 山田 利博: 3地域に植栽された落葉広葉樹の主幹における木部形成と老化, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 北海道演習林
- 松本 達也, 久米 朋宣, 阿部 隼人, 片山 歩美: スキャナー法を用いたモウソウチク林の根系動態, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 福岡演習林
- 松仁 天志郎, 内海 泰弘, 榎木 勉: 暖温帯二次林における皆伐後の萌芽能力に幹のサイズと樹齢が及ぼす影響, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 福岡演習林
- 松山 周平, 福澤 加里部, 智和 正明, 榎木 勉, 菱 拓雄: 北海道の冷温帯林におけるササの地上部バイオマス量、高さ、密度の関係, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 北海道演習林ほか
- 戸口 侑紀, 上田 実希, 黒河内 寛之, 中村 琢磨, 平尾 聡秀, 芝野 萌菜実, 齊藤 陽子: ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑実態—葉の形質と葉緑体 DNA 解析, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 宮崎演習林
- 笠原 玉青: 土砂災害後の溪流における河床安定性の評価, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 福岡県
- 花谷 周亮, 遠藤 いず貴, 片山 歩美, 福澤 加里部, 中路 達郎, 牧田 直樹, 大橋 瑞江: 熱帯雨林における葉のリター分解に伴う栄養素組成の変化, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: マレーシア
- 榎木 勉, Uchiyama, C., 高木 正博, 鶴川 信, 鍋嶋 絵里, 石井 弘明: 九州産スギ品種の窒素利用の可塑性と攪乱に対する肥大成長の応答, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 福岡演習林, 宮崎演習林ほか
- 阿部 隼人, 久米 朋宣, 片山 歩美: シカ食害により変化した森林構造がもたらす地上部・地下部炭素蓄積量の違い, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 宮崎演習林
- 福澤 加里部, 智和 正明, 菱 拓雄, 松山 周平, 野村 睦: 林床植生除去に対する森林土壌の窒素動態の中長期的な応答, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 北海道
- 工藤 佳世, 内海 泰弘, 永井 智, 高田 克彦: イチョウの二次木部における通水様式, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン
- T. Kume, MY. Lin, PH. Lin, S. Laplace, IF. Hsieh: Carbon cycling in Moso bamboo forests, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 台湾
- D. Fu, M. Chiwa, Z. Li: Effects of litter and soil N mineralization on soil solution chemistry in a Moso bamboo and a Japanese cedar forest, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 福岡演習林
- 前田 唯眞, 齋藤 秀之, 齋藤 拓哉, 荒川 圭太, 宮本 敏澄, 渋谷 正人: ブナのミトコンドリアゲノムにおけるアミノ酸変異と呼吸特性, 第134回日本森林学会大会, 2023年3月25-27日, とりぎん文化会館(鳥取市), オンライン: 宮崎演習林
- 徳本 雄史, 片山 歩美: 九州の冷温帯林におけるアセビ(ツツジ科)の繁茂が土壤環境と微生物群集に及ぼす影響, 第70回日本生態学会大会, 2023年3月17-21日, 仙台国際センター(仙台市), オンライン: 宮崎演習林
- 大石 善隆: 森林生態系におけるコケ・地衣類の窒素プール, 第70回日本生態学会大会, 2023年3月17-21日, 仙台国際センター(仙台市), オンライン: 福岡演習林, 宮崎演習林

- 小山田 美森, 上森 教慈, 菱 拓雄, 片山 歩美: 九州のブナ林におけるササの消失が土壌特性および微生物呼吸に与える影響, 第 70 回日本生態学会大会, 2023 年 3 月 17-21 日, 仙台国際センター(仙台市), オンライン: 宮崎演習林
- 花谷 周亮, 遠藤 いず貴, 片山 歩美, 福澤 加里部, 中路 達郎, 牧田 直樹, 大橋 瑞江: 熱帯雨林における地上部の多層構造と土壌動物が葉の分解に与える影響, 第 70 回日本生態学会大会, 2023 年 3 月 17-21 日, 仙台国際センター(仙台市), オンライン: マレーシア
- 林 飛艶, 久米 朋宣, 古賀 信也, 戴 妮, 相 衍, 楊 茂皎, 永井 智, 内海 泰弘: モウソウチクの通水特性と組織構造に稈齢が及ぼす影響, 第 73 回日本木材学会大会, 2023 年 3 月 14-16 日, 福岡大学, 九州大学(福岡市): 福岡演習林
- 戴 妮, 内海 泰弘, 安田 悠子: 光制限環境におけるトドマツの頂端分裂組織と形成層の応答, 第 73 回日本木材学会大会, 2023 年 3 月 14-16 日, 福岡大学, 九州大学(福岡市): 北海道演習林
- 相 衍, 香川 聡, 張 (鈴木) 春花, 永井 智, 内海 泰弘: 重水トレーサーを用いた当年生のオノエヤナギにおける当年根から葉に至る軸方向の重水濃度勾配の解明, 第 73 回日本木材学会大会, 2023 年 3 月 14-16 日, 福岡大学, 九州大学(福岡市): 北海道演習林
- 梅林 利弘, 野末 尚希, 内海 泰弘, 大村 和也, 山田 利博: 落葉広葉樹 2 種の木部の老化特性, 第 27 回東北森林科学学会大会, 2022 年 11 月 5-6 日, 岩手大学(盛岡市): 北海道演習林
- 原田 寛人, 榎木 勉, 菱 拓雄: 下層植生除去が森林生態系機能に及ぼす影響の林種による違い, 第 78 回九州森林学会大会, 2022 年 10 月 14-21 日, オンライン: 北海道演習林
- 笠原 玉青, 田中 熙一: 硝酸態窒素濃度の高い溪流における窒素保持機能の評価, 日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会合同 ELR つくば大会, 2022 年 9 月 20-23 日, つくば国際会議場(つくば市), オンライン: 福岡演習林
- 本馬 維子, 矢野 呼春, 佐々木 乃梨, 田辺 結葉, 照内 歩, 村上 董, 菊池 隼人, 内海 康弘, 押田 龍夫: 北海道の天然生広葉樹林に生息するエゾモモンガ *Pteromys volans orii* の資源利用, 日本哺乳類学会 2022 年度大会, 2022 年 8 月 26-29 日, 三重大学(津市), オンライン: 北海道演習林
- 楠本 聞太郎: 事例報告とパネルディスカッション「大学演習林の事例」, 鹿島学術振興財団研究助成シンポジウム『生物多様性の保全を促進する OECM とガバナンス』, 2023 年 3 月 23 日, 九州大学(福岡市), オンライン
- 菱 拓雄: 土壌動物「トビムシ」が案内する九大演習林, 第 89 回 Q-AOS ブラウンバッグセミナー, 2023 年 3 月 22 日, オンライン
- 松仁 天志郎, 内海 泰弘, 扇 大輔, 井上 一信, 長澤 久視, 安田 悠子, 壁村 勇二, 井上 幸子, 南木 大祐, 緒方 健人, 古賀 信也, 榎木 勉: 暖温帯二次林における皆伐後の萌芽能力に幹のサイズと樹齢が及ぼす影響, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 林 飛艶, 久米 朋宣, 古賀 信也, 戴 妮, 相 衍, 楊 茂皎, 内海 泰弘: 各年生のモウソウチクにおける竹稈の通水特徴の把握, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 村田 秀介: 演習林での 8 年間でミズナラ造林試験の取り組み, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 北海道演習林ほか
- 楠本 聞太郎: 野生動植物の分布地図に基づく大学演習林の生物多様性保全機能の評価, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林ほか
- 智和 正明, 扇 大輔, 壁村 勇二, 緒方 健人, 山内 康平, 井上 幸子, 中村 琢磨, 大崎 繁, 久保田 勝義: 九州大学演習林における大気由来の窒素沈着量と河川からの窒素流出の長期変動, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 戴 妮, 安田 悠子, 内海 泰弘: 光制限環境によるトドマツの頂端分裂と形成層の応答, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 北海道演習林
- 菱 拓雄, 兵藤 不二夫, 原田 寛人, 智和 正明, 榎木 勉: 北海道演習林における広葉樹と針葉樹林での 8 年間の下層除去処理が土壌生物に与える影響, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 北海道演習林
- 付 東川, 李 周強, 智和 正明: Contrasting nitrate leaching in an abandoned Moso bamboo and an adjacent Japanese cedar plantation: Role of vegetation in nitrogen retention, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 扇 大輔, 村松 優子, 村田 秀介, 鍛冶 清弘: 樹木病害の発生と対策-2021~2022 年、福岡演習林での取

- り組み-, 第 25 回演習林研究発表会, 2023 年 1 月 17 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 上森 教慈: 森林と有剣ハチの多様性, ちぐさ研究所セミナー, 2023 年 1 月 8 日, あわくら図書館(西栗倉村): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 上森 教慈, 菱 拓雄: 衝突板付きパントラップはハチ目の捕獲効率をむしろ低下させる, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 楠本 聞太郎: 福岡演習林の生物多様性保全ポテンシャル, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林ほか
- 付 東川, 智和 正明: モウソウチク林とスギ林からの硝酸イオンの流出量の比較: 窒素保持における植生の役割, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 智和 正明, 扇 大輔, 壁村 勇二, 緒方 健人, 山内 康平, 井上 幸子, 中村 琢磨, 大崎 繁, 久保田 勝義: 九州大学演習林における大気由来の窒素沈着量と河川からの窒素流出の長期変動, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 菱 拓雄, 兵藤 不二夫: 日本全国の自然林に生息する土壤動物 (とびむし) からみた福岡演習林, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林ほか
- 森 裕樹, 山北 絵理, 木村 優佑, 小林 孝行, 前島 勇治, 平舘 俊太郎: 九州大学福岡演習林の第 4 および第 9 林班における土壌の生成と分類に関する考察, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 長砂 まりも, 森 裕樹, 平舘 俊太郎: 九州大学福岡演習林第 9 林班から採取した土壌試料のホスファターゼ活性, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 楊 茹: Low nitrogen retention in a Japanese cedar plantation in a suburban area, western Japan, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 上谷 梨咲, Li Yuzhu, Jeong Seonghun, 大槻 恭一: 高密度非管理ヒノキ人工林における雨水配分, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 松仁 天志郎, 内海 泰弘, 扇 大輔, 井上 一信, 長澤 久視, 安田 悠子, 壁村 勇二, 井上 幸子, 南木 大祐, 緒方 健人, 古賀 信也, 榎木 勉: 暖温帯二次林における皆伐後の萌芽能力に幹のサイズと樹齢が及ぼす影響, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 久米 朋宣, Sophie Laplace, 鶴田 健二, 奥村 智憲, 大槻 恭一: 東アジアのモウソウチク林に適用可能な水循環モデル構築に向けて, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林ほか
- 片山 歩美, 久米 朋宣, 市橋 隆自, 内海 泰弘, 榎木 勉, 智和 正明, 大槻 恭一: 福岡演習林のタケ研究のこれまでとこれから, 福岡演習林創立百周年記念事業研究発表会, 2022 年 11 月 8 日, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町): 福岡演習林
- 古賀 信也: Latest topics of KU Univ. Forests, 第 3 回 KYUSHU-SNU JOINT SYMPOSIUM, 2022 年 9 月 23 日, 九州大学(福岡市), オンライン: 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 楠本 聞太郎: academic report④ Evaluating the conservation performance of the university forest network in Japan, 第 3 回 KYUSHU-SNU JOINT SYMPOSIUM, 2022 年 9 月 23 日, 九州大学(福岡市), オンライン: 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- 林 竜馬: 琵琶湖博物館ブックレット 16 琵琶湖の森の 40 万年史 花粉が語るものがたり, 1-112, サンライズ出版 (2022 年 9 月): 北海道演習林ほか
- 大槻 恭一, 久米 朋宣, 笠原 玉青ほか: 1. 序論, 4. 放射, 8. 蒸発散モデル, 14. 栄養塩循環, 1-9, 101-113, 200-211, 森林水文学入門(大槻 恭一, 久米 朋宣, 笠原 玉青 編), 朝倉出版 (2022 年 9 月)
- 菱 拓雄: 土壤動物の適材適所—群集生態学—, 130-145, 土の中の生き物たちのはなし(島野 智之, 長谷川 元洋, 萩原 康夫 編), 朝倉書店 (2022 年 7 月)
- 菱 拓雄: 形質生態学によるトビムシ群集構造の解明, *Edaphologia*, (111): 17-30(2022 年 7 月): 北海道演習林
- 山内 康平, 内海 泰弘: あしよろ自然誌 Vol.44 ヤドリギ(寄生木), 広報あしよろ 3 月号, 839: 19(2023

年3月): 北海道演習林

梅林 利弘: 温暖な地域ではなぜ落葉環孔材樹種が少なくなるのか?, 木材科学情報, 29(3): 42-45(2023年1月): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林

井上 幸子, 榎木 勉: あしよろ自然誌 Vol.43 エゾユキウサギ, 広報あしよろ 1月号, 837: 12(2023年1月): 北海道演習林

藤山 美薫, 田代 直明: あしよろ自然誌 Vol.42 樹木の落葉, 広報あしよろ 11月号, 835: 21(2022年11月): 北海道演習林

緒方 健人, 榎木 勉: あしよろ自然誌 Vol.41 エゾライチョウ, 広報あしよろ 9月号, 832: 24(2022年9月): 北海道演習林

井上 幸子, 内海 泰弘: あしよろ自然誌 Vol.40 体の大きさの違い, 広報あしよろ 7月号, 831: 25(2022年7月): 北海道演習林

山内 康平, 田代 直明: あしよろ自然誌 Vol.39 エゾノタチツボスミレ, 広報あしよろ 5月号, 829: 19(2022年5月): 北海道演習林

高下 智樹: 九州大学宮崎演習林におけるアセビの個体成長及び群落地上部バイオマスの評価, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林化学コース, (2023年2月): 宮崎演習林

古賀 冬馬: 篠栗九大の森に植林されたヌマスギの天然更新: 実生の分布と光および地形の関係, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林化学コース, (2023年2月): 福岡演習林

末松 裕基: イオン液体で軟化処理したスギ心材の放射方向・接線方向における圧縮性能, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林化学コース, (2023年2月): 福岡演習林

武藤 耀大: 自然界における白色腐朽菌と細菌との共生によるリグニン分解促進機構の解明, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林化学コース, (2023年2月): 福岡演習林

川嶋 孝典: 植生及び地形条件が森林の有機物層の構造に与える影響, 卒業論文, 同志社大学理工学部環境システム学科生命環境保全研究室, (2023年2月): 北海道演習林

戸口 侑紀: 秩父山地の入山地区におけるヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑—葉の形質比較と遺伝マーカーによる比較—, 卒業論文, 日本女子大学理学部, 1-31(2023年3月): 宮崎演習林

佐藤 野杏: エゾタヌキ *Nyctereutes vive rrinus albus* の溜め糞行動は「場所」と「糞自体」のどちらに影響されるのか?, 卒業論文, 帯広畜産大学畜産学部環境生態学ユニット, 1-47(2023年2月): 北海道演習林

中祖 ゆきな: 地表棲小型齧歯類における自動動画撮影カメラを用いた個体追跡サンプリング法の有用性, 卒業論文, 帯広畜産大学畜産学部環境生態学ユニット, 1-29(2023年2月): 北海道演習林

林 実果: ミズナラ優占広葉樹林における鳥獣類による巣箱利用の季節変化, 卒業論文, 帯広畜産大学畜産学部環境生態学ユニット, 1-36(2023年2月): 北海道演習林

原 明日海: アセビの根に共生する菌根菌の多様性と環境の異なる地域間での種類の違い, 卒業論文, 宮崎大学農学部森林緑地環境科学科, (2023年2月): 宮崎演習林

石桁 主喜: スギ人工林の公益的機能発揮に向けた根系評価, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース森林圏環境資源科学分野, (2023年2月): 福岡演習林

上田 拓朗: イオン液体の種類および乾燥温度が木材の軟化に与える影響, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース木質材料工学分野, (2023年2月): 福岡演習林

増田 昇平: スギ黒心および赤心根材内のカリウム分布, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース木質資源理学分野, (2023年2月): 福岡演習林

Villaverde Larisa: Soil Respiration and Its Components in Response to Environmental Factors in two *Phyllostachys* Forests, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, (2023年2月): 福岡演習林

上谷 梨咲: 非管理高密度ヒノキ人工林における雨水配分, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, (2023年2月): 福岡演習林

戴 妮: 光制限環境におけるトドマツの頂端分裂組織と形成層の応答, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, (2023年2月): 北海道演習林

原田 寛人: 下層植生の消失が森林生態系機能に与える影響—ミズナラ林とカラマツ人工林の比較—, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, (2023年2月): 北海道演習林

付 東川: 放棄竹林とスギ人工林からの硝酸塩溶脱量の比較: 硝酸塩溶脱の抑制における植生の役割, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, (2023年2月): 福岡演習林

林 飛艶: モウソウチクの通水特性と組織構造に稈齢が及ぼす影響, 修士論文, 九州大学大学院森林環

- 境科学教育コース森林生産制御学分野, (2023年2月): 福岡演習林
- 後藤 寛治: 自動車の警笛音のデザインに関する研究, 修士論文, 九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻コミュニケーションデザイン科学コース, 1-68(2023年2月): 福岡演習林
- 照内 歩: 北海道の天然生落葉広葉樹林に生息する日本産固有種ヒメネズミの行動生態学的研究, 修士論文, 帯広畜産大学畜産学研究科畜産科学専攻環境生態学コース, 1-50(2023年2月): 北海道演習林
- 宮崎 拓馬: 下層植生の衰退した広葉樹林における UAV を用いた土壌侵食の面的評価, 修士論文, 宮崎大学大学院農学研究科森林緑地環境科学コース, (2023年2月): 宮崎演習林

宮崎大学

農学部附属フィールド科学教育研究センター田野フィールド

- 西 鈴音, 平田 令子, 伊藤 哲: 煮沸によるマテバシイ堅果の発芽・発根能力消失実験およびカケスによる堅果持ち去り試験, 九州森林研究, 76: 107-110 (2023): 田野フィールド (演習林)
- Kijidani, Yoshio, Tsuyama, Taku and Tokumoto, Yuji: Distribution of plant hormones and their precursors in cambial region tissues of *Quercus myrsinifolia* and *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* after bending stems or applying ethylene precursor, *Forests*, 813:1-14 (2023): 田野フィールド (演習林)
- 石崎 ほのか: 針葉樹と広葉樹における絹皮病の成長に関する研究, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 栄喜 公陽: 森林性鳥類の種組成と種子散布効果に関する研究 —田野フィールドにおける事例—, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 小野田 深: ヒノキ二段林における上木の量が下層植栽木の光環境に及ぼす影響, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 後藤 君龍: 常緑広葉樹林の遮断蒸発の計測及び針葉樹人工林との比較, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 下村 匠: ヒメネズミの微生物環境選好性と林分構造との関係についての研究, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 中原 奈都美: 林齢および林分構造の異なる林分間でのシデムシ群集の比較, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 苗代 理沙: ツル植物の挿し木によるクローン繁殖能力の違いについて, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 永盛 正晴: 傾斜刺激が引き起こすクマノミズキ、ヒサカキ、ネズミモチにおける組織構造および細胞壁成分の変化, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 原 明日海: アセビの根に共生する菌根菌の多様性と環境の異なる地域間での種類の違い, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 松木 千佳: 森林内の環境条件の違いによる地表徘徊性甲虫の個体数や種数の違い
- 森脇 佑太: 林縁効果による林内と林縁付近における昆虫相の違い, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 日高 静公: 空中写真測定の低コスト化の可能性, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 原谷 日菜: スギ植栽木に対するススキ型および落葉広葉樹型競合植生の被圧効果の違い, 宮崎大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 毛利 月香: 宮崎県においてツリークライミングに利用される樹木の特徴, 南九州大学環境園芸学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)
- 傳田 羽都音: 茨城と宮崎に生育するヒノキの年輪要素の気候応答, 信州大学農学部卒業論文, (2023): 田野フィールド (演習林)

鹿児島大学

農学部附属演習林

- 上森 教慈, 三田 敏治, 菱 拓雄: 鹿児島大学農学部附属高隈演習林及び大隅国有林においてイエローバントラップを用いて採集された有剣ハチ類, 九州大学農学部演習林報告, 104, 7-12, 2023.3: 高隈演習林
- Orrego M, Ugawa S, Inoue A, Laplace S, Kume T, Koga S, Hishi T and Enoki T: Climate, soil, and plant controls on early-stage litter decomposition in Moso Bamboo stands at a regional scale. *Frontiers in Forests and Global Change* 5: 921028, 2022

池田 希：森林内の電波伝搬実験による 920MHz 帯電波強度の空間分布，鹿児島大学農学部修士論文，2023.2：高限演習林

黒木 俊太郎：デジタル航空写真 DSM から得られた樹冠高による地位区分，鹿児島大学農学部修士論文，2023.2：高限演習林

岩崎 亮汰：計測経路の違いがバックパック型レーザスキャナの計測精度にあたる影響，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

武田 悠太：デジタル航空写真 DSM を用いたスギ人工林の 林分 材積 推定，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

橋本 龍平：唐湊林園及び果樹園におけるニホンアナグマの活動及び被害状況，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：唐湊林園

東 龍聖：ドローンレーザの計測方法が樹高推定に与える影響，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

前原 千尋：高限演習林におけるボイストラップを使用したシカの分布調査，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

山之内 勇人：暖温帯常緑広葉樹林における各樹種の生葉の窒素安定同位体比，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

横山 雅大：垂水市におけるマダニ類の季節消長と宿主調査，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

吉原 遥斗：UAV 写真測量における GCP の有効性の検証，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

脇田 智矢：ドローン写真測量による丸太出材量の推定および推定過程における誤差要因の影響，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

和智 愛加里：林業従事者に残る口伝に関する研究：鹿児島県、熊本県を事例にして，鹿児島大学農学部卒業論文，2023.2：高限演習林

永利 優以子，枚田 邦宏，奥山 洋一郎：森林認証社有林の運営と利用に関する研究，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

西川 希一，枚田 邦宏，奥山 洋一郎：中国地方の森林組合における「山の神」祭行事の現状と近隣地域との様式の比較，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

和智 愛加里，枚田 邦宏，奥山 洋一郎：中山村に残る口伝に関する研究，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

大津 敬太，奥山 洋一郎，枚田 邦宏：森林空間における VR カメラを用いた景観分析手法の提案，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

内原 浩之，芦原 誠一，宿利 原恵，井倉 洋二，牧野 耕輔：森大学演習林における森林認証取得の現状と課題－鹿児島大学農学部附属高限演習林を事例として－，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

水流 聖文，加治佐 剛，寺岡 行雄：木口画像を用いた丸太識別において輪郭特徴点の抽出方法による画像回転へのロバスト性，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

黒木 俊太郎，加治佐 剛，寺岡 行雄：デジタル航空写真 DSM から得られたスギの林冠高変化を用いた地位区分，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

鶴川 信，藤澤 義武，大塚 次郎，近藤 禎二，生方 正俊：ノウサギ食害を受けるコウヨウザン苗の主軸の高さおよび幹直径の上限，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

芦原 誠一，柴村 奈緒子：自動撮影カメラを利用した野生動物の調査－鹿児島大学高限演習林における 2013 年から 2019 年までの結果－，第 78 回九州森林学会大会，2022.10：高限演習林

榎木 勉，Uchiyama, Christmas, 高木 正博，鶴川 信，鍋嶋 絵里，石井 弘明：九州産スギ品種の窒素利用の可塑性と攪乱に対する肥大成長の応答，第 134 回日本森林学会大会，2023.3：高限演習林

牧野 耕輔：鹿児島大学演習林における教育関係共同利用拠点の展開，第 134 回日本森林学会大会，2023.3：高限演習林

琉球大学

農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

Abe H, Katayama A, Taniguchi S, Takashima A, Kume T, Matsumoto K: Effects of differences in aboveground dead organic matter types on the stand-scale necromass and CO₂ efflux estimates in a subtropical forest in Okinawa Island, Japan, *Ecological Research*, 37: 609-622 (2022): 与那フィールド

Kobayashi S, Kotaka N, Nakata K, Takashima A: Mammal and bird species using cavities among forests of

- different ages on Okinawajima Island in the Ryukyu Archipelago, Japan, *Journal of Forest Research*, 27: 439-449 (2022): 与那フィールドを含む国頭村
- Nakamura M, Terada C, Ito K, Matsui K, Niwa S, Ishihara M, Kenta T, Yoshikawa T, Kadoya T, Hiura T, Muraoka H, Ishida K, Agetsuma N, Nakamura R, Sakio H, Takagi M, Mori AS, Kimura MK, Kurokawa H, Enoki T, Seino T, Takashima A, Kobayashi H, Matsumoto K, Takahashi K, Tateno R, Yoshida T, Nakaji T, Maki M, Kobayashi K, Fukuzawa K, Hoshizaki K, Ohta K, Kobayashi K, Hasegawa M, Suzuki SN, Sakimoto M, Kitagawa Y, Sakai A, Kondo H, Ichie T, Kageyama K, Hieno A, Kato S, Otani T, Utsumi Y, Kume T, Homma K, Kishimoto K, Masaka K, Watanabe K, Toda M, Nagamatsu D, Miyazaki Y, Yamashita T, Tokuchi N: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, 37: 432-445 (2022): 与那フィールドを含む全国
- 高嶋 敦史, 松川 駿真: 沖縄島やんばる地域のリュウキュウマツ人工林に樹下植栽されたイヌマキの成長, *九州森林研究*, 76: 91-94 (2023): 国頭村
- 高嶋 敦史, 津波 佳樹: 沖縄島やんばる地域の二次林と人工林におけるオキナワウラジロガシの成長, 令和4年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集, 9-13 (2023): 与那フィールドを含む国頭村
- Toyama H, Totsu K, Tagane S, Aiba S, Ugawa S, Suzuki E, Yamazaki K, Fuse K, Takashima A, Toyama N, Kadoya T, Takeuchi Y: A dataset for vascular plant diversity monitoring for the natural World Heritage site on Amami-Oshima Island, Tokunoshima Island, and the northern Okinawa Island, *Ecological Research*, 37: 676-682 (2022): 与那フィールドを含む中琉球および南九州
- 藤井 辰哉, 陳 碧霞, 安里 昌弘: 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド 科学研究教育センター千原フィールド上原研究園と周辺地域の植生と土地利用に関する歴史の変遷, *琉球大学農学部学術報告*, 69: 19-24 (2023): 上原研究園および周辺地域
- 田中 友啓: 沖縄島やんばる地域の二次林におけるタブノキの生育適地の解明, *琉球大学農学部卒業論文*, (2023): 与那フィールド
- 松本 桃佳: 沖縄島やんばる地域の非皆伐林におけるオキナワウラジロガシの生育状況, *琉球大学農学部卒業論文*, (2023): 与那フィールド
- 細田 理仁: 沖縄島北部における亜熱帯常緑広葉樹林の純一次生産量にみられる空間的不均一性とその要因, *琉球大学農学部卒業論文*, (2023): 与那フィールド
- 仲村 昌一郎: 沖縄島北部の亜熱帯常緑広葉樹林における林況の違いが林内の微気象に及ぼす影響, *琉球大学農学部卒業論文*, (2023): 与那フィールド
- 田邊 しずく: 林内における光環境の不均一性が更新に及ぼす影響ー沖縄島北部の天然生林において多樹種が共存するメカニズムの解明ー, *琉球大学農学部卒業論文*, (2023): 与那フィールド

＜演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和5年11月現在＞

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	5 7
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	5 7
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	5 8
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	5 8
宇都宮大学農学部附属演習林	5 8
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	5 9
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	5 9
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	6 1
筑波大学山岳科学センター	6 1
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	6 1
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	6 1
日本大学生物資源科学部演習林	6 2
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	6 2
玉川大学農学部農産研究センター	6 2
名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター	6 2
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	6 3
三重大学大学院生物資源学研究科附属 紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター	6 3
京都大学フィールド科学教育研究センター	6 3
京都府立大学生命環境学部附属演習林	6 4
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	6 4
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	6 5
愛媛大学農学部附属演習林	6 5
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	6 5
九州大学農学部附属演習林	6 6
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	6 6
鹿児島大学農学部附属演習林	6 7
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	6 7

演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和5年11月現在

〔所属欄 演:演習林に所属、他:演習林以外に所属〕

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
1. 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター									
揚妻 直樹	あげつ ま なおき	教授	動物生態学	哺乳類	採食生態	環境利用	保護管理	演	森林圏ステーション長
吉田 俊也	よしだ としや	教授	森林生態	復元生態学	森林施業	混交林	生物多様性	演	北管理部長
中村 誠宏	なかむら まさひろ	教授	昆虫生態学	昆虫と植物の相互作用	地球温暖化	野外操作実験	生物多様性	演	南管理部長、苫小牧研究林長(兼)、檜山研究林長(兼)
車 柱榮	ちや じゅえん	准教授	造林学	森林再生	菌類			演	
高木 健太郎	たかぎ けんたろう	教授	農林気象	フラックス	二酸化炭素	カラマツ	乱流拡散	演	天塩研究林長
中路 達郎	なかじ たつろう	教授	樹木生理	分光観測	生理機能	環境応答	大気汚染	演	札幌研究林長
岸田 治	きしだ おさむ	准教授	進化生態学	両棲類	表現型可塑性	誘導防御	相互作用	演	和歌山研究林長
福澤 加里部	ふくざわ かりぶ	准教授	森林生態学	物質循環	細根動態	冷温帯林	攪乱影響	演	
小林 真	こばやし まこと	准教授	樹木生態	北方林	気候変動	土壌養分	土壌動物	演	雨龍研究林長
植竹 淳	うえたけ じゅん	准教授	微生物生態学	バイオエアロゾル	環境DNA	好冷性微生物	水河	演	
野村 睦	のむら むつみ	助教	水文学	河川流出	融雪	水収支		演	中川研究林長
大平 充	おおひら みつる	助教	河川生態学	底生無脊椎動物	魚類	攪乱	土砂動態	演	
倉田 正観	くらた せいかん	助教	植物分類学、系統地理学、保土復元学	分布変遷	生物多様性保全	半自然草地	植物相調査	演	

2. 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

山本 信次	やまもと しんじ	教授	林政学	森林管理	市民参加	森林教育	都市近郊林	演	分野長
白旗 学	しらはた まなぶ	助教	造林学	C02収支	水分生理特性	樹木生態	スギ人工林	演	
高田 乃倫予	たかだ のりよ	助教	林政学	山村振興	住生活	森林政策	福祉	演	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード					所属	備考
				樹木	木材	抽出成分	生理活性	天然物化学		
小藤田 久義	こふじた ひさよし	教授	森林資源化学	樹木				天然物化学	他	
関野 登	せきの のぼる	教授	木質資源工学	木質材料	廃菌床	断熱性	ウルシ精製		他	
真坂 一彦	まさか かずひこ	教授	造林学	森林生態学	海岸林	生態系サー ビス			他	
伊藤 幸男	いとう さちお	准教授	森林政策学	林業構造	木材流通	地域社会	木質バイオ マス		他	
當山 啓介	とうやま けいすけ	准教授	森林経理学	森林計画	林業収益性	森林計測	森林利用		他	
國崎 貴嗣	くにさき たかし	准教授	森林計測学	森林作業	群落生態	サイズ構造	樹林間競争		他	
齋藤 仁志	さいとう まさし	准教授	林業生産工学	森林工学	森林路網	作業システ ム	林業機械		他	
山内 貴義	やまうち きよし	准教授	野生動物管理 学	野生動物	哺乳類	生態学	保護管理		他	
松本 佐和子	まつき さわこ	講師	森林保全生態 学	樹木の被食 防衛機能	昆虫被害	生物多様性			他	
東 淳樹	あずま あつき	講師	保全生物学	生物多様性	絶滅危惧種	持続的社會	里山管理		他	
山崎 遥	やまざき はるか	助教	森林施業学	天然更新	広葉樹施業	合自然的森 林施業			他	

3. 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

陶山 佳久	すやま よしひさ	教授	森林分子生態 学	遺伝的多様 性	DNA分析	種子散布	花粉散布	古代DNA	他	
深澤 遊	ふかさわ ゆう	准教授	森林生態学	菌類	分解	生物間相互 作用	菌根	倒木	他	

4. 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター

菊池 俊一	きくち しゅんいち	准教授	流域保全管理 学	流域	攪乱	環境保全	森林・緑地 再生	市民協働	他	流域保全部門長
-------	-----------	-----	-------------	----	----	------	-------------	------	---	---------

5. 宇都宮大学農学部附属演習林

飯塚 和也	いいつか かずや	教授	森林資源保全 学	林木の育種	量的遺伝	森林バイオ マス	資源管理	萌芽更新	演	
大島 潤一	おおしま じゅんいち	准教授	森林資源管理 学	材質育種	材質劣化	森林資源活 用	森林資源活 用		演	演習林次長、教育部主任
有賀 一広	あるが かずひろ	教授	森林工学	森林作業学	森林土木学	林業機械	木質バイオ マス		他	演習林研究部併任

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考	
				材質	組織構造	分類	系統地理			繁殖生態
石栗 太	いしぐり ふとし	准教授	木材材料学						他	演習林研究部主任
逢沢 峰昭	あいざわ みねあき	准教授	森林植物学	針葉樹	分布	分類	系統地理	繁殖生態	他	演習林研究部併任
大久保 達弘	おおくぼ たつひろ	教授	森林生態学・ 育林学	森林動態	森林施業	植物多様性	群落修復生態	繁殖様式	他	演習林長(兼務)、社会連携部主任(兼務)
横田 信三	よこた しんそう	教授	森林化学	樹病	木質バイオマス	プロテオミクス	メタボロミクス	シラカンバ	他	演習林研究部併任
山本 美穂	やまもと みほ	教授	森林政策学	歴史地理学	経済史	分権的管理	スギ材流通		他	演習林研究部併任
松英 恵吾	まつえ けいご	准教授	森林計測学	森林計画	森林空間情報工学	リモートセンシング	森林資源管理	成長モデル	他	演習林研究部併任
林 宇一	はやし うち	助教	森林政策学	林業経済学	林業労働	木材価格			他	演習林研究部併任
酒井 佑一	さかい ゆういち	助教	砂防工学	土石流	斜面崩壊	土砂災害	火山災害		他	演習林研究部併任

6. 新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林

梶本 卓也	かじもと たくや	教授	森林生態学	更新機構	物質生産	森林管理			演	演習林長
本間 航介	ほんま こうすけ	准教授	森林生態学	群集動態	攪乱	ストレス	クロン生長	デモグラフィ	演	
阿部 晴恵	あべ はるえ	助教	森林生態学	植物生態	島嶼	攪乱	保全遺伝	種間作用	演	
古郡 憲洋	ふるこおり のりひろ	特任助教	群集生態学	里山	人為攪乱	土壌動物	水生昆虫	生物多様性	演	

7. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

久保田 耕平	くぼた こうへい	教授	森林動物学	森林昆虫学	進化生態学	分子生態学	種分化・個体群分化	共生微生物	他	演習林長
鎌田 直人	かまた なおと	教授	森林昆虫学	森林保護	個体群生態学	生物間相互作用			演	千葉演習林長
山田 利博	やまだ としひろ	教授	樹病学	樹木医学	抵抗性	防御反応	材変色	枝枯性病害	演	秩父演習林長
石橋 整司	いしばし せいじ	教授	森林経理学	森林計画	森林測定	森林管理	年輪生態学	「森林一人間」系	演	田無演習林長
蔵治 光一郎	くらじ こういちろう	教授	森林流域管理 学	森林水文	保水力	流域森林管理	流域治水	山地防災	演	企画部長
尾張 敏章	おわり としあき	准教授	林業経営学	林業経営	森林資源管理	森林施業	森林技術	森林ビジネス	演	北海道演習林長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード						所属	備考
				林政学	木材需給	木造住宅	木材流通	山村振興	演		
安村 直樹	やすむら なおき	准教授	林業経済学	林政学	木材需給	木造住宅	木材流通	山村振興	演	生態水文学研究所長	
鴨田 重裕	かもだ しげひろ	准教授	森林化学	二次代謝	更新機構	防御物質	早生樹	森林再生	演	秩父演習林長補佐	
後藤 晋	ごとう すすむ	准教授	森林遺伝育種学	林木育種	局所適応	分子マーカー	繁殖様式	更新動態	演	教育・社会連携センター長	
楠本 大	くすもと だい	講師	樹病学	抵抗性獲得	シグナル物質	二次代謝	生物間相互作用	樹木医学	演	千葉演習林長補佐	
田中 延亮	たなか のぶあき	講師	森林水文学	水文気象	生態水文	流域試験	山地保全	環境教育	演	北海道演習林長補佐	
福井 大	ふくい だい	講師	哺乳類生態学	生物多様性	空間分布	コウモリ	野生動物管理	機能形態	演	富士癒しの森研究所長	
平尾 聡秀	ひらお としひで	講師	群集生態学	生物間相互作用	生物多様性	食物網	生態系機能	地理的分布	演	ワールドデータ研究所センター長、秩父演習林長補佐併任	
浅野 友子	あさの ゆうこ	講師	森林人間関係学	山地源流域	降雨流出	物質循環	砂防学		演	生態水文学研究所長補佐	
齋藤 暖生	さいとう はるお	講師	森林分子生態学	採集活動	環境認識	森林と文化	レクリエーション	コモンズ	演	樹芸研究所長	
久本 洋子	ひさもと ようこ	助教	森林分子生態学	タケ・ササ類	植物分類学	遺伝子発現解析	花成遺伝子	一斉開花	演		
鈴木 智之	すずき さとし	助教	植物生態学	森林動態	植物個体群	物質循環	縮枯れ	空間生態学	演		
坂上 大翼	さかうえ だいすけ	助教	樹病学	病態生理	微生物生態	樹木医学	萎凋機構	腐朽診断	演	秩父演習林教育研究主任	
竹本 周平	たけもと しゅうへい	助教	樹病学	微生物生態	線虫	菌類	分類・同定	生物地理	演		
水内 佑輔	みずうち ゆうすけ	助教	森林風景計画	造園学	ランドスケープGIS	森林イメージ	レクリエーション		演	生態水文学研究所教育研究主任	
三浦 直子	みうら なおこ	助教	森林空間情報科学	リモートセンシング	GIS	LiDAR	森林計測		演	富士癒しの森研究所長補佐、教育研究主任	
井上 広喜	いのうえ ひろき	助教	森林化学	二次代謝	細胞分化・細胞死	組織培養	更新機構		演	樹芸研究所長補佐、教育研究主任	
前原 忠	まえはら ただし	助教	森林動物学	森林動物	土壌動物	個体群生態	群集生態		演		
藤原 章雄	ふじわら あきお	助教	森林情報学	森林情報	情報基盤	映像情報	情報公開	フットパス	演	ワールドデータ研究所センター教育研究主任	
Moein Farahnak	もいん ふあらんく	特任助教	森林水文学	森林土壌	土壌水文学	土壌物理学	表面流出防止		演		

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

8. 東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

松田 和秀	まつだ かずひで	教授	大気環境学	大気環境学	エアロゾル	大気電気学	物理学	他	センター長
吉田 智弘	よしだ ともひろ	准教授	森林保護学	森林生態	土壌動物	森林昆虫	群集生態	演	自然環境教育研究分野長
小林 勇太	こばやし ゆうた	助教	森林生態系生態学	生物多様性	生態系サービス	森林景観モデル	森林動態	演	

9. 筑波大学山岳科学センター

津村 義彦	つむら よしひこ	教授	森林遺伝学	集団遺伝学	分子生態	系統地理	遺伝子攪乱	演	センター長
清野 達之	せい の たつゆき	准教授	森林生態学	更新動態	樹形	生理生態	物質生産	演	多様性解明 演習林総括、八ヶ岳演習林長
津田 吉晃	つだ よしあき	准教授	集団遺伝学	分子生態学	進化生物学	生態系管理	気候変動	演	八ヶ岳演習林(兼)
門脇 正史	かどわき せいし	助教	森林保護管理	動物生態	保全生態	爬虫・両生類	樹上・性小型哺乳類	演	筑波実験林長
山川 陽祐	やまかわ ようすけ	助教	森林水文学、砂防学	斜面水文	地下水	斜面崩壊	物理探査	演	井川演習林長

10. 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

荒瀬 輝夫	あらせ てるお	准教授	野生資源植物学	植物生態	緑化	生物分類	環境アセスメント	演	野辺山ステーション主事
小林 元	こばやし はじめ	准教授	樹木生理生態学	光合成	物質生産	物質循環	人工林	演	演習林主事
宮本 裕美子	みやもと ゆみこ	助手	森林生態学	分子生態学	土壌微生物	菌根菌	生物群集	演	

11. 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

花岡 創	はなおか そう	准教授	森林遺伝学	林木育種	遺伝資源管理	機械学習		演	専任
水永 博己	みずなが ひろみ	特任教授	造林学	林冠構造	更新	人工林生態系		演	
榎本 正明	ならもと まさあき	准教授	造林学	森林生態・生理学	乾燥地緑化			他	併任
今泉 文寿	いまいずみ ふみとし	教授	砂防工学	土砂移動				他	森林生態系部門長
飯尾 淳弘	いひお あつひろ	准教授	森林生理生態学	キャノピープロセス	アップスケールング	モデル		他	併任

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				動物生態	動物行動	哺乳類			
栗原 洋介	くりはら ようすけ	特任助教	動物生態学	動物生態	動物行動	哺乳類		演	
王 権	わん くれん	教授	広域生態学	生態系モデ ル	ガスフラス クス			他	併任
藪部 礼	そのべ れい	助教	広域生態学	リモートセ ンシング				他	併任
江草 智弘	えぐさ ともひろ	助教	森林水文学	森林水文				他	併任
高山 翔輝	たかやま しょうき	助教	砂防工学	土石流	水理実験			他	併任

12. 日本大学生物資源科学部演習林

木口 実	きぐち まこと	教授	バイオマス利 用学	森林バイオ マス	木材利用	表面処理	耐久性	他	演習林長
後藤 一雄	ごとう かずお	技手	造林	藤沢演習林	測樹	測量	森林保全	演	

13. 東京農工大学地域環境科学部奥多摩演習林

山崎 晃司	やまざき こうじ	教授	動物生態学	大型哺乳類	保護管理	繁殖生理	生息地保全	他	演習林長
矢部 和弘	やべ かずひろ	教授	森林科学	森林土木学	林業工学			他	副演習林長
根本 唯	ねもと ゆい	助教	動物生態学	行動生態	大型哺乳類	放射生態	ツキノワグ マ	演	演習林教務職員

14. 玉川大学農学部農産物研究センター

山崎 旬	やまざき じゆん	教授	生物資源保 全学、園芸 科学	絶滅危惧種	ラン科植物	植物増殖技 術	農業教育	他	農産物研究センター副センター長
飛田 有支	ひだ ゆうし	准教授	栽培学	栽培管理技 術				他	農産物研究センター箱根自然観察林担当
横倉 啓	よこくら けい	技術職員	技術指導・施 設管理	生態系調査	環境教育	地域連携	トンボ	他	農産物研究センター北海道弟子屈農場（屈斜 路演習林）現地職員

15. 名古屋大学大学院生命農学研究所附属フィールド科学教育研究センター

山本 一清	やまもと かずきよ	教授	森林資源管 理学	森林資源管 理	森林GIS	森林計画	リモートセ ンシング	他	センター長
梶村 恒	かじむら ひさし	教授	森林保護学	昆虫	微生物	種子	生物間相互 作用	演	副センター長（稲武・設楽担当）

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

16. 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター

大西 健夫	おおにし たけお	教授	水文学	物質循環	水流出過程	水文モデリング	森里海連関	他	森林部門長
-------	----------	----	-----	------	-------	---------	-------	---	-------

17. 三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター

石川 知明	いしかわ ともあき	教授	森林環境資源利用学	路網配置	団地化	森林景観	森林作業システム	他	演習林長
松村 直人	まつむら なおと	教授	森林計画学	森林計画	森林測定	成長予測	GIS	他	熱帯林
木佐貫 博光	きさぬき ひろみつ	教授	森林保全生態学	植生	林分構造	森林動態	絶滅危惧種	他	自然再生
松田 陽介	まつだ ようすけ	教授	森林保護学	菌根生態	微生物	生物間相互作用	絶滅危惧種	他	樹病
中井 毅尚	なかい たかひさ	教授	木材組織	木材物理	木材強度	製材・機械加工	居住性	他	
沼本 晋也	ぬまもと しんや	准教授	森林環境砂防学	治山砂防	山地災害	森林水文	森林環境保全	演	演習林次長
洲上 佑樹	ふちがみ ゆうき	准教授	ライフサイクリングアセスメント	産業連関分析	環境影響評価	木材流通	トレーサビリティ	演	演習林次長

18. 京都大学フィールド科学教育研究センター

徳地 直子	とくち なおこ	教授	森林生態系生態学	物質循環	生態系	集水域	窒素利用	演	和歌山研究林長 徳山試験地長、北白川試験地長
舘野 隆之輔	たての りゅうのすけ	教授	森林生態学	物質循環	物質生産	窒素利用	伐採影響評価	演	上賀茂試験地長
長谷川 尚史	はせがわ ひさし	准教授	森林利用学	精密林業	森林資源管理	森林育成	森林利用	演	
伊勢 武史	いせ たけし	准教授	陸域生態学	物質循環	シミュレーション	気候変動	森林動態	演	
石原 正恵	いしはら まさえ	准教授	森林生態学	物質生産	生物多様性	土地利用	生活史	演	芦生研究林長
小林 和也	こばやし かずや	准教授	進化生態学	生物多様性	生物群集	分子生態学	数理モデル	演	北海道研究林長
坂野上 なお	さかのうえ なお	講師	林業経済学	木材流通	木材消費	木造住宅	市場調査	演	
松岡 俊将	まつおか しゅんすけ	講師	生物多様性科学	生物多様性	環境DNA	環境傾度	菌類	演	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				窒素循環	窒素利用	ヒノキ	ヒノキ雄花		
中西 麻美	なかにし あさみ	助教	森林生態学	菌類	生物間相互作用	外生菌根菌	群集動態	きのこ	演
杉山 賢子	すぎやま よりこ	助教	菌類生態学	菌類	生物間相互作用	外生菌根菌	群集動態	きのこ	演

19. 京都府立大学生命環境学部附属演習林

隅田 明洋	すみだ あきひろ	教授	森林生態学	森林構造	森林動態	階層構造	個体間競争	他	演習林長
勝山 正則	かつやま まさのり	教授	森林水文学	降雨流出過程	トレーサー	水質	長期観測	他	気候変動影響
上田 正文	うえだ まさふみ	准教授	樹木生理生態学	水分生理	森林衰退			他	
平山 貴美子	ひらやま さみこ	准教授	森林生態学	保全生態学	森林動態	種多様性		他	
美濃羽 靖	みのわ やすし	准教授	森林経理学	森林情報解析	流域情報解析			他	
三好 岩生	みよし いわお	准教授	砂防学	土砂災害	土石流	斜面崩壊	渓流環境	他	地域防災
神代 圭輔	こうじろ けいすけ	准教授	生物材料物性学	木材物性	木質材料	レオロジー	木材組織	他	標準化
佐々木 尚子	ささき なおこ	講師	森林生態学	植生変遷	森林動態	気候変動	攪乱	他	花粉分析

20. 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

霜村 典宏	しもむら のりひろ	教授	菌類育種栽培学	菌類	きのこ	交雑育種	栽培	他	兼任教員
永松 大	ながまつ だい	教授	植物生態学	森林動態	生物多様性	植生科学	生態系保全	他	兼任教員
山中 啓介	やまなか けいすけ	准教授	育林学	造林	林業技術	海岸緑化	林業種苗の育苗	他	FSC森林管理部門長
芳賀 弘和	はが ひろかず	准教授	緑地防災学	水・物質流出	源流域水文	森林水環境	山地河川	他	兼任教員
藤本 高明	ふじもと たかあき	准教授	環境木材利用学	木材物理学	木材組織学	量の遺伝学	応用分光学	他	兼任教員
岩永 史子	いわなが ふみこ	講師	樹木生理生態学	緑化	水分生理	水辺林	乾燥地	他	兼任教員
芳賀 大地	はが だいち	助教	農林業政策学	森林政策	林業経済	林家		他	兼任教員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード			所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	----	----

21. 島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

松本 敏一	まつもと としかず	教授	園芸学	果樹園芸	園芸利用		他	センター長
山下 多聞	やました たもん	准教授	森林土壌学	有機物分解	窒素循環	細根動態	演	フェノロジー 部門長
橋本 哲	はしもと てつ	准教授	森林水文学	流出平準化機能	水文モデル	積雪・融雪	他	兼任教員
高橋 絵里奈	たかはし えりな	准教授	林学	間伐	陽樹冠	選木基準	他	兼任教員

22. 愛媛大学農学部附属演習林

杉森 正敏	すぎもり まさとし	教授	森林資源利用システム	木材工学	材質評価	有節材	他	兼任教員
伊藤 和貴	いとう かずたか	教授	森林化学	木材化学	リグニン	抽出成分	他	兼任教員
杉元 宏行	すぎもと ひろゆき	准教授	森林資源利用システム	木質物性	木質材料	熱分析	他	演習林長
枝重 有祐	えだしげ ゆうすけ	准教授	木質バイオマス交換	木材化学	バイオマス	エネルギー	他	兼任教員
都築 勇人	つづき はやと	准教授	森林資源計画	森林計測	測樹	航空レーザー測量	他	兼任教員
寺下 太郎	てらした たろう	准教授	森林教育	森林教育	環境ESD	林業経済	他	兼任教員
川崎 章恵	かわさき あきえ	准教授	森林環境管理	林業経済	森林政策	林業労働者	他	兼任教員
嶋村 鉄也	しまむら てつや	准教授	森林資源生物学	熱帯林	種多様性	森林動態	他	兼任教員
上谷 浩一	かみや こういち	教授	森林遣伝学	集団遣伝	分子進化	系統地理	他	兼任教員
鍋嶋 絵里	なべしま えり	准教授	森林資源生物学	林冠光合成	環境応答	幹肥大成長	他	兼任教員
木村 諤	きむら たかし	助教	森林環境制御	砂防	地すべり	土砂動態	他	兼任教員

23. 高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

曳地 康史	ひきち やすふみ	教授	植物病理学、植物細菌学、分子植物微生物相互作用	植物	細菌	病害防除	他	暖地フィールドサイエンス教育研究センター長
鈴木 保志	すずき やすし	教授	林業工学	林業用架線	林道・作業道	森林バイオマス	他	森林生産環境部門長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考	
				繁殖生態	林冠生態	一斉開花	被食防衛			生物間相互作用
市栄 智明	いちえ ともあき	教授	樹木生理生態学	繁殖生態	林冠生態	一斉開花	被食防衛	生物間相互作用	他	森林生産環境部門副担当教員
森 牧人	もり まきと	教授	農業気象学	農業気象	局地気象	農業施設気象	地域水文	地球温暖化	他	森林生産環境部門副担当教員
松本 美香	まつもと みか	講師	地域林業	森林管理	山村振興	森林経営	森林政策		他	森林生産環境部門副担当教員
富田 幹次	とみた かんじ	助教	動物生態学、哺乳類学	野生動物	森林管理	生態系改変作用	生物間相互作用	ヒグマ	他	森林生産環境部門副担当教員

24. 九州大学農学部附属演習林

古賀 信也	こが しんや	教授	木質資源利用	材質制御	木材組織	非破壊計測	木質エネルギー	木質文化財	演	演習林長
榎木 勉	えのき つとむ	准教授	森林生態学	森林動態	生態系	物質動態	不均一性	島嶼	演	北海道演習林長
内海 泰弘	うつみ やすひろ	准教授	樹木生理学	木材組織学	水分通道	キャビテーション	エンボリズム	植物民俗	演	宮崎演習林長
智和 正明	ちわ まさあき	准教授	生物地球化学	大気沈着	窒素循環	窒素飽和	活性酸素	森林衰退	演	福岡演習林副演習林長 調査室長
菱 拓雄	ひし たくお	准教授	森林生態学	土壌生態学	細根形態	土壌動物	土壌資源利用	群集生態学	演	福岡演習林長 かすや樹木園長
久米 朋宣	くめ ともものり	教授	森林水文学	炭素循環	東アジア	森林管理	長期モニタリング	気候変動	演	研究部長 宮崎演習林副演習林長
市橋 隆自	いちかはし りゅうじ	准教授	森林生態学	植物生態	つる植物	蒸散	水動態	物質分配	演	北海道演習林副演習林長
田代 直明	たしろ なおあき	助教	森林生態	生産生態	樹形	光環境	可塑性	生活史	演	
片山 歩美	かたやま あゆみ	助教	炭素循環	生態系生態学	土壌呼吸	幹呼吸	熱帯雨林	炭素配分	演	
楠本 聞太郎	くすもと ぶんたろう	助教	保全生態学	生物多様性	群集集合	システム化保全計画	マクロ生態学	人為攪乱	演	

25. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター

高木 正博	たかぎ まさひろ	教授	森林立地学	物質循環	二酸化炭素	光合成			演	附帯施設長
西脇 亜也	にしわき あや	教授	応用生態学	野生動物	バイオマスエネルギー				演	
光田 靖	みつだ やすし	教授	森林計画学	景観生態学					他	森林部門長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

26. 鹿児島大学農学部附属演習林

井倉 洋二	いのくら ようじ	准教授	森林環境教育	森林環境教育	自然学校	農山村	ソーシャルイノベーション	自然体験	演	演習林長
牧野 耕輔	まさの こうすけ	助教	森林政策学	森林管理	林地集約化	素材生産	森林経営	農家林家	演	演習林主任
加治佐 剛	かじさ つよし	准教授	森林計画学	森林計画	森林計測	森林リモートセンシング			他	兼務教員
奥山 洋一郎	おくやま よういちろう	助教	森林政策学	生涯学習	技術者養成	林業技術	森林教育	学校林	他	兼務教員

27. 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

Md. Amzad Hossa in	モハメド アムザド ホサイン	教授	植物栽培環境学	熱帯・亜熱帯作物栽培	土壌・肥料管理	雑草額	薬用植物栽培	ウコン	他	センター長
陳 碧霞	ちえん びしや	准教授	森林政策、林業経済	集落景観	屋敷林	森林観光	森林レクリエーション	森林文化	演	
高嶋 敦史	たかしま あつし	助教	森林計画学	森林計画	天然林動態	長期モニタリング	森林施業	琉球弧	演	

<令和5年度 理事会・総会>

令和5年度春季理事会

- (1) 理事会日程、議題等 7 1
- (2) 令和4年度決算及び令和5年度予算 7 2
- (3) 議事要旨 7 3

令和5年度秋季総会

- (1) 秋季各種委員会、技術職員連絡会議、理事会日程 7 6
- (2) 総会日程、議題等 7 7
- (3) 議事要旨 7 8

理 事 会 次 第

日 時 令和5年5月12日（金） 13：30～15：30
会 場 東京大学農学部3号館141会議室及びZoomによる
ハイブリッド開催

- ・ 開会の言葉
- ・ 理事等紹介
- ・ 文部科学省挨拶・講演
- ・ 議 題
 1. 令和4年度決算及び令和5年度予算案について
 2. 森林管理技術賞選考結果について
 3. 教育関係共同利用拠点の申請等について
 4. 公開森林実習について
 5. 全国農学系学部長会議への報告事項について
 6. 共同研究について
 7. その他
- ・ 報告事項
 1. 令和5年度技術職員研修について
 2. 令和5年度秋季総会について
 3. 令和5年度技術職員連絡会議について
 4. 令和4年度演習林で発生した災害被害等について
 5. 承合事項について
 6. その他
- ・ 来年度春季理事会の日程について

令和4年度決算及び令和5年度予算案

(単位：円)

	項 目	令和4年度予算	令和4年度決算	比較増△減	令和5年度予算	備 考
		(A)	(B)	(B-A)		
収 入	前年度繰越額	1,796,034	1,796,034	0	1,317,872	
	会費	810,000	810,000	0	810,000	30,000円×27校
	利息	0	12	12		
	広報活動費	0	0	0	186,200	演習林年報 (R4年分) ※②
	当期収入合計	2,606,034	2,606,046	12	2,314,072	
支 出	春季理事会経費	0	0	0		
	秋季総会経費	200,000	136,770	△ 63,230	200,000	
	通信費	0	0	0		
	会場経費	650,000	701,505	51,505	1,000,000	
	表彰経費	50,000	41,194	△ 8,806	50,000	
	旅費	0	0	0	200,000	
	公開森林実習関係経費	180,000	164,615	△ 15,385	180,000	ポスター印刷及び送料
	広報活動費	200,000	186,230	△ 13,770	200,000	演習林年報及び送料 ※①
	ウェブサイト年間維持管理費	60,000	57,860	△ 2,140	60,000	
	共同研究助成費	0	0	0		
	予備費	1,266,034	0	△ 1,266,034	424,072	
	当期支出合計	2,606,034	1,288,174	△ 1,317,860	2,314,072	
	次年度繰越金		1,317,872			
合計	2,606,034	2,606,046				

※① 令和4年度は全大学から133冊の注文があった（予備分7冊除く）。1冊あたりの単価（送料込）は大体1,400円計算となる。
代金は全演協予算で立替え、令和5年度に各大学から注文冊数分を徴収する。

※② 令和5年度会費徴収の際、各大学から1冊につき1,400円を上乗せ徴収する。
1,400円×133冊 = 186,200円となり、徴収額は立替金より30円不足するが、不足分は全演協で負担する。

令和5年度 秋季各種委員会・技術職員連絡会・理事会

会場：ナチュラルファームシティ農園ホテル

公開森林実習運営委員会

9:00～10:00：「三峰の間」(2階)

森林管理技術賞表彰委員会

9:00～10:00：「藤の間」(1階)

技術職員連絡会議

10:00～12:00：「武甲の間」(2階)

理事会

10:00～12:00：「萩の間」(1階)

総会

13:15～17:00：「花梨の間」(1階)

秋 季 総 会 次 第

日 時 令和5年9月28日(木) 13:15～17:00

会 場 ナチュラルファームシティ農園ホテル(原則対面、オンライン参加も可)
〒368-8558 埼玉県秩父市大宮5911番地1

- ・開会の言葉
- ・挨拶 会長(東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部演習林長)
- ・文部科学省講演
- ・表彰式 第25回森林管理技術賞

- 議 題
1. 第25回森林管理技術賞の選考方針について
 2. 教育関係共同利用拠点について
 3. 公開森林実習について
 4. 全国農学系学部長会議への報告事項について
 5. 共同研究について
 6. 次期会長の選出について
 7. その他

- 報告事項
1. 令和5年度春季理事会について
 2. 各大学における最近の動向等(トピックス)について
 3. 各大学における災害の発生と対応について
 4. 技術職員連絡会議の報告等について
 5. 令和6年度春季及び秋季会議の日程等について
 6. その他

<令和4年度 全国演習林協議会 公開森林実習報告書>

公開森林実習ポスター	85
公開森林実習実施状況	86
公開実習報告	
令和5年度 公開森林実習報告 島根大学	88

令和5年度公開実習ポスター



あなたが実習でいつも訪れる森はどのようなところでしょうか。日本国内には北から南まで様々なタイプの森林があります。いつもの見慣れた森だけではなく、いろいろな森に入ってみたいと思いませんか？ この公開森林実習は、あなたの大学の授業として他の大学の実習を受けられる仕組み（単位互換制度）です。

日本の森を制覇しよう2023

- | | |
|--|--|
| <p>筑波大学 森林水文・砂防学実習 2023年7月24日～7月28日
 テーマ：流域という視点に立ち森林における水や土砂の移動を理解する
 場 所：筑波大学山岳科学センター井川演習林および筑波実験林</p> | <p>島根大学 山陰のもり入門 2023年7月27日～7月29日
 テーマ：天然林と針葉樹人工林の対比の中で山陰のもりを観察する
 場 所：島根大学三瓶演習林ほか</p> |
| <p>京都大学 夏の北海道東部の人と自然の関わり
 2023年8月6日～8月10日
 テーマ：北海道東部の自然環境と人のつながりを学ぶ
 場 所：京都大学北海道研究林</p> | <p>静岡大学 富士・南アルプス生態学実習
 2023年8月8日～8月10日
 テーマ：富士山とその周辺の多様な森林生態系と生態系サービスの保全
 場 所：静岡大学フィールドセンターの3つのフィールド</p> |
| <p>東京大学 公開森林実習 2023年8月21日～8月25日
 テーマ：溪流と土砂の測量実習一地形や山から川に流れ出る土砂を測ろう一
 場 所：東京大学附属演習林生態水文学研究所</p> | <p>琉球大学 亜熱帯林体験実習 2023年8月21日～8月24日
 テーマ：世界自然遺産の亜熱帯林を有する「やんばる地域」での人と自然の共生
 場 所：琉球大学与那フィールドおよび周辺地域</p> |
| <p>岩手大学 森林インターンシップ 2023年8月21日～8月25日
 テーマ：高性能林業機械操作体験による冷温帯林の森林・林業技術の学習
 場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林ほか</p> | <p>信州大学 森林利用デザイン演習 2023年8月22日～8月25日
 テーマ：木材搬出技術および森林経営デザイン能力の習得
 場 所：信州大学農学部手良沢山ステーション</p> |
| <p>北海道大学 野生動物管理実習 2023年8月28日～9月1日
 テーマ：野生動物管理のための基礎的な調査技術の習得
 場 所：北海道大学苫小牧研究林</p> | <p>岩手大学 冷温帯林と持続的森林・林業
 2023年8月28日～9月1日
 テーマ：森林観察や化学学習による冷温帯林の植生・利用・管理の学習
 場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林・八幡平ほか</p> |
| <p>信州大学 木材工学演習 2023年8月29日～9月1日
 テーマ：各種木材加工道具・機械を用いた演習林間伐材からのベンチ作製
 場 所：信州大学農学部構内ステーション</p> | <p>信州大学 山岳環境保全学演習 2023年8月29日～9月1日
 テーマ：高山～亜高山帯の動植物、登山道・山小屋からみた山岳環境の保全
 場 所：信州大学農学部西駒ステーション</p> |
| <p>高知大学 森林フィールド演習 2023年8月29日～9月1日
 テーマ：植生・毎木調査、森林遷移の観察、炭焼き、野焼き、哺乳類調査体験
 場 所：高知大学嶺北フィールド</p> | <p>北海道大学 森林保全実習 2023年9月4日～9月8日
 テーマ：自然科学と社会科学の視点から北海道の自然資源管理を読み解く
 場 所：北海道大学中川研究林</p> |
| <p>新潟大学 フィールドワーカーのためのリスクマネジメント入門
 2023年9月4日～9月7日 / 9月11日～9月14日
 テーマ：野外調査を安全に遂行するための実践的トレーニング
 場 所：新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林</p> | <p>三重大学 公開森林実習 2023年9月5日～9月8日
 テーマ：源流域森林における多面的機能の保全と利用を考える
 場 所：三重大学附帯施設演習林</p> |
| <p>信州大学 自然の成り立ちと山の生業演習
 2023年9月5日～9月8日
 テーマ：中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業
 場 所：信州大学西駒・構内・手良沢山ステーション</p> | <p>九州大学 生態水文学実習 2023年9月5日～9月8日
 テーマ：森林生態系の水・物質循環の研究調査プロジェクトによる実践的学習
 場 所：九州大学福岡演習林</p> |
| <p>東京大学 公開森林実習 2023年9月5日～9月8日
 テーマ：森林科学総合実習一北海道の天然林生態系とその持続的管理一
 場 所：東京大学附属演習林北海道演習林</p> | <p>京都大学 近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴
 2023年9月6日～9月8日
 テーマ：森林生態系の特徴と課題および森と人の関わりを学ぶ
 場 所：京都大学上賀茂試験地・芦生研究林・北白川試験地</p> |
| <p>京都府立大学 温帯針葉樹林実習 2023年9月19日～9月22日
 テーマ：温帯性針葉樹を代表するスギ天然林調査とその植生史
 場 所：京都府立大学大野演習林</p> | <p>信州大学 農林フィールド基礎実習
 2023年9月30日、10月1・7・8日
 テーマ：森林から農地までの自然をまなび、水・人・緑のつながりを考える
 場 所：信州大学農学部構内ステーション他</p> |
| <p>京都大学 森林・里山の生態系サービスを学ぶ
 2023年10月14・21日、11月25日、12月9・16日
 テーマ：森林・里山の生態系サービスを体験的に学ぶ
 場 所：京都大学上賀茂試験地</p> | <p>北海道大学 森林空間機能学演習 2024年2月9日～2月12日
 テーマ：冬の北海道で森林のもつ機能を学び、発表し、議論する
 場 所：北海道大学中川研究林</p> |
| <p>山形大学 雪山実習 2024年2月20日～2月22日
 テーマ：積雪環境と森林・樹木の相互関連
 場 所：やまがたフィールド科学センター上名川演習林</p> | <p>宮崎大学 日本一の照葉樹林とスギ林業
 2024年2月27日～3月1日
 テーマ：常緑広葉樹林の植生、利活用と保全およびスギ人工林施業
 場 所：宮崎大学田野フィールド、綾ユネスコエコパークほか</p> |
| <p>北海道大学 暖温帯林施業実習 2024年3月4日～3月8日
 テーマ：南紀熊野における森林施業と照葉樹林
 場 所：北海道大学和歌山研究林</p> | <p>鹿児島大学 屋久島の森と人 2024年3月14日～3月17日
 テーマ：屋久島の自然と人の関わり（「大隅の森と人」との連続の受講を推奨）
 場 所：屋久島</p> |
| <p>鹿児島大学 大隅の森と人 2024年3月18日～3月21日
 テーマ：森林や自然環境と密接に関わる地域の暮らしと文化について学ぶ
 場 所：鹿児島大学高隅演習林および大野地区</p> | |



くわしくは「公開森林実習」で検索！

全国大学演習林協議会



令和4年度 全国大学演習林協議会 公開森林実習実施状況

大学名	実習名	日程	受講者数			備考
			協定内	協定外	合計	
筑波大学	森林水文・砂防学実習	令和4年7月 19 日～7月 22 日	0	0	0	
京都大学	夏の北海道東部の人と自然の関わり	令和4年8月7日～8月 10 日	5	3	8	
静岡大学	富士・南アルプス生態学実習	令和4年8月8日～8月 10 日	3	17	20	
京都大学	森里海連環学実習 I	令和4年8月8日～8月 12 日	0	0	0	
東京大学	公開森林実習	令和4年8月 22 日～8月 26 日	0	0	0	
岩手大学	冷温帯林と持続的森林・林業	令和4年8月 22 日～8月 26 日	0	4	4	
信州大学	森林利用デザイン実習	令和4年8月 23 日～8月 26 日	2	2	4	
島根大学	山陰のもり入門	令和4年8月 23 日～8月 25 日	4	0	4	
信州大学	木材工学演習	令和4年8月 23 日～8月 26 日	1	0	1	
岩手大学	森林インターンシップ	令和4年8月 29 日～9月2日	1	3	4	
琉球大学	亜熱帯林体験実習	令和4年8月 29 日～9月1日	2	0	2	
北海道大学	野生動物管理実習	令和4年8月 29 日～9月2日	1	0	1	
高知大学	森林フィールド演習	新型コロナ感染拡大のため中止				2名参加予定
信州大学	山岳環境保全学演習	令和4年8月 30 日～9月2日	2	5	7	
北海道大学	森林保全実習	令和4年9月5日～9月9日	0	0	0	
新潟大学	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習	令和4年9月5日～9 日/12 日～15 日	1	0	1	
信州大学	自然の成り立ちと山の生業演習	令和4年9月6日～9月9日	1	1	2	
三重大学	公開森林実習	令和4年9月6日～9月9日	0	0	0	
京都大学	近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴	令和4年9月7日～9月9日	5	4	9	オンライン
京都府立大学	温帯針葉樹林実習	令和4年9月 13 日～9月 16 日	1	0	1	
九州大学	生態水文学実習	令和4年9月 12 日～9月 15 日	2	0	2	
筑波大学	森林生態学公開実習	令和4年9月 12 日～9月 16 日	0	6	6	
京都大学	森林・里山の生態系サービスを学ぶ	令和4年 10 月から 12 月の4日間	0	8	8	
信州大学	農林フィールド基礎実習	令和4年 10 月の4日間	0	2	2	
北海道大学	森林空間機能学演習	令和5年2月 10 日～2月 13 日	0	0	0	
宮崎大学	日本一の照葉樹林とスギ林業	令和5年2月 28 日～3月3日	2	0	2	
北海道大学	暖温帯林施業実習	令和5年3月6日～3月 10 日	0	0	0	
山形大学	雪山実習	令和5年2月 20 日～2月 22 日	0	0	0	
鹿児島大学	屋久島の森と人	令和5年3月 14 日～3月 17 日	19	5	24	
鹿児島大学	大隅の森と人	令和5年3月 18 日～3月 21 日	11	4	15	
合計			63	64	127	

新型コロナウイルスの影響で令和2年と令和3年は不開講だった島根大学公開森林実習「山陰のもり入門」を昨年度に続いて今年度も実施しました。今年度は筑波大学から1名の受講生がありました。昨年度は京都大学から3名の参加があったので少し減ってしまった感じです。

島根県飯南町にある島根大学三瓶演習林で野外実習を実施し、島根県大田市にある国立三瓶青少年交流の家で内業を実施するとともに宿泊でお世話になりました。島根大学では前期試験期間終了後のフレックスターム中という令和5年7月27日～29日の2泊3日の日程での実施になりました。島根大学の1年生と2年生をおもな対象とした基盤科目「基礎フィールド演習」との同時開講であり、島根大学生と他大学生の交流も大事な授業目的となります。

内容としては、実施計画書にあるように「中国山地に位置する演習林において広葉樹林と針葉樹人工林の対比の中で『山陰のもり』をしっかりと観察する」技術を学ぶものです。森林調査の基本として、ポケットコンパスを使用して調査区画を設定する技術および対象樹木のサイズ測定など毎木調査技術をまず学びます。それに続いて、立地環境の測定技術として、森林の微気象、土壌化学性と大気環境を測定します。そしてピットフォールトラップによる昆虫類をはじめとした土壌動物および自動撮影カメラによる哺乳類の観察を体験します。土壌動物の分類同定には近隣の島根県立三瓶自然館の学芸員の協力をえてご指導をいただいています。実習の最後には広葉樹林と針葉樹人工林はどのような違いがあるのかについて、えられたデータをまとめて発表します。

今年度の新しい試みとして、大気環境の測定のために従来はヘリウムで膨らませたバルーンでチューブを吊り下げていたものを、ドローンによって吊り下げるようにしました。バルーンの場合、弱い風でも流されてしまい正確な高度でのガスサンプリングができなかったのですが、ドローンを使うことで正確な高度でのガスサンプリングを実現することができました。

昨今の酷暑により、森林内での実習中においても軽い熱中症になって休養を必要とする学生が複数みられました。7月末から8月初めはとくに暑いのでこの時期を外して開講するべきか内部で検討しているところです。

毎年数名ずつの参加ではありますが、令和6年度も開講できるよう準備しています。



写真. 実習中の様子

<全国大学演習林協議会規約類・会員名簿>

全国大学演習林協議会規約	9 1
森林管理技術賞授与規程	9 4
公開森林実習運営委員会内規	9 6
全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則	9 7
全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ	9 8
全国大学演習林協議会会員名簿（令和 5 年 11 月 30 日現在）	9 9

全国大学演習林協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本会は全国大学演習林協議会と称し、その事務局を会長の所属する大学（会長校）に置く。

(会員)

第2条 本会は全国大学の演習林長またはこれに準ずるものをもって構成する。

(目的及び事業)

第3条 本会は森林科学を中心とする教育研究の発展に資するため、演習林等に関する調査及び研究を行い、各大学相互間の連絡を図り、あわせて演習林等の整備並びに改善の促進を期することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 演習林等の設置並びにその整備に関する協議、研究、調査
- (2) 演習林等の運営（予算、定員、試験研究項目、学生演習等）に関する調査及び研究
- (3) 演習林等に関する資料の収集及び整備
- (4) 各大学演習林等における相互の連絡調査
- (5) 関係当局への上申並びに当局の諮問に対する答申
- (6) 大学演習林等における職員の教育支援、研究支援、維持管理に関する貢献に対する表彰
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(年報の発行)

第5条 本会に大学演習林年報編集部を置き、年1回年報を発行する。
編集部には部長を置き編集及び発行に関する事務の処理にあたる。

(役員及び期間)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名
 - (2) 副会長1名
 - (3) 理事若干名
 - (4) 監事2名
- 2 会長は本会を代表し会務を統轄する。
 - 3 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時、会長の職務を代理する。
 - 4 理事は会長の統轄のもと会務を処理する。
 - 5 監事は会務の監査を実施し、理事会に監査報告を行う。
 - 6 役員を選出方法については別に定める。

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

(総会)

第8条 総会は必要に応じて会長が召集する。

会員の3分の1以上の要求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。
会長が適当と認めたときは、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

第9条 総会の議長は会長がこれに当たる。

第10条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決め、可否同数のときは議長がこれを決める。

第11条 総会で議すべき事項は次の通りとする。

- (1) 演習林等の設置及び運営に関する協議、研究、調査事項の審議
- (2) 予算決算
- (3) 規約の制定及び変更
- (4) その他の重要な事項

(顧問)

第12条 本会に顧問若干名を置くことができる。

会長は総会の承認を経て顧問を委嘱する。

顧問は会長の諮問に答え、又は必要に応じ総会に出席し意見をのべるものとする。

(理事会及び委員会)

第13条 本会に会長が必要と認めた事項の検討及び審議並びに総会の審議事項の調整等を行うため、理事会を置く。

理事会は会長、副会長、理事で構成する。

理事会の議長は会長がこれに当たる。

理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

理事会は必要に応じて会長が召集する。

(会費及び会計)

第14条 本会の経費は次に掲げるものをもって支弁する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金
- (3) その他収入

第15条 本会の会費は1カ年30,000円とする。

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

附 則

この規約は、昭和26年5月28日より施行する。

<中間の改正規約の附則は省略した。>

附 則

この規約は、平成16年5月12日より施行する。

附 則

この規約は、平成20年9月18日より施行する。

附 則

この規約は、平成25年12月20日より施行する。

森林管理技術賞授与規程

第1条 全国大学演習林協議会規約第4条第6項に基づき、森林管理技術賞表彰委員会（以下「委員会」という）を以下のように定める。

第2条 委員会は、大学演習林等における教育・研究への貢献もしくは演習林等の維持管理に関する貢献に対する森林管理技術賞の選考を行う。

第3条 授賞の対象は、大学演習林等の職務にあたる職員とし、以下の各号のいずれかに該当するものについて、それぞれ若干名を対象とする。

- 1) 特別功労賞：長きにわたり演習林等の教育・研究基盤の整備を通じてその発展に多大な貢献をしたもの
- 2) 技術貢献賞：優れた森林管理技術の開発もしくは普及に多大な貢献をしたもの
- 3) 学術貢献賞：重要な教育・研究材料の収集・提供・公開を通じて学術的もしくは社会的に多大な貢献をしたもの
- 4) 若手奨励賞：応募時の年度に40歳未満あるいは採用後10年未満の職員で、演習林等の維持管理を通じて教育研究・地域連携に顕著な貢献をしたもの

第4条 委員会の委員は全国大学演習林協議会の各ブロックから選出し、会長が委嘱する。委員長は全国大学演習林協議会副会長に委嘱する。

- 2 委員長及び委員の任期は2年とする。
- 3 副委員長は次期会長選出予定ブロックの委員の互選により決定する。委員長に事故あるときは副委員長が委員長の任務を代行する。
- 4 委員長が任期途中で辞任したとき、会長は後任の全国大学演習林協議会副会長を委員長に委嘱し、後任委員長の任期は前任者の残任期間とする。
- 5 委員が任期途中で辞任したとき、全国大学演習林協議会の当該ブロックは委員を選出することができるものとし、選出された委員は会長が委嘱する。後任委員の任期は前任者の残任期間とする。

第5条 森林管理技術賞の選考手続きを以下のように定める。

委員会は毎年全国大学演習林協議会の会員大学より候補者の推薦を募る。

委員会では協議の結果多数意見をもって森林管理技術賞の選考を行い、委員長は報告書を添えてその結果を会長に報告する。

第6条 会長は選考結果を理事会に諮り、森林管理技術賞の受賞者を決定する。

附 則

この規定は、平成10年9月17日より施行する。

この規定は、平成12年9月19日より施行する。

この規定は、平成19年9月19日より施行する。

この規定は、平成20年9月18日より施行する。

この規定は、平成22年9月16日より施行する。

この規定は、平成26年9月25日より施行する。

この規定は、令和元年9月19日より施行する。

公開森林実習運営委員会内規

平成21年 5月 8日制定
平成22年 5月 7日改正
平成23年 9月15日改正
平成24年 9月20日改正
平成26年 9月25日改正

1. 設置目的

全国の大学演習林が共通履修科目として開講する「公開森林実習」について、情報の一元化、別々の大学によって実施される実習科目の統一性の確保、開講にむけての側面支援等をスムーズに行うために、全国大学演習林協議会（以下「全演協」という。）の中に「公開森林実習運営委員会」を設置する。

2. 委員会の構成と委員長

- 1) 委員会は次に掲げる委員をもって構成する。
 - ① 公開森林実習実施校の担当者
 - ② 委員長が指名する者
- 2) 委員長は委員の互選により定める。
- 3) 委員会に事務局をおき次の事項を取り扱う。
 - ① 実施計画の取りまとめ
 - ② 年度活動のとりまとめおよび報告書作成
 - ③ ウェブサイトの管理
 - ④ ポスター作成
 - ⑤ その他

3. 委員の任期

委員長及び委員の任期は、春季会議終了後から2年間とする。

4. 委員会の開催

委員長は、必要に応じて、原則として全演協の春季会議及び秋季総会時に委員会を招集し、会議を開催する。委員会の結果は会長に報告し、必要に応じて会員校に報告する。

全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則

1. 名 称

本会は「全国大学演習林協議会技術職員連絡会議」（以下「技術職員連絡会議」）と称する。

2. 設置目的

技術職員相互の情報交換を通じて技術の向上を図り、各大学の演習林等の運営に寄与することを目的とする。

3. 組 織

- ①技術職員連絡会議は、全国大学演習林協議会に所属する大学の技術職員をもって構成する。
- ②各大学においては、代表技術職員又は連絡担当者を選定する。
- ③相互の連絡調整として事務局を置く。
- ④事務局は、全国大学演習林協議会会長校に置き、事務局長は同校の技術職員が務め、他の技術職員がこれを補佐する。

4. 会 議

- ①開催は、原則として年1回とし、その時期は全国大学演習林協議会秋季総会時とする。
- ②会議では、技術職員相互の情報及び意見の交換を行うとともに、技術職員に関わる諸問題についての検討を行う。

5. 連絡体制

- ①事務局は、代表技術職員・連絡担当者名簿を各年度の4月1日現在で作成し、会員大学に送付する。
- ②各大学の代表技術職員・連絡担当者は、年度途中に、それぞれに異動があった場合、その都度、事務局に連絡するものとし、事務局はその都度、新たな代表技術職員・連絡担当者名簿を会員大学に送付する。

6. 報 告

技術職員連絡会議において要望等がまとまれば、事務局から全国大学演習林協議会総会に報告するものとする。

附 則

この会則は、平成16年5月12日から施行する。

附 則

この会則は、平成17年9月15日から施行する。

附 則

この会則は、平成20年9月18日より施行する。

全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ

全国大学演習林協議会規約（昭和26年5月28日施行）第6条から第8条に基づき、役員を選出に関して次のように定める。

1. 会長

- (1) 北海道大学、東京大学、京都大学、九州大学を会長持ち回り校とし、その演習林等の長から輪番で会長を選出し、総会へ推薦し、決定する。
- (2) 任期途中で会長を交代する場合は、当該会長選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (3) 会長を決定するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

2. 理事及び副会長

- (1) 理事は、会長が選出された大学を除く以下の大学の演習林等の長とし、会長が委嘱する。
 - (i) 前条(1)に規定する会長持ち回り校
 - (ii) 下記4つのブロックのうち、会長が選出された大学が所属するブロックの大学
 - ① 北ブロック（6大学）
北海道大学、岩手大学、東北大学、山形大学、宇都宮大学、新潟大学
 - ② 東ブロック（8大学）
東京大学、東京農工大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、日本大学、東京農業大学、玉川大学
 - ③ 西ブロック（7大学）
京都大学、名古屋大学、岐阜大学、三重大学、京都府立大学、鳥取大学、島根大学
 - ④ 南ブロック（6大学）
九州大学、愛媛大学、高知大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学
- (2) 理事の互選により理事の内1名を副会長に選出し、会長が委嘱する。
- (3) 任期途中で理事及び副会長を交代する場合は、当該役員選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (4) ブロックの構成の変更は、総会の承認を経るものとする。
- (5) ブロックの構成変更を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

3. 監事

- (1) 監事は、その任期が理事会を担当する任期と重ならないブロックの会長持ち回り校以外から1名ずつを会長が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- (2) 会長、副会長、理事、各種委員会委員長は監事を兼ねることができない。
- (3) 監事は原則として4月以降春季理事会までに前年度の会務監査を実施する。
- (4) 任期途中の監事を交替する場合は、当該監事選出大学の次期演習林等の長を推薦する。
- (5) 監事を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

附 則

この申し合せは、平成25年12月20日から施行する。

附 則

この申し合せの施行後最初に選出された監事の任期は、平成27年3月31日までとする。

附 則

この申し合せは、平成26年9月25日から施行する。

全国大学演習林協議会会員名簿（令和5年11月30日現在）

		大学名	郵便番号	住所	電話番号	Eメールアドレス	林長等名
北 ブ ロ ッ ク	1	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	060-0811	札幌市北区北11条西10丁目	011-706-2590		揚妻 直樹
	2	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	020-8550	岩手県盛岡市上田三丁目18-8	019-621-6234 019-621-6231		山本信次
	3	東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	989-6711	宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229-84-7311		小倉振一郎
	4	山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	997-0369	山形県鶴岡市高坂字古町5-3	0235-28-2880		菊池俊一
	5	宇都宮大学農学部附属演習林	329-2441	栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556	0287-47-0057		大久保達弘
	6	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	952-2206	新潟県佐渡市小田94-2	0259-78-2613		梶本卓也
東 ブ ロ ッ ク	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	113-8657	東京都文京区弥生1-1-1	03-5841-5227		久保田耕平
	8	東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	183-8509	東京都府中市幸町3-5-8	042-367-5813		吉田智弘
	9	筑波大学山岳科学センター	305-8577	茨城県つくば市天王台1-1-1	029-853-4629		津村義彦
	10	信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	399-4598	長野県上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1441		春日重光
	11	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	426-0001	静岡県藤枝市仮宿63	054-641-9500		今泉文寿
	12	日本大学生物資源科学部演習林	252-0880	神奈川県藤沢市亀井野1866	0466-84-3966		木口 実
	13	東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	198-0212	東京都西多摩郡奥多摩町氷川2137	0428-83-3351 03-5477-2235		根本 唯
	14	玉川大学農学部農産研究センター	194-8610	東京都町田市玉川学園6-1-1	042-739-8296 042-739-8294		山崎 旬
西 ブ ロ ッ ク	15	名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター-稲武・設楽フィールド	464-8601	愛知県名古屋市長千種区不老町	052-789-4180 052-789-4181		梶村 恒
	16	岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	501-1193	岐阜県岐阜市柳戸1-1	058-293-2972		大西 健夫
	17	三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター-附帯施設演習林	514-8507	三重県津市栗真町屋1577	059-231-9514		石川知明
	18	京都大学フィールド科学教育研究センター	606-8502	京都府京都市左京区北白川追分町	075-753-6442		徳地直子
	19	京都府立大学生命環境学部附属演習林	606-8522	京都府京都市左京区下鴨半木町1-5	075-703-5681 075-703-5627		隅田明洋
	20	鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	680-8553	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	0857-31-5604		山中啓介
	21	鳥根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	690-1102	鳥根県松江市上本庄町2059	0852-32-6590		山下多聞
南 ブ ロ ッ ク	22	愛媛大学農学部附属演習林	790-8566	愛媛県松山市樽味3-5-7	089-946-9538		杉元宏行
	23	高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	783-8502	高知県南国市物部乙200	088-864-5137		鈴木保志
	24	九州大学農学部附属演習林	811-2415	福岡県糟屋郡篠栗町大字津波黒394	092-948-3117 092-948-3100		古賀信也
	25	宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター-田野フィールド（演習林）	889-1702	宮崎県宮崎市田野町乙11300	0985-86-0036		高木正博
	26	鹿児島大学農学部附属演習林	890-0065	鹿児島県鹿児島市都元1-21-24	099-285-3532		井倉洋二
	27	琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	903-0213	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8772		モハメド・アムザド・ホサイン

東北大学は昭和60年度以降オブザーバー校として参加

電話番号欄の二段書きは、上段林長室、下段研究室



令和6年3月20日 発行

編集発行責任者 全国大学演習林協議会
会長 久保田 耕平
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1